

令和4年

# 消防防災年報

広島県

## 消防防災年報の利用に当たって

### 1 調査期日

令和4年4月1日現在である。ただし、各表に表示されているものについては、その表示による。

### 2 調査対象

市町（14市9町）及び消防本部（13消防本部）

### 3 留意事項

- (1) 図・表の作成に当たっては、総務省消防庁が行う各種調査の記載要領に準拠することとした。
- (2) 各表における市町、消防組合の掲載順は、原則として地方公共団体コード順による。

# 目 次

## 第1 消防体制の現況

1	消防組織	I-1
2	消防の常備化	I-5
3	消防の広域応援体制	I-7
4	消防施設	I-7
5	消防費	I-11
(消防体制の現況 統計資料)		
第1-1表	消防力総括票	I-14
第1-2表	消防本部一覧	I-15
第1-3表	消防の現況	I-16
第1-4表	階級別消防吏員数	I-17
第1-5表	勤務体制別消防職員数	I-18
第1-6表	在職年数別消防吏員数	I-19
第1-7表	階級別消防団員数	I-20
第1-8表	在職年数別消防団員数	I-21
第1-9表	消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署所)	I-22
第1-10表	消防ポンプ自動車等現有数(消防団)	I-24
第1-11表	消防水利の現況	I-25
第1-12表	化学消火薬剤備蓄状況	I-27

## 第2 救急体制・救助体制

1	救急業務の実施体制	II-1
2	救急業務の実施状況	II-1
3	プレホスピタル・ケアの充実とメディカルコントロール体制の整備	II-9
4	ヘリコプター救急搬送	II-10
5	高速自動車国道等における救急業務実施体制	II-12
6	救急医療体制	II-15
7	救助活動の実施体制	II-15
8	救助活動の実施状況	II-16
(救急体制・救助体制 統計資料)		
第2-1表	救急業務の実施体制	II-19
第2-2表	救急隊及び救急隊員数	II-21
第2-3表	経営主体別医療機関数	II-22
第2-4表	事故種別救急出動件数	II-23
第2-5表	事故種別救急搬送人員	II-24
第2-6表	医療機関等に搬送された傷病者数	II-25

第2-7表	年齢区分別搬送人員	II-26
第2-8表	現場到着所要時間別出動件数	II-27
第2-9表	収容所要時間別搬送人員	II-28
第2-10表	医師の現場出動件数	II-29
第2-11表	事故種別不搬送件数	II-30
第2-12表	救助隊数及び救助隊員数	II-31
第2-13表	救助隊が搭乗する車両	II-32
第2-14表	事故種別救助出動件数	II-33
第2-15表	事故種別救助活動件数	II-34
第2-16表	事故種別救助人員の状況	II-35
第2-17表	火災時における救助活動の状況	II-36
第2-18表	事故種別救助出動人員	II-37
第2-19表	事故種別救助活動人員	II-38
第2-20表	事故種別救助出動車両等台数	II-39
第2-21表	事故種別救助活動車両等台数	II-40
第2-22表	救助活動のための主な救助器具の保有状況	II-41

### 第3 消防職団員の活動と処遇

1	活動状況	III- 1
	(消防職団員の活動と処遇 統計資料)	
第3-1表	消防機関の出動回数(消防本部・署所)	III- 3
第3-2表	消防機関の出動延人員(消防本部・署所)	III- 4
第3-3表	消防機関の出動回数(消防団)	III- 5
第3-4表	消防機関の出動延人員(消防団)	III- 6
第3-5表	非常勤消防団員の報酬及び出動手当等	III- 7

### 第4 防災対策

1	防災行政	IV- 1
2	情報通信体制	IV- 2
3	自主防災組織の状況	IV- 4
4	災害危険箇所等の状況	IV- 4
5	防災ヘリコプターの運航	IV- 5
6	防災拠点の整備	IV- 6
7	災害ボランティアの活用	IV- 8
	(防災対策 統計資料)	
第4-1表	防災会議の状況	IV- 9
第4-2表	地域防災計画の状況	IV-10
第4-3表	情報連絡体制, 防災訓練の状況	IV-11
第4-4表	防災無線通信施設の状況	IV-12

第4-5表	自主防災組織の状況	IV-13
第4-6表	災害危険箇所等の状況	IV-14

## 第5 予防行政の現況

1	火災予防思想の普及	V- 1
2	民間防火組織	V- 2
3	防火対象物	V- 3
4	消防設備士	V- 4
	(予防行政の現況 統計資料)	
第5-1表	婦人防火クラブの現況	V- 5
第5-2表	少年消防クラブの現況	V- 7
第5-3表	幼年消防クラブの現況	V- 8
第5-4表	防火対象物数	V- 9
第5-5表	防火管理者の選任状況	V-11
第5-6表	消防用設備等の設置状況	V-12
第5-7表	消防設備士試験実施状況	V-13
第5-8表	消防設備士免状交付状況	V-13
第5-9表	消防設備士講習受講状況	V-13

## 第6 危険物規制

1	危険物の規制	VI- 1
2	危険物施設	VI- 1
3	危険物事業所	VI- 3
4	立入検査	VI- 3
5	危険物施設等における事故	VI- 3
6	危険物取扱者試験及び危険物取扱者免状	VI- 4
7	危険物取扱者保安講習	VI- 4

(危険物規制 統計資料)

第6-1表	危険物施設数(完成検査済証交付施設)	VI-5
第6-2表	消防本部別危険物施設数(完成検査済証交付施設)	VI-6
第6-3表	指定数量別・類別危険物施設数(完成検査済証交付施設)	VI-7
第6-4表	容量・類別屋外タンク貯蔵所数(完成検査済証交付施設)	VI-8
第6-5表	危険物施設に対する立入検査状況並びに危険物施設及び無許可施設 に対する措置命令件数	VI-8
第6-6表	形態別危険物規制対象数(完成検査済証交付施設)その1	VI-9
第6-7表	形態別危険物規制対象数(完成検査済証交付施設)その2	VI-9
第6-8表	容量別旧法タンクの新基準適合数(完成検査済証交付施設)	VI-9
第6-9表	容量及び形態別の地下貯蔵タンク等の数(完成検査済証交付施設)	VI-10
第6-10表	施設別の地下貯蔵タンク等の数(完成検査済証交付施設)	VI-10
第6-11表	容量及び形式別の移動タンク貯蔵所数(完成検査済証交付施設)	VI-11
第6-12表	給油危険物別の給油取扱所数(完成検査済証交付施設)	VI-11
第6-13表	危険物事業所数	VI-11
第6-14表	製造所等の許可, 完成検査及び廃止届等の数	VI-12
第6-15表	圧縮アセチレンガス等及び指定可燃物等並びに少量危険物の状況	VI-12
第6-16表	危険物施設等の事故発生件数の推移(施設別)	VI-13
第6-17表	危険物施設等の事故発生件数の推移(事故種別)	VI-13
第6-18表	危険物取扱者試験実施状況	VI-14
第6-19表	危険物取扱者免状交付状況	VI-14
第6-20表	危険物取扱者保安講習受講状況	VI-14

## 第7 保安行政

1	火薬類・猟銃保安	VII-2
2	高圧ガス保安	VII-6

## 第8 教育訓練

1	広島県消防学校の沿革	VIII-1
2	組織及び職員数	VIII-1
3	施設の概要	VIII-1
4	教育訓練の概要	VIII-2
5	教育訓練の実施状況	VIII-3

## 第9 火災概況

	火災概況の見かた	IX-1
1	火災概況	IX-4
2	出火件数	IX-4
3	出火原因	IX-5

4	死者・負傷者	IX- 6
5	平成 29 年中の火災の特色	IX- 8
6	過年度特記火災事例 (火災概況 統計資料)	IX- 8
第 9 - 1 表	火災総括表	IX-10
第 9 - 2 表	出火原因別火災件数の推移	IX-11
第 9 - 3 表	市町別火災発生状況	IX-12
第 9 - 4 表	火災件数・損害額の推移	IX-13
第 9 - 5 表	火災による死者・負傷者の推移	IX-14

## 第 10 石油コンビナート等防災区域

1	位置図	X- 1
2	県の防災対策	X- 1
3	事業所の防災対策	X- 2
4	広島県の特別防災区域の概要	X- 2
5	石油コンビナート等事故件数	X- 3
6	最近の事故の状況	X- 3

## 参考資料

広島県危機管理監の組織	資- 1
消防機関の名称及び所在地	資- 2

# 第 1 消防体制の現況



## 第 1 消防体制の現況

### 1 消防組織

#### (1) 消防機関と人員

令和4年4月1日現在における市町の消防機関と人員の現況は、第1表のとおりである。

第1表 市町の消防組織数の現況

区 分		平成3年 (4月1日)	令和4年 (4月1日)	対前年比	
				増減数	増減率
消防本部・署所	消防本部	13	13	0	0.0%
	消 防 署	39	39	0	0.0%
	出 張 所	77	77	0	0.0%
	消防職員	3,678	3,688	10	0.3%
	消防吏員	3,661	3,670	9	0.2%
消防団	消 防 団	30	30	0	0.0%
	分 団	535	535	0	0.0%
	消防団員	20,732	20,068	▲664	▲3.2%

近年の推移は、第2表及び第1図、第2図のとおりである。(ともに毎年4月1日時点)

消防吏員は、昨年度に比べ9名増加した。7年続けて増加しており、過去最多の人数となっている。

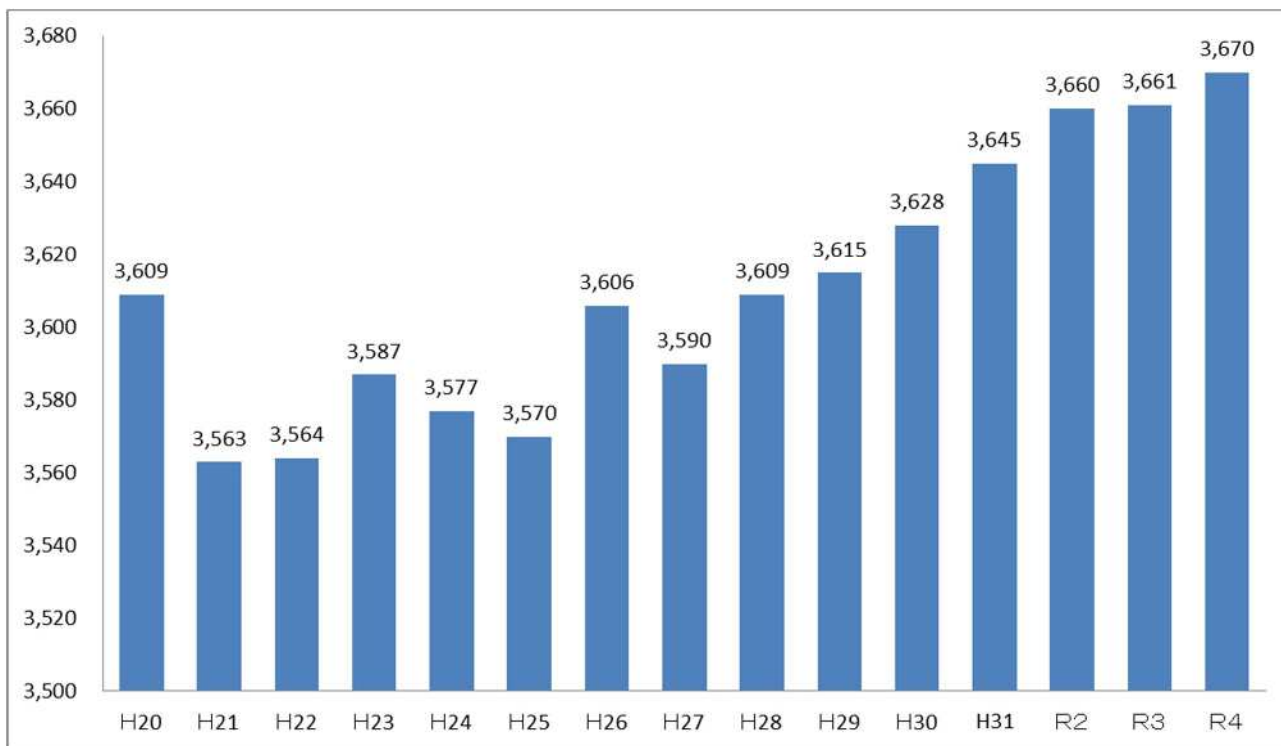
一方、消防団員は全国的な傾向と同じく、過去15年間で約11.2%の減少となっている。

第2表 市町の消防組織数の推移

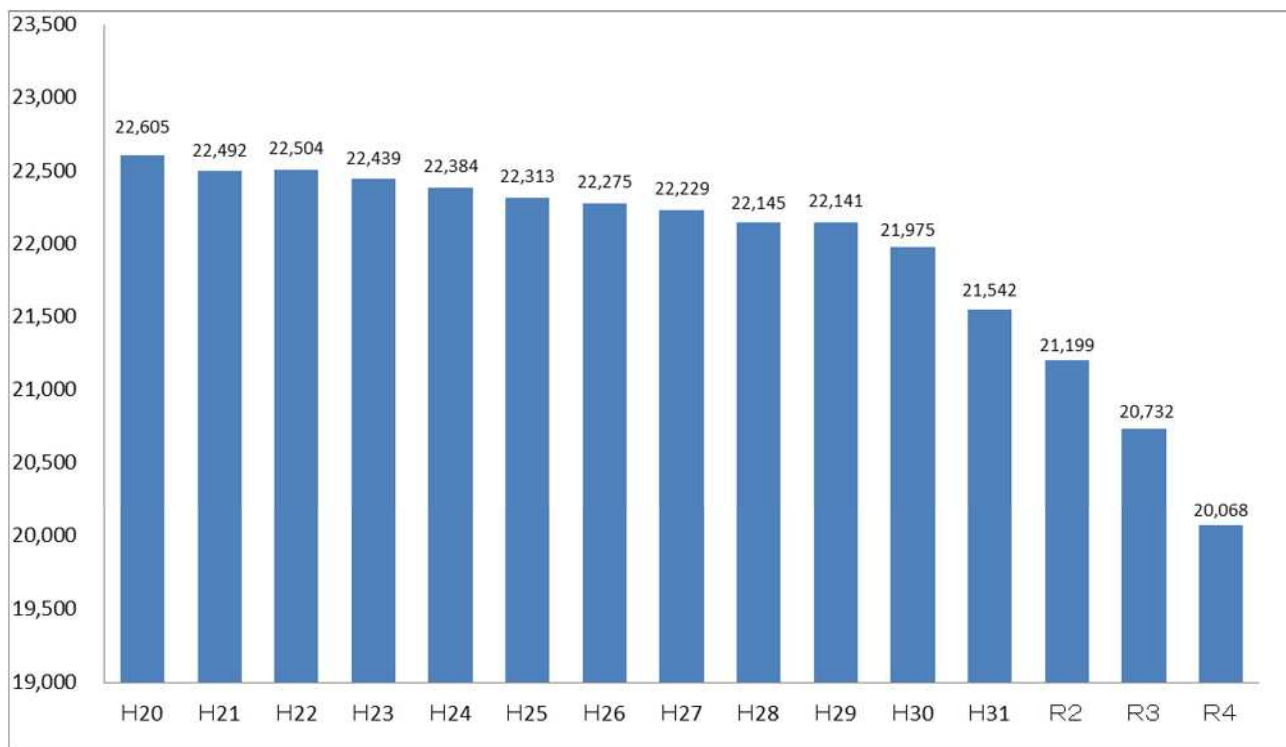
(毎年4月1日)

区 分	10年	15年	20年	25年	30年	31年	R2年	R3年	R4年
消防本部	20	19	14	13	13	13	13	13	13
消 防 署	39	39	40	37	37	38	37	39	39
出 張 所	76	75	75	75	78	77	79	77	77
消 防 団	93	86	30	30	30	30	30	30	30
分 団	700	661	628	548	547	546	546	535	535

第1図 消防吏員数の推移 (毎年4月1日)



第2図 消防団員数の推移 (毎年4月1日)



(2) 消防本部・署

ア 市町の消防事務を統括する消防本部は、令和4年4月1日現在、県内に13本部あり、消防署は39署設置されている。13消防本部のうち、市町単独で消防本部を設置しているものが11あり、残りの2消防本部は地方自治法の規定に基づく地方公共団体の組合により設置している。

イ 消防吏員

消防職員のうち、階級を有し、制服を着用して消防活動等の消防事務に従事する消防吏員の数は、令和4年4月1日現在で3,670人となり、昨年に比べて9人の増加となった。

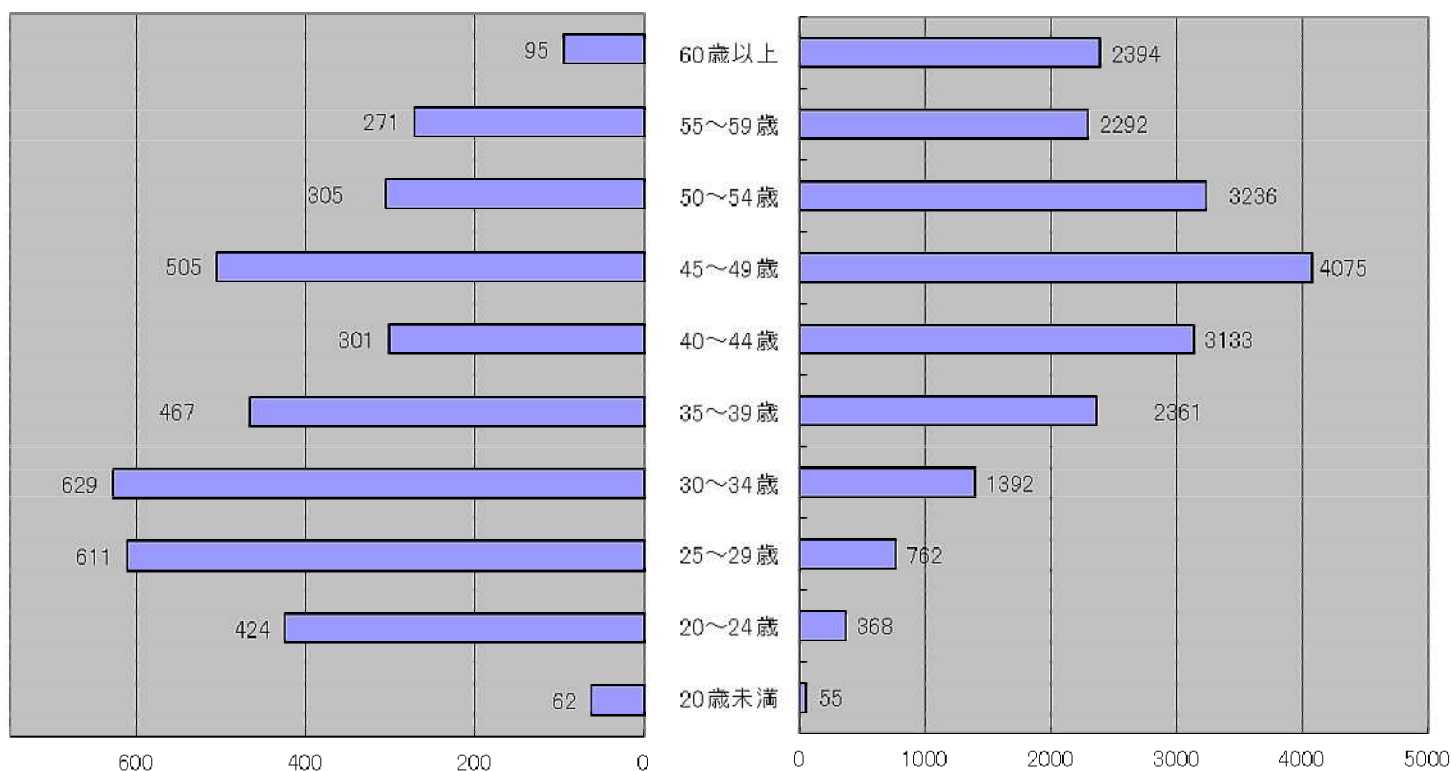
年齢構成は第3図のとおりである。50歳以上が全体の約2割となっており、あと数年は大量退職とそれに伴う大量採用が続く見込みである。また、在職年数別においても、25年以上の在職者が全体の約3割を占めている（第4図）。

なお、平均年齢は年々上昇が続いていたが、大量退職期を迎え新規採用者が増加していることから平成20年から低下傾向となっており、37.6歳となっている（第6図）。

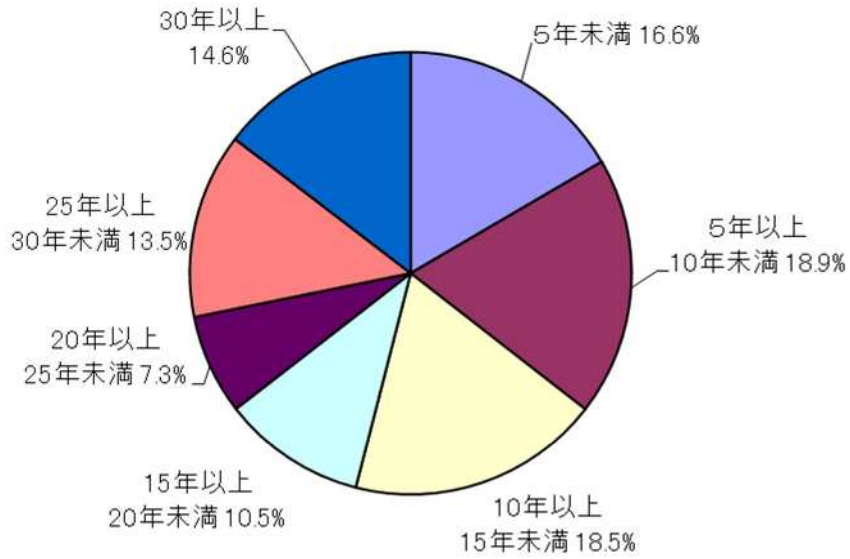
第3図 消防吏員・消防団員の年齢構成（令和4年4月1日現在）

消防吏員数 3,670人  
平均年齢 37.6歳

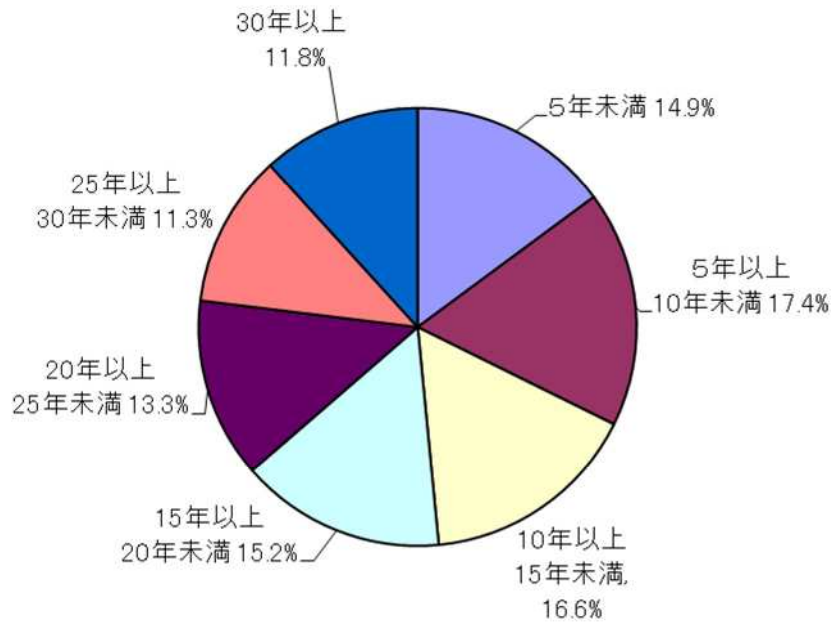
消防団員数 20,068人  
平均年齢 47.1歳



第4図 消防吏員の在職年数別構成(令和4年4月1日現在)



第5図 消防団員の在職年数別構成(令和4年4月1日現在)



(3) 消防団

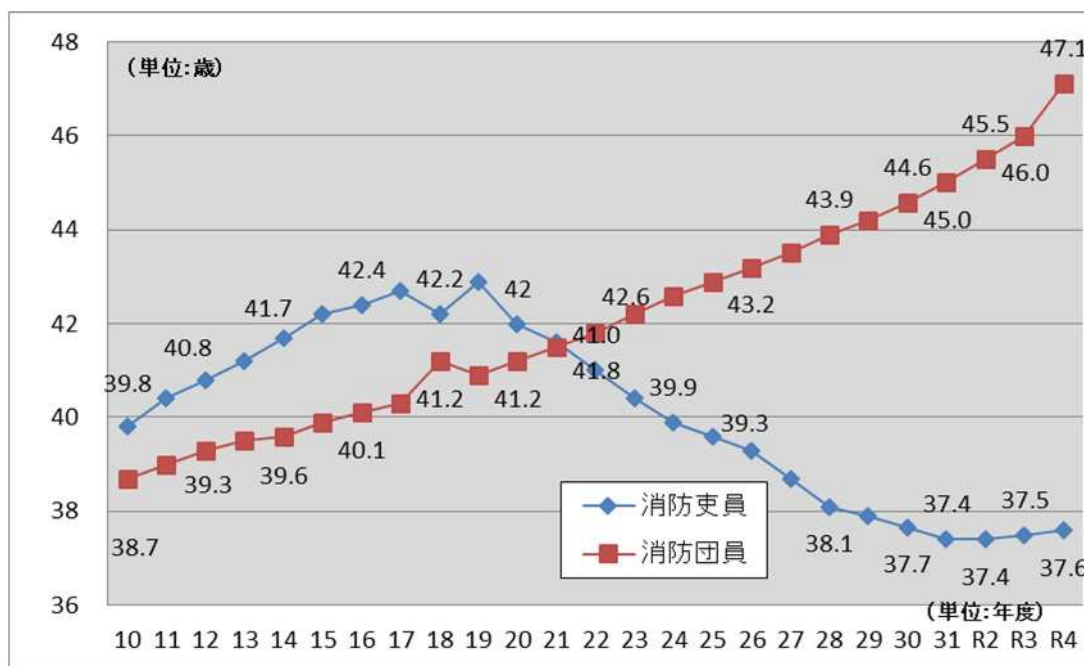
ア 県内の消防団は、令和4年4月1日現在で30消防団(535分団)が編成されており、広島市が各区に消防団を置く多団制をとっているが、他の市町では、1市町1団制をとっている。

## イ 消防団員

県内の消防団員数は、第2図のとおり年々減少傾向にあり、令和4年4月1日現在においては、20,068人で前年より664人減少している。年齢構成別消防団員数は、第3図のとおりであり、在職年数別消防団員数は、第5図のとおりで在職10年未満の団員が全体の約3割を占めている。

また、平均年齢の推移は、第6図のとおりで、47.1歳となっており、上昇傾向にある。

第6図 消防吏員・消防団員の平均年齢の推移(各年度4月1日時点)



## 2 消防の常備化

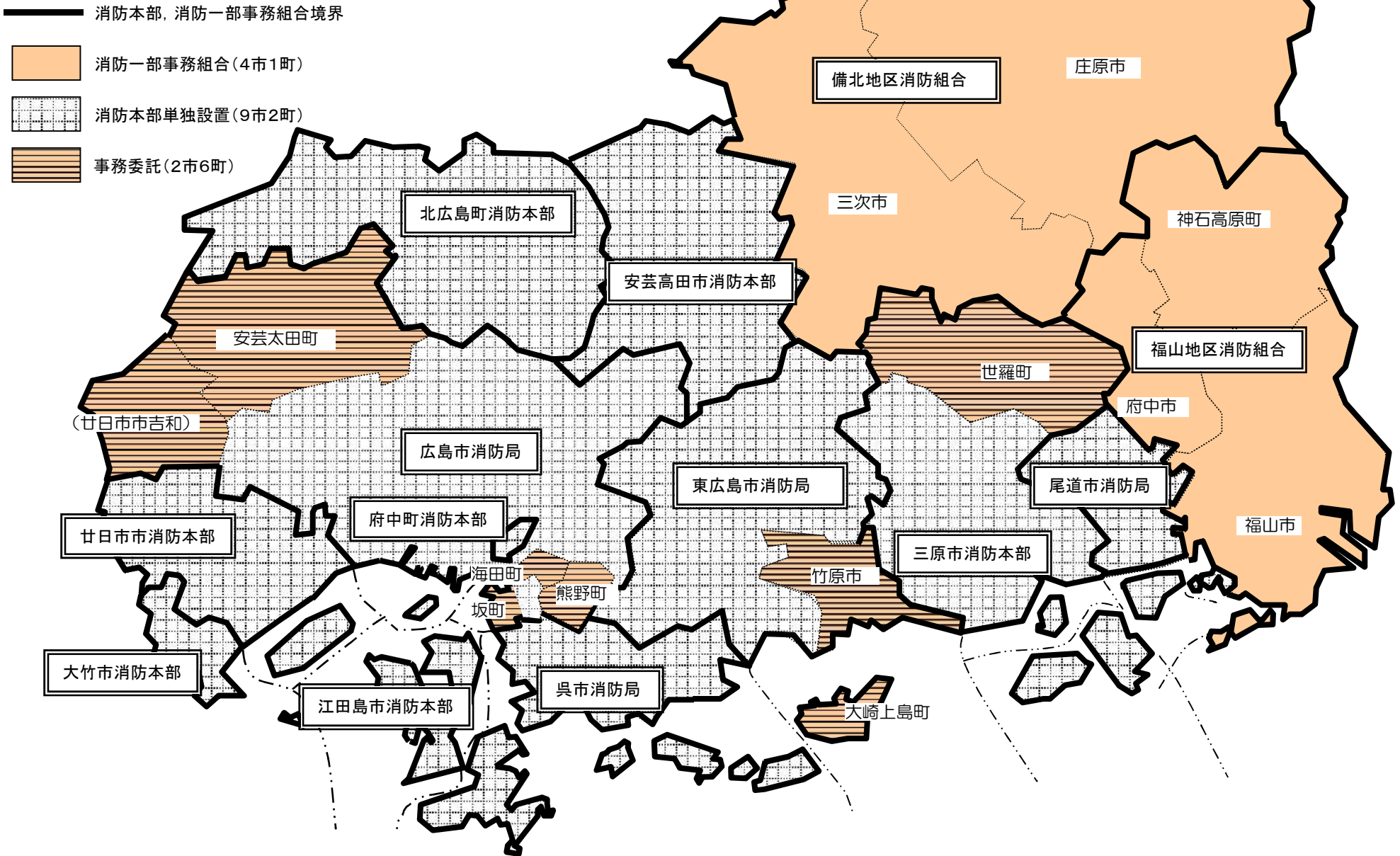
「消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令」の指定を受け、消防本部及び消防署を設置している市町（一部事務組合及び事務委託によるものを含む。）は、23市町であり、常備化率は市町数で100%に達している。令和4年4月1日現在の状況は第3表及び第7図のとおりである。

第3表 常備化の状況

区 分		市	町	計
市 町 数		14	9	23
内 訳	単 独	9	2	11
	一部事務組合	4	1	5
	事務委託	2	6	8

☆内訳の合計が市町数と相違しているのは、廿日市市が、単独で消防本部を設置しつつ、市内の一部地域(吉和地区)について事務委託を行っていることにより二重に計上されているためである。

第7図 消防現況図（令和4年4月1日現在）



### 3 消防の広域応援体制

消防においても市町が単独で処理するよりも効率的であるとして、共同組織等又は相互に応援する広域消防体制の整備が進められている。その方法として、地方自治法の規定に基づく一部事務組合又は事務委託によるものと、消防組織法の規定に基づく消防相互応援協定によるものがある。

令和4年4月1日現在における県内市町による一部事務組合数、事務委託数は、第3表のとおりである。一方、消防相互応援協定については、昭和62年10月1日、大規模災害に備え、今までの応援協定を廃止（県外団体との協定を除く。）し、県内どの団体からも応援可能な広域消防相互応援協定として「広島県内広域消防相互応援協定」（平成29年6月1日改正）が締結された。この協定の特徴は次のとおりである。

- (1) 県内の市町及び消防組合が一本化した協定書により締結する。
- (2) 協定の実施区域は、県内全域とする。
- (3) 対象とする災害は、協定市町等の応援を必要とするすべての災害とする。
- (4) 応援要請がない場合であっても、必要があると認めた場合は、応援することができる。
- (5) 応援に要する経費は、現地調達物資を除き、原則として応援側が負担する。

また、高速道路における消防の特殊性から、県内のインターチェンジ所在団体により、平成5年10月26日付けで「広島県内高速道路消防相互応援協定」が締結されている。

広島市が平成2年5月16日から運航させている消防ヘリコプターについては、県内全市町村が平成2年3月7日付けで「広島県内航空消防応援協定」を締結している。また、広島県が平成8年7月11日から運行させている防災ヘリコプターについては、広島県、県内全市町村及び県内全消防組合が「広島県防災ヘリコプター応援協定」を締結している。

### 4 消防施設

市町の消防施設は、国が示す「消防力の整備指針」及び「消防水利の基準」を基準として、計画的に整備が進められている。

#### (1) 消防機械

消防機関における消防機械の保有数の推移は、第4表のとおりである。消防団においては、小型動力ポンプ等の整備により機動力の確保が図られている。

#### (2) 消防水利

消防水利は、火災鎮圧のためには消防機械と共に不可欠なものである。消防水利には、消火栓、防火水槽、プール等の人工水利と、河川、池、湖、沼、海等の自然水利があり、人工水利と自然水利の適正な組合せを考慮することが必要である。その保有数の推移は、第8図のとおりである。



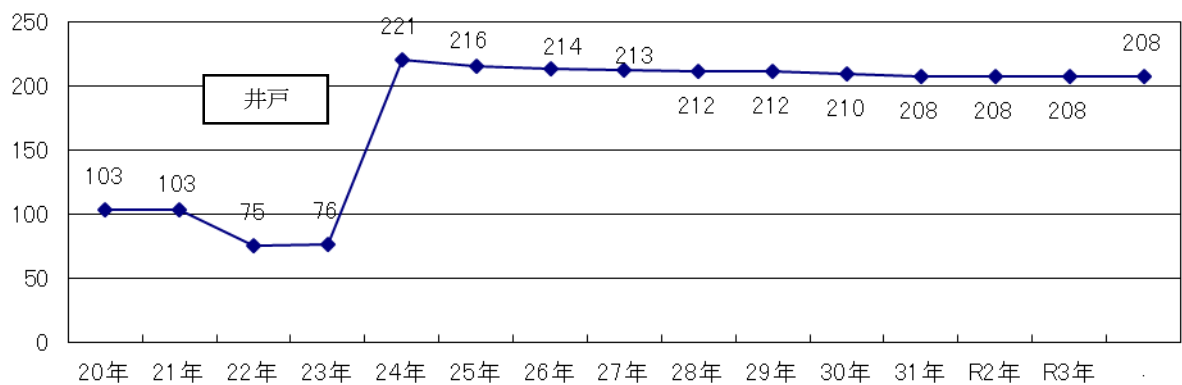
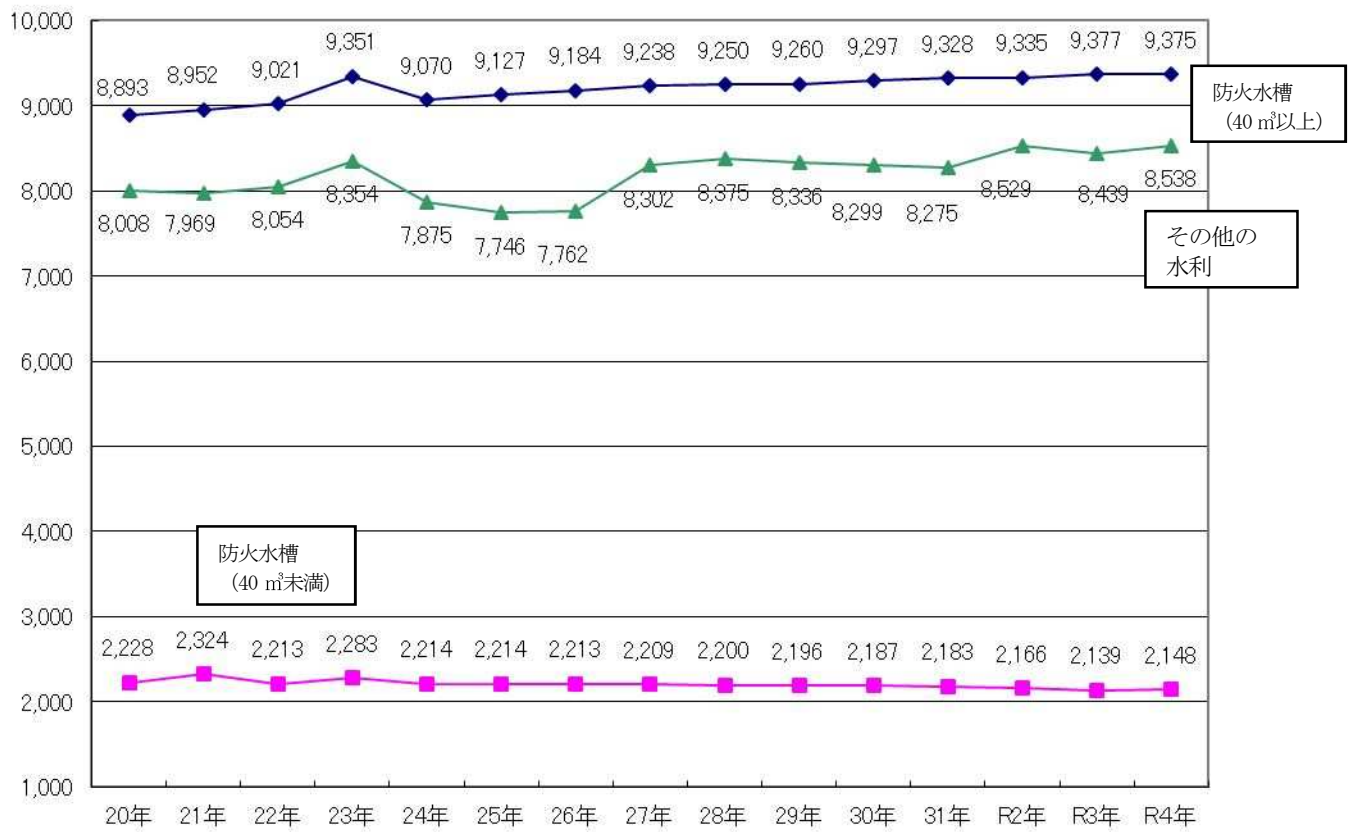
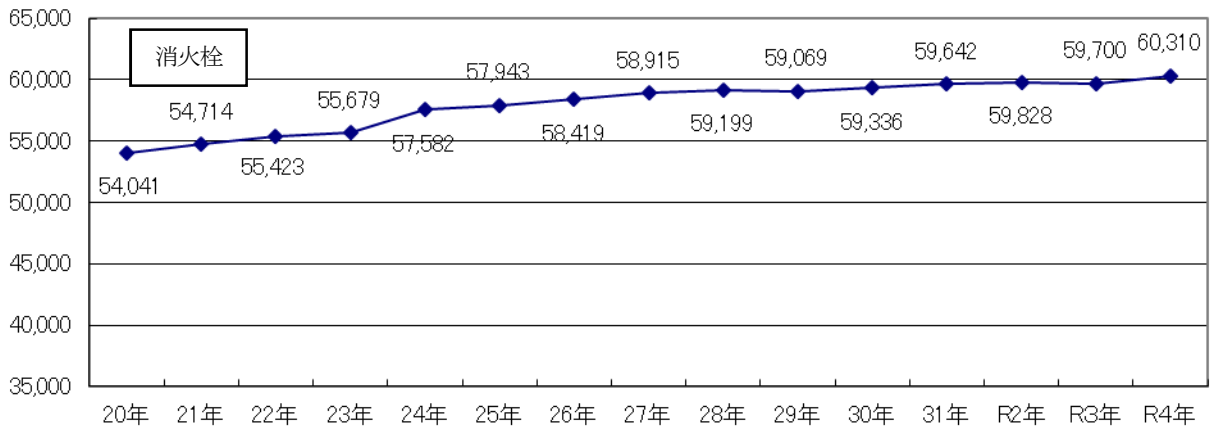
第4表 消防機械の保有数の推移

(毎年4月1日)

区 分		25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	R2年	R3年	R4年
消防本部・署所	消防ポンプ自動車	133	131	131	135	137	142	140	145	145	146
	水槽付消防ポンプ自動車	75	77	77	79	71	65	64	65	65	65
	救助工作車	32	32	31	31	31	30	30	29	29	29
	小型動力ポンプ	92	93	95	90	90	89	82	84	83	81
	小型動力ポンプ付積載車(うち数)	34	32	32	31	30	30	30	31	31	28
	はしご付消防ポンプ自動車(屈折含む)	31	32	34	29	29	29	29	29	29	29
	化学消防自動車	21	21	21	20	19	18	18	18	18	18
	救急自動車	162	162	162	162	163	164	164	169	170	170
	消防艇	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	その他の消防自動車	173	172	217	212	182	181	171	182	182	184
消防団	消防ポンプ自動車	188	187	188	184	181	180	176	175	172	172
	水槽付消防ポンプ自動車	-	1	1	1	2	2	2	2	2	2
	小型動力ポンプ	1,924	1,764	1,726	1,726	1,699	1,692	1,679	1,637	1,460	1,446
	小型動力ポンプ付積載車(うち数)	1,225	1,226	1,230	1,231	1,232	1,229	1,230	1,227	1,225	1,219
	その他の消防自動車	48	46	49	49	43	46	56	46	52	56
合 計	消防ポンプ自動車	321	318	319	319	318	322	316	320	317	318
	水槽付消防ポンプ自動車	75	78	78	80	73	67	66	67	67	67
	救助工作車	32	32	31	31	31	30	30	29	29	29
	小型動力ポンプ	2,016	1,857	1,821	1,816	1,789	1,781	1,761	1,721	1,543	1,527
	小型動力ポンプ付積載車(うち数)	1,259	1,258	1,262	1,262	1,262	1,259	1,260	1,258	1,256	1,247
	はしご付消防ポンプ自動車(屈折含む)	31	32	34	29	29	29	29	29	29	29
	化学消防自動車	21	21	21	20	19	18	18	18	18	18
	救急自動車	162	162	162	162	163	164	164	169	170	170
	消防艇	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
その他の消防自動車	221	218	267	261	225	228	227	228	234	240	



第8図 消防水利(人工水利)の保有数の推移



(3) 消防通信施設

火災等の被害を最小限に抑えるためには、火災等を早期に覚知し、消防機関が素早く現場に到着するとともに、現場においては、情報の収集及び指揮命令の伝達を迅速かつ的確に行うことが重要である。

消防通信施設には、火災報知専用電話（119番）、火災報知機、消防電話、消防無線電話等があり、4月1日現在の状況は、第5表のとおりである。

第5表 消防通信施設等の状況

(毎年4月1日)

区 分		27年	28年	29年	30年	31年	R2年	R3年	R4年
消防救急業務用無線局	基地局及び固定局	156	113	119	119	126	126	122	125
	移動局	1,984	2,791	2,375	2,389	2,922	2,947	2,913	2,908
消防機関にある電話 (回線)	火災報知専用電話 (119)	236	205	195	194	186	183	191	181
	消防電話 (消防機関相互専用)	60	45	45	55	55	67	67	67
	一般加入電話	785	666	706	775	783	793	791	799
救急指令装置		3	3	4	5	4	6	6	6

(4) 化学消火薬剤

近年、産業経済の発展と生活様式の多様化に伴い、各種の危険物施設及び危険物品が増加しており、これらの危険物火災に対処するため化学消火薬剤の備蓄が図られている。4月1日現在の市町の備蓄状況は、第6表のとおりである。

第6表 化学消火剤の備蓄状況

(毎年4月1日)単位:k1

区 分	たん白系	合成界面 活性剤	水成膜泡 消火薬剤	水溶性液体 用泡消火剤
28年	58.22	23.17	11.89	1.84
29年	48.50	26.27	8.98	12.57
30年	45.34	23.72	6.42	12.38
31年	40.50	21.99	5.87	9.71
R2年	28.54	22.79	14.77	9.87
R3年	28.34	24.36	14.50	7.81
R4年	27.04	23.89	14.97	6.00

## 5 消防費

### (1) 消防費の決算状況

令和3年度の市町の消防費歳出決算額は489億8,078万円であり、普通会計歳出決算額に占める割合は3.1%となっている。これを前年度と比較すると、消防費歳出決算額は、9億1,620万円(1.9%)増加している。

一部事務組合を含めると、消防費歳出決算額は567億9,507万円となっており、前年度に比べ15億3,590万円(2.8%)増加している。また、1世帯当たりの消防費は42,754円、県民1人当たりでは20,366円となっている。前年度と比較すると、1世帯当たりでは1,202円の増加、1人当たりでは719円の増加となっている。1人当たりの消防費が最も低い市町は、府中町で10,999円、ついで海田町(11,731円)、福山市(12,092円)の順となっており、最も高い市町は安芸太田町(51,695円)で府中町の約5倍となっている。

消防費決算額の対前年度比較は、第7表のとおりである。

第7表 消防費の決算状況

区 分	単位	令和2年度 (A)	令和3年度 (B)	(B)-(A)
普通会計歳出決算額 (1)	千円	1,754,546,480	1,589,652,248	▲164,894,232
消防費決算額歳出決算額 (市町分)	千円	48,064,581	48,980,781	916,200
消防費決算額歳出決算額 (一部事務組合含む) (2)	千円	55,259,163	56,795,067	1,535,904
消防費決算額の財源内訳のうち 一般財源等	千円	42,288,676	43,099,955	811,279
1世帯当たりの消防費 $\frac{(2)}{\text{世帯数}}$	円	41,553	42,754	1,202
県民1人当たり消防費 $\frac{(2)}{\text{人 口}}$	円	19,648	20,366	719
(2) / (1)	%	3.1	3.6	0.4

\* (2)の消防費決算額歳出決算額(一部事務組合含む)には、各市町から各消防組合への補助金及び負担金も含まれている。

### (2) 経費の性質別内訳

消防費歳出決算額の性質別内訳は、人件費が292億6,526万円と最も多く、消防費の約50%を占めている。その他には、普通建設事業費(116億7,872万円)、

物件費(41億1,957万円)などがある。前年度と比較すると、人件費は約0.9%の増加、普通建設事業費は約0.8%の減少となっている。消防費の性質別歳出決算額の対前年度比較は、第8表のとおりである。

第8表 消防費の性質別歳出決算状況

(単位：千円，%)

区 分	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
	金 額 (A)	金 額 (B)	増 減 B-A (C)	増減率 C/A×100
人 件 費	29,017,908	29,265,264	247,356	0.9%
物 件 費	4,151,537	4,119,573	▲31,964	▲0.8%
普通建設事業費	10,384,916	11,678,720	1,293,804	12.5%
補助事業費	1,269,269	660,604	▲608,665	▲48.0%
単独事業費	8,858,653	10,956,846	2,098,193	23.7%
その他	256,994	61,270	▲195,724	▲76.2%
補 助 費 等	11,019,038	11,195,912	176,874	1.6%
そ の 他	685,764	535,598	▲150,166	▲21.9%
計	55,259,163	56,795,067	1,535,904	2.8%

(3) 消防費の財源

ア 財源構成

消防費の財源としては、一般財源と特定財源とがある。一般財源は、地方税、地方交付税及び地方譲与税等などで430億9,996万円、特定財源は、国庫支出金、地方債、県支出金で104億7,393万円、その他の財源は、32億2,118万円である。また、地方交付税における消防費の基準財政需要額は361億7,583万円となり、前年に比べて2億7,689万円(0.8%)増加した。消防費決算額の財源内訳は、第9表のとおりである。

第9表 消防費決算額の財源内訳

(単位：千円，%)

区 分	令和2年度	令和3年度	対前年度比較	
	金 額 (A)	金 額 (B)	増 減 B-A (C)	増減率 C/A×100
一般財源等	42,288,676	43,099,955	811,279	1.9%
特定財源等	9,424,713	10,473,928	1,049,215	11.1%
国庫支出金	698,239	348,841	▲349,398	▲50.0%
県支出金	115,475	77,620	▲37,855	▲32.8%
地方債	8,610,999	10,047,467	1,436,468	16.7%
その他財源	3,545,774	3,221,184	▲324,590	▲9.2%
計	55,259,163	56,795,067	1,535,904	2.8%

イ 補助金

消防防災施設等整備に対する補助金の推移は第10表のとおりである。

第10表 消防防災施設等整備費補助事業（国庫）の推移

(単位：千円)

区分	ポンプ車	小型ポンプ付 積載車	耐震性貯水槽 (40m <sup>3</sup> 級)	その他	計
19年度	16,336	—	85,293	109,287	210,916
20年度	5,852	—	84,393	297,534	387,779
21年度	6,832	—	106,567	91,408	204,807
22年度	—	—	77,156	171,782	248,938
23年度	7,197	—	28,062	463,716	498,975
24年度	—	—	51,202	863,287	914,489
25年度	20,360	—	72,200	127,846	220,406
26年度	10,261	—	58,717	143,389	212,367
27年度	28,414	—	5,386	70,158	103,958
28年度	90,918	—	43,088	145,807	279,813
29年度	20,719	—	37,702	14,549	72,970
30年度	22,579	—	49,395	29,098	101,072
R元年度	57,197	—	21,944	80,505	159,646
R2年度	61,951	—	19,201	6,881	88,033
R3年度	57,197	—	21,944	80,505	159,646

第1-1表 消防力総括票

区 分		単位	令和3年 4月1日現在 (A)	令和4年 4月1日現在 (B)	(B) - (A)	
1 消防職員・ 消防団 数	(1) 消防本部数	本部	13	13	0	
	消防署数	署	39	39	0	
	出張所数	所	77	77	0	
	消防職員数(実員)	人	3,678	3,688	10	
	{ 消防職員数(条例定員) 消防吏員数(実員) その他の職員数(実員)	〃	〃	3,624	3,624	0
		〃	〃	3,661	3,670	9
		〃	〃	17	18	1
	(2) 消防団数	団	30	30	0	
	分団数	分団	535	535	0	
	消防団員数(条例定数)	人	23,263	22,849	△ 414	
〃(実員)	〃	20,732	20,068	△ 664		
2 消防費 決算額	消防費決算額(ア)	千円	55,259,163	56,795,067	1,535,904	
	普通会計歳出決算額(イ)	〃	1,754,546,480	1,589,652,248	△ 164,894,232	
	(ア) / (イ) × 100	%	3.1	3.6	0.4	
3 消 防 機 械	(1) 消防ポンプ自動車	台	145	146	1	
	水槽付消防ポンプ自動車	〃	65	65	0	
	小型動力ポンプ	〃	83	81	△ 2	
	はしご付消防自動車(屈折はしご付含む)	〃	29	29	0	
	救助工作車	〃	29	29	0	
	化学消防車	〃	18	18	0	
	救急自動車	〃	170	170	0	
	消防艇	隻	3	3	0	
	小型動力ポンプ付積載車	台	31	28	△ 3	
	その他の消防自動車等	〃	182	184	2	
	ヘリコプター	機	1	1	0	
	(2) 消防ポンプ自動車	台	172	172	0	
	水槽付消防ポンプ自動車	〃	2	2	0	
	小型動力ポンプ	〃	1,460	1,446	△ 14	
小型動力ポンプ付積載車	〃	1,225	1,219	△ 6		
その他の消防自動車等	〃	52	56	4		
4 消 防 水 利	消火栓	基	59,700	60,310	610	
	防火水槽 {	40立方メートル以上	〃	9,377	9,375	△ 2
		20~40立方メートル未満	〃	2,139	2,148	9
	井戸	個	208	208	0	
	その他	箇所	8,439	8,538	99	
5 火 災 通 信 施 設	消防用無線局 {	基地局及び固定局	局	122	125	3
		移動局	〃	2,913	2,908	△ 5
	火災報知器 {	受信機	基	0	0	0
		発信機	〃	0	0	0
	消防機関に あるもの {	火災報知専用電話	回線	191	181	△ 10
		消防電話	〃	67	67	0
		加入電話	〃	791	799	8

消防費決算額の欄は、(A)欄:令和元年度決算状況、(B)欄:令和3年度決算状況をそれぞれ示す。

第1-2表 消防本部一覧

区 分	消防本部 設置年月日	管内面積(km <sup>2</sup> )	管内人口(人)	組合構成市町又は委託町
広島市消防局	昭和23. 3. 7	1,457.34	1,262,526	海田町, 熊野町, 坂町, 安芸太田町, 廿日市市吉和地区
呉市消防局	昭和23. 3. 7	352.83	213,008	
三原市消防本部	昭和23. 3. 7	749.65	105,769	世羅町
尾道市消防局	平成18. 1. 10	285.11	131,887	
大竹市消防本部	昭和25. 3. 25	78.66	26,335	
東広島市消防局	平成17. 2. 7	796.50	220,263	竹原市, 大崎上島町
廿日市市消防本部	昭和32. 4. 1	343.97	116,029	(吉和地区を除く)
安芸高田市消防本部	平成16. 3. 1	537.71	27,529	
江田島市消防本部	昭和48. 4. 1	100.72	21,770	
府中町消防本部	昭和42. 4. 1	10.41	52,935	
北広島町消防本部	平成17. 2. 1	646.20	17,797	
備北地区消防組合 消防本部	昭和45. 10. 1	2,024.67	83,766	三次市, 庄原市
福山地区消防組合 消防局	平成2. 4. 1	1,095.45	509,046	福山市, 府中市, 神石高原町

※ 面積は, 国土地理院調査R3.10.1現在。人口は, 住民基本台帳R4.1.1現在。

第1-3表 消防の現況

区分 団体名	消防本部・署所			消防団			面積 (km <sup>2</sup> )	人口	世帯数	普通会計歳出 決算額 (R3年度) (A) (千円)	消防費 (R3年度) (B) (千円)	消防費に係る 基準財政需要額 (R3年度) (C) (千円)	一般財源等 (R3年度) (D) (千円)	B/A (%)	C/B (%)	D/B (%)
	消防署数	出張所数	職員数	消防団数	分団数	団員数										
広島市	8	32	1,346	8	84	2,397	906.69	1,189,149	575,232	714,072,933	18,949,298	13,577,113	11,562,095	2.7	71.6	61.0
呉市	2	12	385	1	36	1,683	352.83	213,008	107,089	107,830,324	3,789,914	2,710,656	3,468,421	3.5	71.5	91.5
竹原市	—	—	—	1	6	361	118.23	24,071	12,112	14,487,465	532,965	398,736	499,037	3.7	74.8	93.6
三原市	3	4	172	1	31	1,219	471.51	90,320	43,111	53,328,894	1,829,895	1,294,968	1,301,794	3.4	70.8	71.1
尾道市	3	4	222	1	45	1,485	285.11	131,887	63,940	68,051,087	3,582,412	1,770,479	2,364,741	5.3	49.4	66.0
福山市	—	—	—	1	60	2,563	517.72	463,324	212,326	203,252,941	5,602,514	5,186,364	5,519,931	2.8	92.6	98.5
府中市	—	—	—	1	13	735	195.75	37,226	17,026	24,567,982	663,770	601,275	613,761	2.7	90.6	92.5
三次市	—	—	—	1	39	1,465	778.18	50,398	23,301	39,669,071	1,485,322	954,860	1,237,217	3.7	64.3	83.3
庄原市	—	—	—	1	24	1,537	1,246.49	33,368	15,183	34,118,299	1,073,815	760,664	930,335	3.1	70.8	86.6
大竹市	1	—	47	1	12	301	78.66	26,335	12,870	16,870,944	490,225	469,100	438,874	2.9	95.7	89.5
東広島市	3	6	299	1	37	1,389	635.16	189,039	87,971	95,727,832	3,330,277	2,368,794	2,207,122	3.5	71.1	66.3
廿日市市	4	1	187	1	24	599	489.49	116,636	52,743	59,745,125	2,364,334	1,598,770	1,950,185	4.0	67.6	82.5
安芸高田市	1	—	58	1	37	762	537.71	27,529	13,407	21,792,642	767,560	647,724	597,095	3.5	84.4	77.8
江田島市	1	1	67	1	17	458	100.72	21,770	11,977	15,867,553	608,087	543,875	561,770	3.8	89.4	92.4
府中町	1	—	58	1	3	64	10.41	52,935	23,666	21,198,782	582,251	713,957	523,011	2.7	122.6	89.8
海田町	—	—	—	1	3	85	13.79	30,403	13,821	13,067,968	356,652	475,886	343,183	2.7	133.4	96.2
熊野町	—	—	—	1	10	155	33.76	23,584	10,578	10,487,715	643,362	367,766	423,287	6.1	57.2	65.8
坂町	—	—	—	1	8	199	15.69	12,943	5,783	7,202,178	178,251	251,047	162,376	2.5	140.8	91.1
安芸太田町	—	—	—	1	11	386	341.89	5,840	3,082	8,558,459	301,901	202,691	239,250	3.5	67.1	79.2
北広島町	1	3	59	1	14	658	646.20	17,797	8,358	17,139,095	655,088	444,916	570,364	3.8	67.9	87.1
大崎上島町	—	—	—	1	9	312	43.11	7,153	4,193	7,737,148	331,367	205,862	271,365	4.3	62.1	81.9
世羅町	—	—	—	1	5	625	278.14	15,449	6,773	13,319,660	478,908	370,293	417,410	3.6	77.3	87.2
神石高原町	—	—	—	1	7	630	381.98	8,496	3,869	12,564,875	382,613	260,033	372,314	3.0	68.0	97.3
備北地区消防組合	3	7	215	—	—	—	—	—	—	1,967,297	1,360,821	—	1,346,952	69.2	—	99.0
福山地区消防組合	8	7	573	—	—	—	—	—	—	7,025,979	6,453,465	—	5,178,065	91.9	—	80.2
市町計	28	63	2,900	30	535	20,068	8,479.22	2,788,660	1,328,411	1,580,658,972	48,980,781	36,175,829	36,574,938	3.1	73.9	74.7
組合計	11	14	788	—	—	—	—	—	—	8,993,276	7,814,286	—	6,525,017	86.9	—	83.5
県計	39	77	3,688	30	535	20,068	8,479.22	2,788,660	1,328,411	1,589,652,248	56,795,067	36,175,829	43,099,955	3.6	63.7	75.9

※ 令和4年度消防防災・震災対策現況調査より。  
 (消防本部の職員数及び消防団の団員数はR4.4.1現在。人口及び世帯数は、住民基本台帳R4.1.1現在。面積は、国土地理院調査R3.10.1現在。)  
 (普通会計歳出決算額、消防費、消防費に係る基準財政需要額及び一般財源等は、令和元年度地方財政状況調査より)



第1-4表 階級別消防吏員数

(令和4年4月1日現在 単位:人)

区分 消防本部名	小計		消防総監	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	平均年齢
	うち女性												
県計	3,670	125	—	1	10	29	119	468	846	1,237	156	804	37.6
うち女性	125	125	—	—	—	—	4	14	14	40	4	49	
広島市	1,345	61	—	1	5	7	54	251	340	381	3	303	35.7
呉市	379	12	—	—	1	4	20	42	73	122	13	104	38.6
三原市	172	3	—	—	—	1	6	6	31	76	17	35	39.8
尾道市	221	7	—	—	1	2	5	31	65	80	8	29	41.5
大竹市	46	—	—	—	—	—	1	6	20	9	7	3	39.7
東広島市	295	9	—	—	1	5	10	22	71	110	12	64	37.6
廿日市市	186	7	—	—	—	1	3	11	30	74	23	44	41.9
安芸高田市	58	4	—	—	—	—	1	4	13	20	1	19	34.0
江田島市	67	4	—	—	—	—	1	11	19	13	6	17	38.0
府中町	58	2	—	—	—	—	1	4	18	21	4	10	39.9
北広島町	57	—	—	—	—	—	1	4	16	18	—	18	35.5
備北地区 消防組合	214	4	—	—	1	—	6	17	46	77	22	45	36.4
福山地区 消防組合	572	12	—	—	1	9	10	59	104	236	40	113	38.3

第1-5表 勤務体制別消防職員数

(令和4年4月1日現在 単位:人)

区分 消防本部名	消防職員の内訳										
	計	消防吏員数								その他の職員	
		毎日勤務者	うち女性	2部制	うち女性	3部制	うち女性	派遣等	うち女性		うち女性
県計	3,688	651	59	2,858	51	53	2	108	13	18	6
広島市	1,346	246	33	1,005	21	36	2	58	5	1	1
呉市	385	53	5	323	7	—	—	3	—	6	—
三原市	172	27	—	144	3	—	—	1	—	—	—
尾道市	222	42	3	179	4	—	—	—	—	1	1
大竹市	47	10	—	36	—	—	—	—	—	1	—
東広島市	299	45	4	218	3	17	—	15	2	4	2
廿日市市	187	33	3	150	4	—	—	3	—	1	—
安芸高田市	58	20	3	38	1	—	—	—	—	—	—
江田島市	67	14	—	47	2	—	—	6	2	—	—
府中町	58	12	1	44	1	—	—	2	—	—	—
北広島町	59	9	—	48	—	—	—	—	—	2	1
備北地区消防組合	215	29	—	176	2	—	—	9	2	1	—
福山地区消防組合	573	111	7	450	3	—	—	11	2	1	1

第1-6表 在職年数別消防吏員数

(令和4年4月1日現在 単位:人)

区分 消防本部名	計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
県計	3,670	610	693	679	386	268	497	537
広島市	1,345	239	307	290	130	65	133	181
呉市	379	74	74	45	32	40	48	66
三原市	172	31	20	20	30	7	21	43
尾道市	221	47	14	30	43	18	43	26
大竹市	46	5	4	9	7	7	7	7
東広島市	295	60	27	57	40	22	52	37
廿日市市	186	13	36	23	11	17	43	43
安芸高田市	58	19	11	7	2	4	11	4
江田島市	67	12	14	9	3	3	19	7
府中町	58	3	11	14	6	5	12	7
北広島町	57	12	19	6	2	1	0	17
備北地区消防組合	214	42	40	33	29	10	31	29
福山地区消防組合	572	53	116	136	51	69	77	70

第1-7表 階級別消防団員数

(令和4年4月1日現在 単位:人)

区分 団体名	小計		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	平均年齢	条例定数
		うち女性									
県計	20,068	579	30	171	721	831	1,686	2,928	13,701	47.1	22,849
うち女性	579	579	—	1	17	25	36	52	448	—	—
広島市	2,397	146	8	17	93	183	291	392	1,413	51.8	2,753
呉市	1,683	36	1	15	40	57	284	417	869	49.6	1,900
竹原市	361	15	1	3	6	7	14	53	277	49.5	430
三原市	1,219	20	1	11	38	31	69	116	953	50.1	1,369
尾道市	1,485	51	1	13	53	56	184	281	897	45.6	1,716
福山市	2,563	47	1	8	68	120	172	172	2,022	42.1	2,864
府中市	735	14	1	4	21	25	49	114	521	45.9	846
三次市	1,465	40	1	11	49	80	119	197	1,008	49.2	1,620
庄原市	1,537	5	1	24	34	47	108	182	1,141	45.2	1,765
大竹市	301	32	1	4	14	13	28	54	187	46.1	330
東広島市	1,389	72	1	14	67	46	100	175	986	47.8	1,637
廿日市市	599	43	1	5	34	24	39	87	409	47.4	732
安芸高田市	762	13	1	9	55	36	37	93	531	46.6	865
江田島市	458	16	1	8	17	18	55	103	256	49.7	500
府中町	64	4	1	2	3	3	6	25	24	46.1	75
海田町	85	10	1	2	3	2	16	12	49	49.5	125
熊野町	155	—	1	2	10	10	3	20	109	43.9	157
坂町	199	1	1	2	8	8	16	50	114	43.5	220
安芸太田町	386	5	1	3	19	10	31	65	257	48.6	500
北広島町	658	2	1	4	39	14	—	69	531	45.7	720
大崎上島町	312	—	1	3	11	9	19	23	246	44.1	360
世羅町	625	7	1	3	19	4	20	127	451	43.8	650
神石高原町	630	—	1	4	20	28	26	101	450	43.9	715

第1-8表 在職年数別消防団員数

(令和4年4月1日現在 単位:人)

区分 団体名	計	5 年 未 満	5 年 以 上 10 年 未 満	10 年 以 上 15 年 未 満	15 年 以 上 20 年 未 満	20 年 以 上 25 年 未 満	25 年 以 上 30 年 未 満	30 年 以 上
県 計	20,068	2,985	3,499	3,242	3,047	2,666	2,269	2,360
広島市	2,397	400	421	370	385	272	254	295
呉市	1,683	190	300	300	225	190	200	278
竹原市	361	44	51	49	59	57	48	53
三原市	1,219	149	197	187	174	167	157	188
尾道市	1,485	272	247	249	223	201	163	130
福山市	2,563	477	533	474	389	343	213	134
府中市	735	56	122	99	125	119	108	106
三次市	1,465	233	204	229	183	221	159	236
庄原市	1,537	176	263	246	254	226	214	158
大竹市	301	45	68	49	42	34	28	35
東広島市	1,389	227	229	187	251	175	165	155
廿日市市	599	112	107	77	88	64	50	101
安芸高田市	762	92	135	136	132	117	86	64
江田島市	458	71	105	76	52	45	41	68
府中町	64	14	14	4	12	7	3	10
海田町	85	14	11	21	18	8	11	2
熊野町	155	36	32	33	18	16	8	12
坂町	199	41	48	36	32	11	15	16
安芸太田町	386	54	49	49	44	45	57	88
北広島町	658	55	96	117	104	99	111	76
大崎上島町	312	39	67	59	38	42	33	34
世羅町	625	105	101	107	107	107	53	45
神石高原町	630	83	99	88	92	100	92	76

第1-9表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署所)(その1)

(令和4年4月1日現在 単位:台)

区分 消防本部名	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	はしご付消防ポンプ自動車 (ポンプ付でない車両を含む)				屈折はしご付消防ポンプ付でない車両を含む)	大型高所放水車	泡原液搬送車	化学消防自動車		救急自動車	指揮車	消防艇	救助工作車	林野火災工作車	電源・照明車	小型動力ポンプ	
	B・1以上	B・1以上	18m以下	24m	30m	38m以上				泡消火型	粉末消火型							付小型動力ポンプ	いないに積載して
県計	146	65	3	4	17	3	2	1	2	18	0	170	34	3	29	0	0	28	53
広島市	34	38	0	3	9	1	0	0	0	3	0	50	8	1	8	0	0	2	42
呉市	21	3	0	0	1	0	1	0	0	2	0	16	3	0	2	0	0	6	0
三原市	8	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	9	3	0	1	0	0	2	0
尾道市	9	3	1	0	0	1	0	0	0	1	0	10	1	0	1	0	0	3	0
大竹市	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	3	1	0	1	0	0	0	2
東広島市	16	4	0	1	1	0	1	0	0	3	0	19	0	0	3	0	0	1	0
廿日市市	5	4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	11	0	1	2	0	0	1	0
安芸高田市	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	0	1	0	0	0	3
江田島市	2	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	2	0	1	0	0	2	0
府中町	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0	1	2
北広島町	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	1	0	0	0	2
備北地区消防組合	15	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	13	6	0	2	0	0	0	0
福山地区消防組合	27	5	1	0	2	1	0	0	0	2	0	21	7	1	5	0	0	10	2

第1-9表 消防ポンプ自動車等現有数(消防本部・署所)(その2)

(令和4年4月1日現在 単位:台)

区分 消防本部名	排煙・高発泡車	広報車	空気充填車	資機材搬送車	消火剤投入車	破壊工作車	レッカー車	クレーン車	震災救難車	屈折放水塔車	消防活動全般用車	水槽車	耐煙救出車	支援車	人員搬送車	給食・給水車	起震車	その他の車両	ヘリコプター	海水利用型消防水利
県計	0	35	0	34	0	0	0	0	0	0	2	2	0	3	4	0	1	65	1	1
広島市	0	11	0	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	23	1	1
呉市	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10	0	0
三原市	0	3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0
尾道市	0	7	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
大竹市	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
東広島市	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10	0	0
廿日市市	0	1	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	11	0	0
安芸高田市	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
江田島市	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0
府中町	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北広島町	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
備北地区消防組合	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
福山地区消防組合	0	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0

第1-10表 消防ポンプ自動車等現有数(消防団)

(令和4年4月1日現在 単位:台)

区分 団体名	上 自 動 車 ( B 1 以 上)	普 通 消 防 ポ ン プ	水 槽 付 消 防 ポ ン プ ( B 1 以 上)	指 揮 車	小型動力ポンプ			広 報 車	搬 送 機 材	水 槽 車	其 他
					付 積 載 車	し 車 て 両 に ない 積 載 も の	手 引 動 力 ポ ン プ				
県計	172	2	33	1,219	222	5	8	1	1	13	
広島市	32	0	0	124	30	0	0	0	0	0	
呉市	0	0	1	135	3	0	1	0	0	2	
竹原市	0	0	1	27	2	0	0	0	0	0	
三原市	7	0	0	51	55	0	2	0	0	0	
尾道市	4	0	5	123	12	0	0	1	0	3	
福山市	59	0	1	111	2	0	1	0	0	0	
府中市	9	0	1	35	1	0	1	0	0	0	
三次市	8	0	1	121	2	0	1	0	0	0	
庄原市	4	0	0	96	59	0	0	0	0	4	
大竹市	1	0	1	24	0	0	1	0	0	2	
東広島市	8	0	1	62	22	0	0	0	0	0	
廿日市市	5	0	2	45	0	5	0	0	0	0	
安芸高田市	4	2	6	45	14	0	0	0	1	0	
江田島市	9	0	1	28	0	0	0	0	0	0	
府中町	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	
海田町	0	0	0	8	3	0	0	0	0	0	
熊野町	0	0	0	11	1	0	1	0	0	0	
坂町	1	0	0	12	5	0	0	0	0	0	
安芸太田町	3	0	4	32	1	0	0	0	0	0	
北広島町	3	0	0	40	0	0	0	0	0	2	
大崎上島町	0	0	0	26	7	0	0	0	0	0	
世羅町	3	0	3	42	0	0	0	0	0	0	
神石高原町	9	0	4	21	3	0	0	0	0	0	



第1-11表 消防水利の現況(その1)

(令和4年4月1日現在)

	合 計	消 火 栓			防 火 水 槽															井 戸		
		計	公 設	私 設	計	100m <sup>3</sup> 以上				小 計	防 火 水 槽 の うち 公 設				小 計	防 火 水 槽 の うち 私 設				計	公 設	私 設
						100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満		100m <sup>3</sup> 以上	60m <sup>3</sup> 以上 100m <sup>3</sup> 未満	40m <sup>3</sup> 以上 60m <sup>3</sup> 未満	20m <sup>3</sup> 以上 40m <sup>3</sup> 未満			
合計	72,041	60,310	58,385	1,925	11,523	355	509	8,511	2,148	9,261	109	231	7,568	1,353	2,262	246	278	943	795	208	18	190
広島市	29,765	27,548	26,858	690	2,217	155	184	1,686	192	1,446	33	28	1,314	71	771	122	156	372	121	—	—	—
呉市	5,529	4,822	4,621	201	705	40	66	488	111	482	5	46	370	61	223	35	20	118	50	2	—	2
竹原市	538	361	353	8	172	5	4	21	142	148	3	2	11	132	24	2	2	10	10	5	1	4
三原市	1,721	1,015	1,015	—	694	18	24	549	103	570	6	16	486	62	124	12	8	63	41	12	1	11
尾道市	4,005	3,521	3,406	115	484	16	15	354	99	379	2	4	307	66	105	14	11	47	33	—	—	—
福山市	9,359	8,248	7,556	692	1,083	39	61	816	167	869	22	34	711	102	214	17	27	105	65	28	16	12
府中市	1,099	741	740	1	358	—	6	295	57	351	—	4	291	56	7	—	2	4	1	—	—	—
三次市	2,294	1,439	1,439	—	855	5	—	660	190	815	—	—	635	180	40	5	—	25	10	—	—	—
庄原市	1,659	1,027	1,027	—	632	3	18	456	155	620	2	17	453	148	12	1	1	3	7	—	—	—
大竹市	847	814	747	67	33	—	2	30	1	32	—	2	29	1	1	—	—	1	—	—	—	—
東広島市	5,323	4,459	4,435	24	864	18	26	703	117	744	7	20	627	90	120	11	6	76	27	—	—	—
廿日市市	2,372	1,881	1,852	29	490	19	19	442	10	472	16	16	430	10	18	3	3	12	—	1	—	1
安芸高田市	644	147	147	—	497	5	3	396	93	470	4	3	389	74	27	1	—	7	19	—	—	—
江田島市	796	528	528	—	268	9	18	129	112	225	4	12	120	89	43	5	6	9	23	—	—	—
府中町	1,177	1,104	1,078	26	73	5	8	54	6	36	—	—	33	3	37	5	8	21	3	—	—	—
海田町	835	622	609	13	77	6	10	44	17	34	—	—	28	6	43	6	10	16	11	136	—	136
熊野町	516	443	436	7	73	—	4	67	2	57	—	—	57	—	16	—	4	10	2	—	—	—
坂町	595	509	508	1	86	4	13	66	3	48	1	1	46	—	38	3	12	20	3	—	—	—
安芸太田町	441	189	183	6	252	—	—	158	94	165	—	—	152	13	87	—	—	6	81	—	—	—
北広島町	821	423	381	42	398	—	—	211	187	245	—	—	206	39	153	—	—	5	148	—	—	—
大崎上島町	270	114	111	3	155	2	2	135	16	148	1	1	132	14	7	1	1	3	2	1	—	1
世羅町	648	208	208	—	417	—	—	343	74	415	—	—	342	73	2	—	—	1	1	23	—	23
神石高原町	787	147	147	—	640	6	26	408	200	490	3	25	399	63	150	3	1	9	137	—	—	—

第1-11表 消防水利の現況(その2)

(令和4年4月1日現在)

	その他						
	計	河川・溝等	海・湖	プ ー ル	濠・池等	下水道	その他
合計	8,538	4,511	590	809	2,188	—	440
広島市	925	586	45	261	33	—	—
呉市	543	50	230	50	3	—	210
竹原市	122	10	67	14	31	—	—
三原市	370	171	2	30	144	—	23
尾道市	554	72	71	36	353	—	22
福山市	677	140	25	130	382	—	—
府中市	173	130	—	16	27	—	—
三次市	537	499	—	38	—	—	—
庄原市	874	836	—	38	—	—	—
大竹市	25	9	7	4	5	—	—
東広島市	1,965	993	18	60	786	—	108
廿日市市	433	330	75	22	5	—	1
安芸高田市	371	285	—	22	64	—	—
江田島市	93	2	42	5	44	—	—
府中町	7	—	—	7	—	—	—
海田町	23	9	2	9	3	—	—
熊野町	59	15	—	6	38	—	—
坂町	4	—	—	4	—	—	—
安芸太田町	80	71	—	7	2	—	—
北広島町	141	91	—	12	38	—	—
大崎上島町	119	1	6	4	61	—	47
世羅町	156	68	—	16	72	—	—
神石高原町	287	143	—	18	97	—	29

第1-12表 化学消火薬剤備蓄状況

(令和4年4月1日現在)

区分 消防本部名	計 (k l)  (ア) ~ (オ)	化学消火薬剤種別				
		たん白系 (k l)		合成界面 活性剤  (k l) (ウ)	水成膜泡 消火薬剤  (k l) (エ)	水溶性液体 用 泡消火薬剤 (耐アル コール用)  (k l) (オ)
		3%型 (ア)	6%型 (イ)			
県計	71.90	27.04	0.00	23.89	14.97	6.00
広島市	6.87	—	—	2.15	—	4.72
呉市	3.96	—	—	1.68	2.28	—
三原市	4.72	—	—	1.10	3.62	—
尾道市	4.32	—	—	4.28	0.04	—
大竹市	16.50	16.50	—	—	—	—
東広島市	3.01	—	—	2.57	0.36	0.08
廿日市市	0.90	—	—	0.90	—	—
安芸高田市	1.20	—	—	—	1.20	—
江田島市	16.80	10.00	—	—	6.80	—
府中町	0.30	—	—	0.30	—	—
北広島町	0.90	0.12	—	0.78	—	—
備北地区消防組合	2.08	0.42	—	0.99	0.67	—
福山地区消防組合	10.34	—	—	9.14	—	1.20

## 第2 救急体制・救助体制

## 第2 救急体制・救助体制

### 1 救急業務の実施体制

救急業務実施市町数は、令和4年4月1日現在14市9町である。

県内の消防本部における救急自動車の保有台数（非常用を含む。）は、令和4年4月1日現在169台（うち167台が救急救命士による高度な処置のための資機材を積載した高規格救急自動車）で、救急隊員数は、1,227人（うち専任608人）である。（第1表）

第1表 救急自動車保有台数及び救急隊員数

（令和4年4月1日現在）

救急自動車数			救急隊員数					
保有台数 合計	うち 非常用	うち 高規格救 急自動車	救急隊員 数合計	うち 女性	専任	兼任		
						うち 女性	うち 女性	
170	28	167	1,227	30	608	23	619	7

### 2 救急業務の実施状況

#### (1) 救急出動件数

令和3年中における県内の救急出動件数は、128,982件で、前年と比較して7,617件、およそ9.2%の減少となっている。（第1図、第2図）

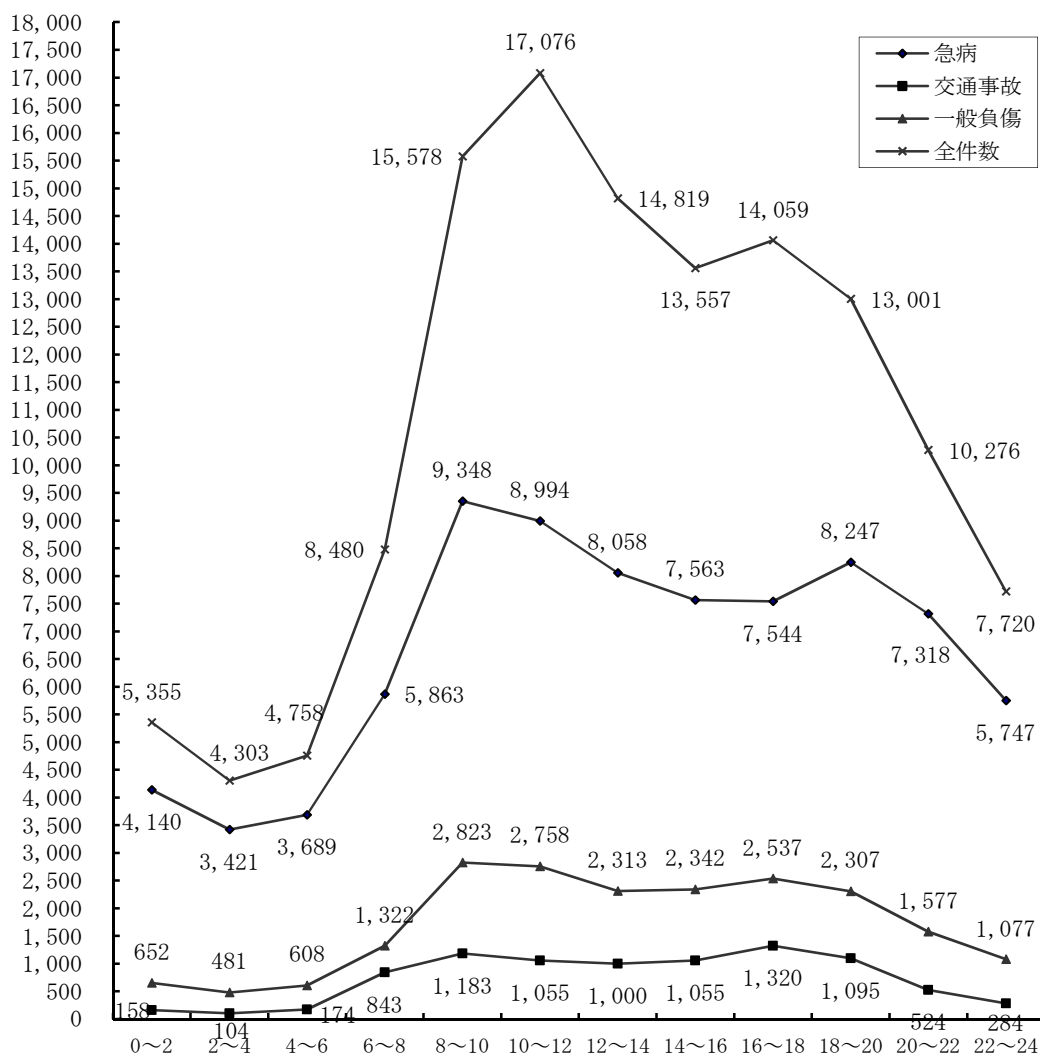
これは、県内で1日平均332件、約4分21秒に1回の割合で救急隊が出動したことになる。

第1図 事故種別救急出動件数

令和2年 121,365件 (100%)	急病 74,687件 (61.5%)	一般負傷 19,777件 (16.3%)	交通事故 8,889件 (7.3%)	その他 18,012件 (14.8%)
令和3年 128,982件 (100%)	急病 79,932件 (62.0%)	一般負傷 20,797件 (16.1%)	交通事故 8,795件 (6.8%)	その他 19,458件 (15.1%)

（注）その他は、火災・自然災害・水難・労働災害・運動競技・加害・自損行為等を指す。

第2図 時間別救急出動件数(令和3年中)



第2表 事故種別救急出動件数及び搬送人員 (単位:人)

	出動件数			搬送人員		
	3年中	2年中	対前年比 (%)	3年中	2年中	対前年比 (%)
計	128,982	121,365	106.3%	113,276	106,401	106.5%
火災	401	370	108.4%	89	112	79.5%
自然災害	18	7	257.2%	5	4	125.0%
水難	77	98	78.6%	26	51	51.0%
交通事故	8,795	8,889	99.0%	7,700	7,674	100.3%
労働災害	1,092	1,006	100.8%	1,059	969	109.3%
運動競技	529	480	110.2%	514	464	111.0%
一般負傷	20,797	19,777	105.2%	18,681	17,767	105.2%
加害	445	408	109.1%	310	280	110.7%
自損行為	1,106	998	110.8%	694	652	107.0%
急病	79,932	74,687	107.0%	70,101	65,341	107.3%
その他	15,790	14,645	107.8%	14,097	13,087	107.7%

救急出動件数を事故種別ごとに見ると、急病が半数以上を占め、次いで一般負傷、交通事故の順となっている。

## (2) 搬送人員の状況

令和3年中における県内の救急搬送人員は、113,276人で、前年と比較して6,875人、9.3%の増加となっている。(第2表)

これは、県民の約26人に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

### ア 医療機関別搬送人員

令和3年中に医療機関等に搬送された傷病者113,276人のうち、106,299人(93.8%)は救急告示医療機関へ搬送されている。(第3表)

第3表 医療機関別搬送人員の状況

(令和3年中 単位：人)

告示別 経営 主体 別	救急告示医療機関						その他の医療機関						その他	合計
	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的		計		
				病院	診療所					病院	診療所			
搬送人員数	15,713	31,485	15,397	42,486	1,218	106,299	176	165	164	3,254	3,121	6,880	97	113,276
うち管外	1,781	3,281	2,587	3,815	20	11,484	13	28	2	358	150	551	53	12,088

### イ 年齢区分別・事故種別搬送人員

年齢区分別で見ると、高齢者が71,973人(63.5%)と最も多く、成人33,158人(29.3%)、乳幼児4,323人(3.8%)、少年3,556人(3.2%)、新生児266人(0.2%)の順となっている。成人と高齢者で、全体の92.8%(105,131人)を占める。(第4表)

第4表 事故種別年齢区分別搬送人員

(令和3年中 単位：人)

区分	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
新生児	35	0	7	244	266
乳幼児	2,685	185	1,266	187	4,323
少年	1,572	861	602	521	3,556
成人	20,660	4,473	2,917	5,108	33,158
高齢者	45,149	2,181	13,889	10,754	71,973
計	70,101	7,700	18,681	16,794	113,276

(注) 新生児 生後 28 日未満の者                      乳幼児 生後 28 日以上満 7 歳未満の者  
 少年 満 7 歳以上満 18 歳未満の者              成人 満 18 歳以上満 65 歳未満の者  
 高齢者 満 65 歳以上の者

ウ 傷病程度別搬送人員

死亡、重症、中等症の傷病者の割合は、全体の 63.0% (71,392 人)、入院加療を必要としない軽症傷病者の割合は、37.0% (41,855 人)、その他 0.03% (29 人) となっている。(第 5 表)

第 5 表 傷病程度別搬送人員の状況

(令和 3 年中 単位：人)

区 分	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
死 亡	1,192	41	110	137	1,480
重 症	6,953	432	1,860	3,247	12,492
中 等 症	35,372	2,319	8,377	11,352	57,420
軽 症	26,562	4,905	8,333	2,055	41,855
そ の 他	22	3	1	3	29
計	70,101	7,700	18,681	16,794	113,276

また、これを年齢区分別に見ると、第 6 表のとおりである。

第 6 表 傷病程度別搬送人員の状況

(令和 3 年中 単位：人)

区 分	新生児	乳幼児	少 年	成人	高齢者	計
死 亡	0	6	4	248	1,222	1,480
重 症	26	86	105	2,501	9,774	12,492
中 等 症	201	1,190	1,130	13,952	40,947	57,420
軽 症	37	3,037	2,317	16,447	20,017	41,855
そ の 他	2	4	0	10	13	29
計	266	4,323	3,556	33,158	71,973	113,276

エ 収容所要時間別搬送人員

令和 3 年中の搬送人員 113,276 人についての収容所要時間（救急事故の覚知から医療機関等に収容するために要した時間）の状況は、30 分以上 60 分未満が 75,950 人（67.1%）で最も多く、次いで 20 分以上 30 分未満が 21,149 人（18.7%）となっている。（第 7 表、第 3 図）

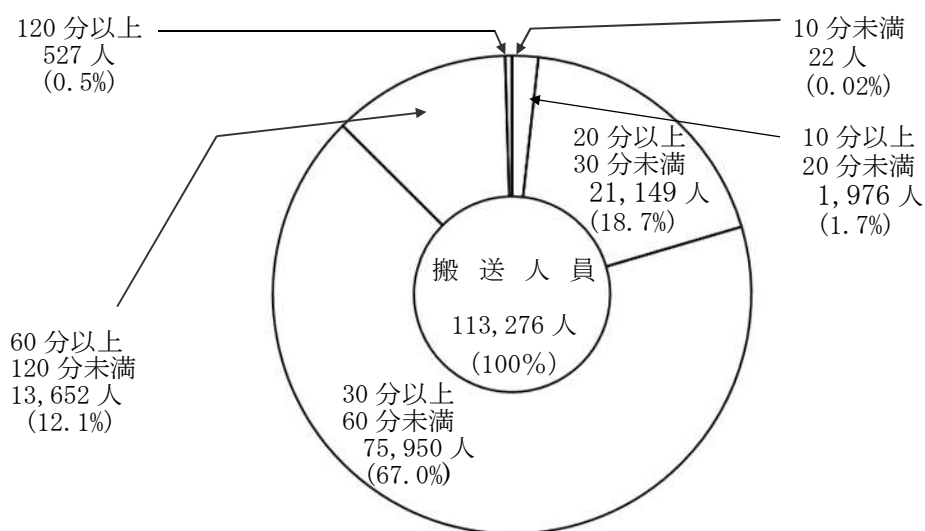


第7表 収容所要時間別搬送人員の状況（1）

（令和3年中 単位：人）

収容所要時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急病	1	799	12,300	48,833	7,889	279	70,101
交通事故	1	82	1,144	5,266	1,167	40	7,700
一般負傷	1	202	2,724	12,736	2,869	149	18,681
その他	19	893	4,981	9,115	1,727	59	16,794
計	22	1,976	21,149	75,950	13,652	527	113,276

第3図 収容所要時間別搬送人員の状況（2）



(3) 転送の状況

令和3年中の転送の状況を見ると、傷病者の98.9%（112,062人）は最初に搬送された医療機関等に収容されているが、1,214人は1回以上転送されている。

転送回数1,222回の理由は第8表のとおりである。

第8表 転送の理由（令和3年中 単位：件）

理由	収容できなかった医療機関	救急告示	非告示	計
ベッド満床		5	5	10
専門外		57	21	78
医師不在		1	0	1
手術中		3	0	3
処置困難		167	229	396
理由不明		0	0	0
その他		598	136	734
計		831	391	1,222

※「その他」には、応急処置のために最初の医療機関に立ち寄った場合を含む。

(注) 「転送」とは、搬送中の者が一の医療機関に収容されなかったため、そのまま他の医療機関へ搬送されることをいう。

(4) 救急隊員が行った応急処置の状況

令和 3 年中の搬送人員 113,276 人のうち、救急隊員が応急処置を行った傷病者は 112,952 人 (99.7%) となっており、その内容は、第 9 表のとおりである。

(5) 不搬送の状況

令和 3 年中の不搬送の件数は、16,279 件であり、不搬送の理由は、辞退（到着後）が 7,391 件 (45.5%) と最も多い。(第 10 表)

第 10 表 事故種別不搬送理由の状況

(令和 3 年中 単位：件)

事故種別 不搬送理由	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
辞退（到着前）	395	47	80	34	556
辞退（到着後）	4,900	903	1,211	377	7,391
拒否	1,640	277	529	224	2,670
明らかな死亡	1,762	12	58	351	2,183
他車（隊）搬送	356	105	122	183	766
傷病者なし	184	102	37	592	915
誤報・いたずら	42	3	2	526	573
その他	631	65	118	411	1,225
計	9,910	1,514	2,157	2,698	16,279

- (注) 拒否 酒気を帯びていない傷病者で、傷病者又はその関係者（警察官等を含む）が搬送を拒否したもの
- 酩酊 酒気を帯びている傷病者で、傷病者又はその関係者（警察官等を含む。）が搬送を拒否したもの
- 死亡 救急隊到達時に明らかに死亡していたもの
- 現場処置 現場において応急処置を行い、搬送しなかったもの

第9表 救急隊員の行った応急処置の状況（搬送分）

（令和3年中 単位：件）

処置項目 事故種別	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 マ ッ サ ー ジ	う ち 自 動	心 肺 蘇 生	う ち 自 動	酸 素 吸 入	気 道 確 保	※				保 温	被 覆	在 宅 療 法 継 続	シ ョ ッ ク パ ン ク	除 細 動	（ 静 脈 路 確 保 液 ）	薬 剤 投 与	応 急 の 他 処 置	血 圧 測 定	心 音 ・ 呼 吸 音 聴 取	飽 和 度 測 定	血 中 酸 素 測 定	心 電 図 測 定
										※ 1	※ 2	※ 3	※ 4													
急病	334	329	340	202	143	1,938	1,157	14,095	2,628	74	42	236	179	12,943	316	375	0	225	804	253	34,899	66,996	24,173	68,000	52,124	
交通事故	470	2,358	6	5	2	58	18	611	78	2	2	2	5	1,024	1,577	1	0	5	44	7	3,915	7,529	2,760	7,573	3,099	
一般負傷	1,665	2,111	30	16	13	193	114	1,157	288	11	36	29	23	3,003	3,828	35	0	12	73	30	9,305	17,860	4,216	18,303	8,985	
その他	331	677	61	28	18	204	107	4,858	328	6	1	16	25	3,093	670	40	0	15	83	25	8,360	15,975	4,367	16,291	10,694	
計	2,800	5,475	437	251	176	2,393	1,396	20,721	3,322	93	81	283	232	20,063	6,391	451	0	257	1,004	315	56,479	108,360	35,516	110,167	74,902	

処置項目 事故種別	投β 刺 激 与 薬	静 脈 路 確 保	血 糖 測 定	エ ピ ペ ン 投 与	ブ ド ウ 糖 投 与	計
急病	0	825	800	17	118	282,734
交通事故	0	44	12	2	1	31,179
一般負傷	0	73	25	3	2	71,213
その他	0	83	21	2	0	66,206
計	0	1,025	858	24	121	451,332

（注） 気道確保の※1は、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載したものである。

※2は、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数を内数として記載したものである。

※3は、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載したものである。

※4は、救急救命士が気管内チューブを使用して気道確保を行った件数を内数として記載したものである。

### 3 プレホスピタル・ケアの充実とメディカルコントロール体制の整備

平成3年に救急救命士法（平成3年法律第36号）が制定され、救急救命士制度が設けられた。

救急救命士による高度な処置により県民の救命率の向上を図るため、県及び消防機関では、積極的に救急救命士の養成に取り組むとともに、救急救命士が行う応急処置の知識、技能を医学的観点から、維持、向上させる体制（メディカルコントロール体制）を整備している。

令和4年4月1日現在、本県の救急隊131隊のうち、すべての救急隊で救急救命士を運用している（第12表）。

また、救急救命士の処置範囲は順次拡大されており、平成16年7月から救急救命士による気管挿管、平成18年4月から薬剤（アドレナリン）の投与、平成26年1月から心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液、血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与の実施が可能となったため、これらが実施できる救急救命士の養成に取り組んでいる。

第12表 救急救命士の運用状況

（令和4年4月1日現在）

救急隊数		救急隊員数		
救急隊総数	うち救急救命士運用隊数	救急隊員総数	うち救急救命士資格者数	うち運用中の救急救命士
131	131	1,227	743	691

#### 4 ヘリコプター救急搬送

本県では、広島県防災ヘリコプターと広島市消防ヘリコプターの2機で救急搬送を行っており、令和3年度は、70の救急出動があった。

県では、平成12年11月、「ヘリコプター救急搬送推進要領」を策定しソフト面の整備を図るとともに、平成14年3月には、県内10箇所（因島市、庄原市（3箇所）、廿日市市、安芸太田町、北広島町、大崎上島町、世羅町、神石高原町）に場外離着陸場（ヘリポート）を整備し、県内どこからでも1時間以内に重度の傷病者を救命救急センターへ搬送できる体制を整備した。

また、消防・防災ヘリコプターを活用し、医師等を救急現場に搬送し医療行為を行うシステムについて、平成16年度に試行事業を実施した。その結果、要請・出動体制は、円滑に機能し、救命効果が確認されたため、平成17年8月から「広島県ドクターヘリの事業」の運用を開始し、県内のどこにいても30分以内に救命医療を提供することができる体制を整備した。

平成25年5月から広島県ドクターヘリが運航開始し、専用のドクターヘリが救命医療の提供を主として行うようになったので、消防・防災ヘリコプターはそれを補完することとなった。

第13表 消防・防災ヘリコプターによる救急搬送状況 (単位：件)

区 分	防災ヘリコプター				消防ヘリコプター				合計
	(広島県防災航空隊)				(広島市消防航空隊)				
	転院搬送	現場救急	医師搬送	小 計	転院搬送	現場救急	医師搬送	小 計	
平成28年度	7 ( 4)	8	5	20	18 ( 1)	32	25	75	95
(うちドクターヘリの補完)	2 ( 0)	2	4	8	11 ( 0)	17	22	50	58
平成29年度	24 (12)	9	4	37	18 (4)	28	33	79	116
(うちドクターヘリの補完)	2(0)	1	2	5	5( 0)	13	21	37	42
平成30年度	11 (5)	17	7	35	14 ( 3)	29	23	66	101
(うちドクターヘリの補完)	2 (0)	2	5	9	4( 0)	15	18	37	48
平成31年度	4 (2)	10	2	16	14 (6)	26	24	64	80
(うちドクターヘリの補完)	0	1	1	2	4	14	16	34	36
令和2年度	3 (1)	13 (8)	1	17	7(3)	20(1)	15	42	59
(うちドクターヘリの事業)	1 (0)	0	1	2	3(0)	5	13	21	23
令和3年度	5(3)	15(8)	0	20	8(3)	26(0)	16	50	70
(うちドクターヘリの事業)	2(0)	0	0	2	2(0)	13	16	31	33

注(1) 転院搬送欄の( )数字は、県外への搬送で内数である。

注(2) 現場救急は、ヘリコプターが着陸し、救急車から患者を引継ぎ病院へ搬送した件数。

(参考) 広島県ドクターヘリによる救急搬送状況 (単位: 件)

	転院搬送	現場救急	合計
平成28年度	70	252	322
平成29年度	55	246	301
平成30年度	85	275	360
令和元年度	59	302	361
令和2年度	51	271	322
令和3年度	66	235	301

(広島県健康福祉局健康危機管理課調べ)

第14表 消防・防災ヘリコプターのヘリポート

(令和4年4月1日現在)

ヘリポート名	所在地	面積 ヘリポート規格
因島ヘリポート	尾道市因島重井町4749	21,875㎡
庄原ヘリポート	庄原市新庄町字王子 88-49	2,543.34㎡ 900㎡(30×30)
佐伯ヘリポート	廿日市市津田545	3,552㎡
加計ヘリポート	山県郡安芸太田町見入ヶ崎地先	2,150.00㎡ 400㎡(20×20)
千代田ヘリポート	山県郡北広島町大字壬生 10500	7,125.00㎡ 400㎡(20×20)
大崎上島ヘリポート	豊田郡大崎上島町東野宇多賀浜 1621-20	1,600.00㎡ 625㎡(25×25)
世羅ヘリポート	世羅郡世羅町大字京丸 768-92ほか	1,600.00㎡ 400㎡(20×20)
三和町ヘリポート	神石郡神石高原町大字小畠 1370	625.00㎡ 625㎡(25×25)
東城ヘリポート	庄原市東城町大字川島 918-1ほか	2,081.80㎡ 400㎡(20×20)
高野ヘリポート	庄原市高野町新市1150-1	1,650.06㎡ 400㎡(20×20)

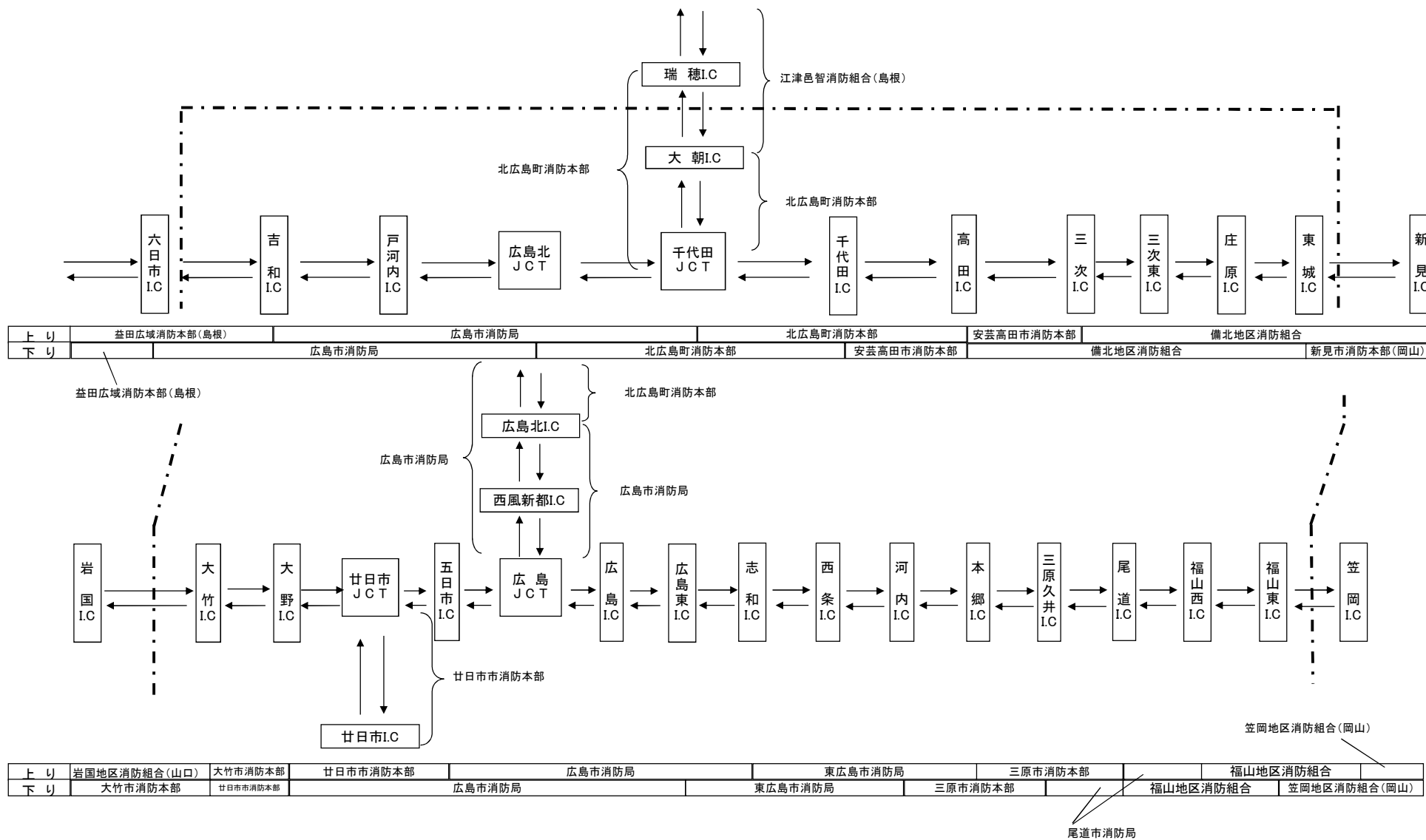
## 5 高速自動車国道等における救急業務実施体制

### (1) 高速自動車国道における救急業務

高速自動車国道における救急業務については、インターチェンジ所在市町村の消防本部が行政区域を越えて隣接するインターチェンジまで担当しており、県内では10消防本部（道路総延長303.5 km（広島岩国道路を含む。））で業務が実施されている。

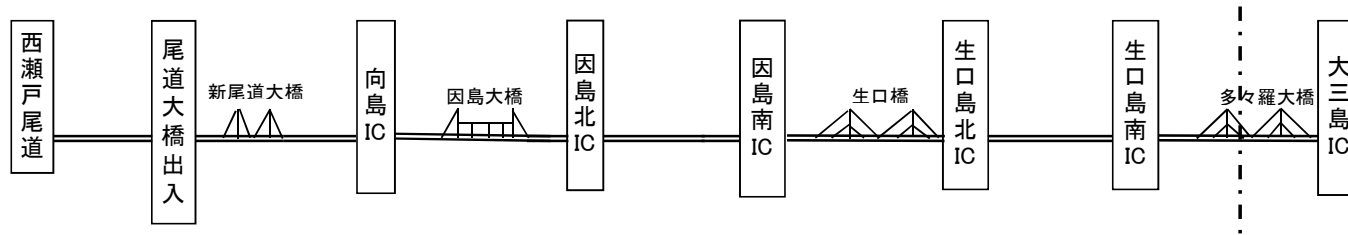
また、本州四国連絡道路（西瀬戸自動車道）においても、尾道市消防局、今治市消防本部（愛媛県）が連携し、救急業務を実施している。

第5図 高速自動車国道担当区域図(令和4年4月1日現在)





第5図の2 西瀬戸自動車道における救急担当区域図(令和4年4月1日現在)



下り(今治方面)	尾道市消防局	
上り(尾道方面)	尾道市消防局	今治市消防本部(愛媛)

## 6 救急医療体制

令和4年4月1日現在、県内の救急告示医療機関は134カ所である。また、傷病者の重症度に応じて、初期・第二次・第三次と多層的に救急医療体制の整備強化が進められている。(第15表)

その他、県では、救急医療施設の受入体制に関する情報を常に把握し、医療機関及び消防機関等に対して必要な情報の提供を行う救急医療情報ネットワークシステムを運用している。

第15表 救急医療体制の整備状況

(令和4年4月1日現在)

区	分	整備状況
初 期	在宅当番医制	23地区医師会
	休日・夜間急患センター	16カ所
第 二 次	病院群輪番制病院	14地区(75病院)
第 三 次	地域救命救急センター	2カ所
	救命救急センター	4カ所
	高度救命救急センター	1カ所
救急告示医療機関		134カ所

(広島県健康福祉局健康危機管理課調べ)

## 7 救助活動の実施体制

救助隊は、令和4年4月1日現在、13消防本部に33隊設置されている。救助隊員数は518人で、そのうち専任救助隊員は235人である。(第16表)

また、救助隊が乗車する車両及び救助隊の保有する資機材について第17表、第21表のとおりである。

第 16 表 救助隊数及び救助隊員数

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

救 助 隊 数			救 助 隊 員 数		
専 任 救 助 隊	兼 任 救 助 隊	計	専 任 救 助 隊 員	兼 任 救 助 隊 員	計
16	17	33	235	283	518

第 17 表 救助隊が搭乗する車両

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

救 助 工 作 車	はしご車	屈折 はしご車	ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化 学 車	そ の 他	計
29	21	1	4	11	3	16	85

## 8 救助活動の実施状況

令和 3 年中の県内の救助出動実施状況は、救助出動 1,648 件、救助人員 1,131 人である。(第 18 表)  
 救助出動人員（救助活動を行うために出動した全ての人員）は、延べ 26,608 人であり、交通事故が  
 6,619 人（24.9%）で最も多い。また、救助活動人員（出動人員のうち実際に救助活動を行った人員）  
 は、延べ 8,447 人である。

第 18 表 救助活動の実施状況

(令和 3 年中)

区 分 \ 事故種別	火 災	交通事故	水難事故	そ の 他	計
救助出動件数	72	435	59	1,082	1,648
救助活動件数	72	228	48	674	1,022
救 助 人 員	49	314	46	722	1,131
救助出動人員	2,548	6,619	1,576	15,874	26,608
救助活動人員	865	2,290	863	4,429	8,447
救助出動車両数	685	1,910	359	4,196	7,150
救助活動車両数	226	680	159	1,188	2,253

第 19 表 事故種別発生場所別救助活動件数

(令和 3 年中)

発生場所		事故種別					計
		火	災	交通事故	水難事故	その他	
屋内	住居		46	0	0	434	480
	その他の屋内		12	0	0	29	41
屋外	道路		7	177	0	21	205
	水面		0	10	48	18	76
	山岳		0	1	0	51	52
	その他の屋外		7	35	0	109	151
地	下		0	0	0	0	0
その他			0	5	0	12	17
計			72	228	48	674	1,022

第 20 表 事故種別発生場所別救助人員

(令和 3 年中)

発生場所		事故種別					計
		火	災	交通事故	水難事故	その他	
屋内	住居		48	0	0	387	435
	その他の屋内		1	0	0	70	71
屋外	道路		0	250	0	30	280
	水面		0	11	46	13	70
	山岳		0	2	0	59	61
	その他の屋外		0	46	0	124	170
地	下		0	0	0	0	0
その他			0	5	0	39	44
計			49	314	46	722	1,131

第 21 表 救助活動のための主な救助器具の保有状況

(令和4年4月1日現在)

区分	品名	保有数
省令別表第1	三連はしご	147
	救命索発射銃	37
	油圧スプレッダー	38
	油圧切断機	41
	可搬ウィンチ	80
	エンジンカッター	149
	チェーンソー	249
	ガス溶断器	28
	可燃性ガス測定器	115
	空気呼吸器	1,200
	化学防護服（陽圧式を除く）	856
	陽圧式化学防護服	126
	放射線防護服	46
	簡易画像探索機	18
省令別表第2	マット型空気ジャッキ	51
	大型油圧スプレッダー	51
	大型油圧切断機	53
	削岩機	39
	空気鋸	49
	ロープ登降機	75
	ハンマドリル	42
	送排風機	51
	酸素呼吸器	82
	省令別表第3	画像探索機
地中音響探知機		8
熱画像直視装置		50
夜間用暗視装置		7
地震警報器		5
電磁波探査装置		4
水中探査装置		6
二酸化炭素探査装置		2

(注) 「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」(昭和六十一年十月一日自治省令第二十二号)別表第1から別表第3に定められている救助器具のうち主なものを示す。

別表第1 救助隊が備える器具

別表第2 特別救助隊が別表第1に加えて備える器具

別表第3 高度救助隊及び特別高度救助隊が別表第1及び第2に加えて備える器具



第2-1表 救急業務の実施体制（その2）

（令和4年4月1日現在）

区分 消防本部名	救急自動車数				
	基準台数※		保有台数	うち非常用	うち高規格救急車数（非常用も含む）
	人口による基準台数	出勤状況等増減を勘案した台数			
県計	85	56	169	29	167
消防本部設置市計	64	46	126	18	124
広島市	29	11	49	10	49
呉市	7	8	16	1	16
三原市	5	3	9	1	9
尾道市	5	5	10	2	10
大竹市	2	-	3	1	3
東広島市	7	10	19	0	19
廿日市市	6	4	11	-	11
安芸高田市	2	1	4	1	4
江田島市	1	4	5	2	3
消防本部設置町計	3	3	9	2	9
府中町	2	-	4	1	4
北広島町	1	3	5	1	5
消防一部事務組合計	18	7	34	9	34
備北地区消防組合	4	6	13	3	13
福山地区消防組合	14	1	21	6	21

※「消防力の整備指針」（平成12年1月20日消防庁告示）による基準台数

第2-2表 救急隊及び救急隊員数

(令和4年4月1日現在)

区分 消防本部名	救急隊数			救急隊員数				
	総数	うち救急救命士運用隊数		総数	うち女性	救急救命士資格者数	うち女性	うち運用救命士数
		常時	一部					
県計	131	126	5	1,227	30	733	23	691
消防本部設置市計	99	94	5	934	26	544	20	506
広島市	41	40	1	384	15	280	11	260
呉市	14	14	-	145	2	70	2	61
三原市	8	8	-	24	-	20	-	18
尾道市	8	8	-	74	1	41	1	35
大竹市	2	2	-	50	-	16	-	14
東広島市	10	10	-	71	2	49	2	56
廿日市市	10	7	3	118	3	42	1	42
安芸高田市	3	3	-	28	1	14	1	12
江田島市	3	2	1	40	2	12	2	8
消防本部設置町計	7	7	-	77	1	32	-	30
府中町	3	3	-	32	1	14	-	14
北広島町	4	4	-	45	-	18	-	16
消防一部事務組合計	25	25	-	216	3	157	3	155
備北地区消防組合	10	10	-	108	2	49	2	47
福山地区消防組合	15	15	-	108	1	108	1	108

注 救急隊員は、専任+兼任A



第2-3表 経営主体別医療機関数

(令和4年4月1日現在)

区分	医療機関数																	
	救急医療機関						その他医療機関						計					
	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的		計	国立	公立	公的	私的		計
病院				診療所	病院					診療所	病院					診療所		
消防本部名																		
県計	6	17	10	85	16	134	12	60	7	106	2,377	2,562	18	77	17	191	2,393	2,696
消防本部設置市計	5	11	8	58	10	92	12	40	5	83	1,895	2,035	17	51	13	141	1,905	2,127
広島市	1	6	2	35	8	52	3	23	4	43	1,179	1,252	4	29	6	78	1,187	1,304
呉市	2	1	1	4	1	9	1	3	-	13	206	223	3	4	1	17	207	232
三原市	-	1	1	5	-	7	-	2	-	4	80	86	-	3	1	9	80	93
尾道市	-	2	1	3	-	6	-	-	-	5	128	133	-	2	1	8	128	139
大竹市	1	-	-	-	-	1	-	3	-	2	21	26	1	3	-	2	21	27
東広島市	1	1	1	8	1	12	8	6	-	6	162	182	9	7	1	14	163	194
廿日市市	-	-	1	-	-	1	-	1	1	9	86	97	-	1	2	9	86	98
安芸高田市	-	-	1	-	-	1	-	2	-	-	20	22	-	2	1	-	20	23
江田島市	-	-	-	3	-	3	-	-	-	1	13	14	-	-	-	4	13	17
消防本部設置町計	-	-	-	4	-	4	-	2	-	2	40	44	-	2	-	6	40	48
府中町	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	34	35	-	-	-	2	34	36
北広島町	-	-	-	3	-	3	-	2	-	1	6	9	-	2	-	4	6	12
消防一部事務組合計	1	6	2	23	6	38	-	18	2	21	442	483	1	24	4	44	448	521
備北地区消防組合	-	2	1	1	1	5	-	12	-	6	77	95	-	14	1	7	78	100
福山地区消防組合	1	4	1	22	5	33	-	6	2	15	365	388	1	10	3	37	370	421

第 2 - 4 表 事故種別救急出場件数

(令和 3 年中 単位：件)

区 分 消防本部名	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等 搬 送	その他	
県計	401	18	77	8,795	1,092	529	20,797	445	1,106	79,932	14,252	187	5	1,346	128,982
消防本部設置市計	366	16	64	6,671	841	422	16,190	362	865	62,493	10,558	168	2	1,288	100,306
広島市	144	6	24	4,074	451	242	9,426	260	562	37,833	5,284	132	-	921	59,359
呉市	30	-	10	635	79	42	1,692	22	61	6,474	1,110	2	-	182	10,339
三原市	26	5	8	323	55	27	816	11	34	3,116	591	-	-	13	5,025
尾道市	83	2	10	374	57	27	1,098	16	62	3,975	902	26	-	68	6,700
大竹市	1	-	2	70	12	4	262	1	8	823	198	-	-	8	1,389
東広島市	67	1	5	758	97	48	1,373	36	77	5,525	1,420	6	2	65	9,480
廿日市市	13	-	3	316	53	20	999	10	37	3,104	586	-	-	23	5,164
安芸高田市	-	2	1	74	19	9	285	1	13	902	146	1	-	2	1,455
江田島市	2	-	1	47	18	3	239	5	11	741	321	1	-	6	1,395
消防本部設置町計	5	-	-	188	31	17	545	5	27	1,864	402	-	2	23	3,109
府中町	3	-	-	127	11	10	375	5	18	1,360	238	-	2	11	2,160
北広島町	2	-	-	61	20	7	170	-	9	504	164	-	-	12	949
消防一部事務組合計	30	-	13	1,936	220	90	4,062	78	214	15,575	3,292	19	1	35	25,565
備北地区消防組合	5	2	1	214	59	14	665	11	34	2,686	443	1	-	31	4,166
福山地区消防組合	25	-	12	1,722	161	76	3,397	67	180	12,889	2,849	18	1	4	21,401

第2-5表 事故種別救急搬送人員

(令和3年中 単位：人)

区 分	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	そ の 他	計
消防本部名												
県計	89	5	26	7,700	1,059	514	18,681	310	694	70,101	14,097	113,276
消防本部設置市計	66	4	23	5,782	817	406	14,523	254	542	54,640	10,412	87,469
広島市	37	2	6	3,273	438	231	8,309	174	361	32,572	5,248	50,651
呉市	5	-	2	560	78	40	1,536	18	38	5,754	1,107	9,138
三原市	1	1	4	307	55	25	778	6	19	2,809	583	4,588
尾道市	6	-	7	370	55	27	1,032	15	30	3,607	901	6,050
大竹市	1	-	1	69	12	4	242	1	3	716	198	1,247
東広島市	13	1	1	777	91	47	1,229	24	45	5,011	1,317	8,556
廿日市市	1	-	1	295	50	20	888	10	27	2,650	590	4,532
安芸高田市	-	-	1	83	20	9	280	1	10	838	146	1,388
江田島市	2	-	-	48	18	3	229	5	9	683	322	1,319
消防本部設置町計	3	-	-	157	27	15	484	4	21	1,672	403	2,786
府中町	1	-	-	106	9	8	326	4	15	1,214	240	1,923
北広島町	2	-	-	51	18	7	158	-	6	458	163	863
消防一部事務組合計	20	1	3	1,761	215	93	3,674	52	131	13,789	3,282	23,021
備北地区消防組合	3	1	-	227	59	17	640	10	20	2,581	440	3,998
福山地区消防組合	17	-	3	1,534	156	76	3,034	42	111	11,208	2,842	19,023

第2-6表 医療機関等に搬送された傷病者数

(令和3年中 単位：人)

区分 消防本部名	急病		交通事故		一般負傷		その他		計	
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
県計	70,101 ( 65,826 )	6,425 ( 6,089 )	7,700 ( 7,013 )	614 ( 580 )	18,681 ( 17,299 )	1,638 ( 1,544 )	16,794 ( 16,161 )	3,411 ( 3,271 )	113,276 ( 106,299 )	12,088 ( 11,484 )
消防本部設置市計	54,640 ( 51,064 )	4,849 ( 4,596 )	5,782 ( 5,160 )	468 ( 444 )	14,523 ( 13,274 )	1,228 ( 1,148 )	12,524 ( 12,004 )	2,511 ( 2,408 )	87,469 ( 81,502 )	9,056 ( 8,596 )
広島市	32,572 ( 30,693 )	2,027 ( 1,993 )	3,273 ( 2,961 )	202 ( 201 )	8,309 ( 7,724 )	442 ( 435 )	6,497 ( 6,233 )	588 ( 579 )	50,651 ( 47,611 )	3,259 ( 3,208 )
呉市	5,754 ( 5,464 )	94 ( 76 )	560 ( 457 )	11 ( 10 )	1,536 ( 1,396 )	29 ( 24 )	1,288 ( 1,235 )	134 ( 126 )	9,138 ( 8,552 )	268 ( 236 )
三原市	2,809 ( 2,705 )	364 ( 356 )	307 ( 305 )	31 ( 31 )	778 ( 761 )	49 ( 49 )	694 ( 652 )	290 ( 274 )	4,588 ( 4,423 )	734 ( 710 )
尾道市	3,607 ( 3,354 )	243 ( 183 )	370 ( 332 )	29 ( 28 )	1,032 ( 947 )	49 ( 42 )	1,041 ( 994 )	197 ( 170 )	6,050 ( 5,627 )	518 ( 423 )
大竹市	716 ( 672 )	279 ( 266 )	69 ( 53 )	23 ( 22 )	242 ( 219 )	59 ( 57 )	220 ( 212 )	153 ( 148 )	1,247 ( 1,156 )	514 ( 493 )
東広島市	5,011 ( 4,801 )	397 ( 371 )	777 ( 743 )	47 ( 46 )	1,229 ( 1,157 )	54 ( 53 )	1,539 ( 1,500 )	433 ( 428 )	8,556 ( 8,201 )	931 ( 898 )
廿日市市	2,650 ( 2,085 )	833 ( 755 )	295 ( 198 )	83 ( 64 )	888 ( 640 )	406 ( 353 )	699 ( 640 )	247 ( 214 )	4,532 ( 3,563 )	1,569 ( 1,386 )
安芸高田市	838 ( 813 )	263 ( 251 )	83 ( 83 )	23 ( 23 )	280 ( 275 )	45 ( 42 )	187 ( 186 )	122 ( 122 )	1,388 ( 1,357 )	453 ( 438 )
江田島市	683 ( 477 )	349 ( 345 )	48 ( 28 )	19 ( 19 )	229 ( 155 )	95 ( 93 )	359 ( 352 )	347 ( 347 )	1,319 ( 1,012 )	810 ( 804 )
消防本部設置町計	1,672 ( 1,621 )	1,004 ( 970 )	157 ( 143 )	85 ( 77 )	484 ( 464 )	272 ( 259 )	473 ( 463 )	388 ( 381 )	2,786 ( 2,691 )	1,749 ( 1,687 )
府中町	1,214 ( 1,177 )	763 ( 736 )	106 ( 94 )	58 ( 50 )	326 ( 311 )	196 ( 183 )	277 ( 269 )	217 ( 210 )	1,923 ( 1,851 )	1,234 ( 1,179 )
北広島町	458 ( 444 )	241 ( 234 )	51 ( 49 )	27 ( 27 )	158 ( 153 )	76 ( 76 )	196 ( 194 )	171 ( 171 )	863 ( 840 )	515 ( 508 )
消防一部事務組合計	13,789 ( 13,141 )	572 ( 523 )	1,761 ( 1,710 )	61 ( 59 )	3,674 ( 3,561 )	138 ( 137 )	3,797 ( 3,694 )	512 ( 482 )	23,021 ( 22,106 )	1,283 ( 1,201 )
備北地区消防組合	2,581 ( 2,499 )	88 ( 82 )	227 ( 220 )	17 ( 16 )	640 ( 621 )	19 ( 19 )	550 ( 530 )	120 ( 109 )	3,998 ( 3,870 )	244 ( 226 )
福山地区消防組合	11,208 ( 10,642 )	484 ( 441 )	1,534 ( 1,490 )	44 ( 43 )	3,034 ( 2,940 )	119 ( 118 )	3,247 ( 3,164 )	392 ( 373 )	19,023 ( 18,236 )	1,039 ( 975 )

(注) ( )内は、救急告示医療機関への搬送人員(内数)である。

第 2 - 7 表 年齢区分別搬送人員

(令和 3 年中 単位：人)

区 分 消防本部名	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	高 齢 者	計
県計	266	4,323	3,556	33,158	71,973	113,276
消防本部設置市計	181	3,376	2,745	26,176	54,991	87,469
広島市	118	2,227	1,753	16,722	29,831	50,651
呉市	10	208	223	1,982	6,715	9,138
三原市	10	96	126	1,052	3,304	4,588
尾道市	19	98	127	1,356	4,450	6,050
大竹市	0	41	28	262	916	1,247
東広島市	15	427	273	2,943	4,898	8,556
廿日市市	9	227	165	1,326	2,805	4,532
安芸高田市	0	32	31	288	1,037	1,388
江田島市	0	20	19	245	1,035	1,319
消防本部設置町計	41	112	88	761	1,784	2,786
府中町	40	100	57	531	1,195	1,923
北広島町	1	12	31	230	589	863
消防一部事務組合計	44	835	723	6,221	15,198	23,021
備北地区消防組合	6	110	76	863	2,943	3,998
福山地区消防組合	38	725	647	5,358	12,255	19,023

第 2 - 8 表 現場到着所要時間別出場件数

(令和 3 年中 単位：件)

区 分 消防本部名	3分未満	3分以上	5分以上	10分以上	20分以上	計
		5分未満	10分未満	20分未満		
県計	1,203	6,730	75,414	42,397	3,238	128,982
消防本部設置市計	757	5,041	58,800	33,265	2,443	100,306
広島市	393	2,597	37,374	17,907	1,088	59,359
呉市	95	1,055	6,707	2,346	136	10,339
三原市	21	273	2,568	1,955	208	5,025
尾道市	58	82	2,975	3,253	332	6,700
大竹市	38	247	918	150	36	1,389
東広島市	92	402	4,435	4,317	234	9,480
廿日市市	34	154	2,851	2,025	100	5,164
安芸高田市	12	103	281	770	289	1,455
江田島市	14	128	691	542	20	1,395
消防本部設置町計	54	219	2,033	732	71	3,109
府中町	18	130	1,626	380	6	2,160
北広島町	36	89	407	352	65	949
消防一部事務組合計	392	1,470	14,581	8,400	724	25,567
備北地区消防組合	238	697	1,749	1,293	189	4,166
福山地区消防組合	154	773	12,832	7,107	535	21,401

第2-9表 収容所要時間別搬送人員

(令和3年中 単位：人)

区分 消防本部名	10分未満		10分以上 20分未満		20分以上 30分未満		30分以上 60分未満		60分以上 120分未満		120分以上		計	
		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外		うち管外
県計	22	0	1,976	18	21,149	655	75,950	7,451	13,652	3,780	527	184	113,276	12,088
消防本部設置市計	15	0	1,208	16	15,332	455	59,539	5,559	10,953	2,904	422	122	87,469	9,056
広島市	11	-	575	14	9,553	368	34,756	2,302	5,488	551	268	24	50,651	3,259
呉市	1	-	167	-	1,551	4	6,263	138	1,128	112	28	14	9,138	268
三原市	1	-	254	-	1,153	31	2,772	509	401	190	7	4	4,588	734
尾道市	1	-	35	-	817	4	4,296	239	880	267	21	8	6,050	518
大竹市	-	-	14	1	167	2	861	350	197	154	8	7	1,247	514
東広島市	-	-	82	-	1,387	9	6,030	498	1,031	409	26	15	8,556	931
廿日市市	1	-	36	-	434	34	3,072	993	950	515	39	27	4,532	1,569
安芸高田市	-	-	31	-	158	1	861	248	337	204	1	-	1,388	453
江田島市	-	-	14	1	112	2	628	282	541	502	24	23	1,319	810
消防本部設置町計	0	-	12	0	298	85	1,916	1,173	533	464	27	27	2,786	1,749
府中町	-	-	8	-	238	85	1,455	954	210	183	12	12	1,923	1,234
北広島町	-	-	4	-	60	-	461	219	323	281	15	15	863	515
消防一部事務組合計	7	-	756	2	5,519	115	14,495	719	2,166	412	78	35	23,021	1,283
備北地区消防組合	1	-	228	-	1,082	20	2,181	89	484	119	22	16	3,998	244
福山地区消防組合	6	-	528	2	4,437	95	12,314	630	1,682	293	56	19	19,023	1,039

第2-10表 医師の現場出場件数

(令和3年中 単位:件)

区分 消防本部名	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
県計	103	37	32	135	307
消防本部設置市計	87	24	21	82	214
広島市	78	22	18	56	174
呉市	2	-	-	1	3
三原市	-	-	-	-	-
尾道市	-	1	-	-	1
大竹市	-	-	-	-	-
東広島市	1	-	-	21	22
廿日市市	4	-	-	2	6
安芸高田市	-	-	-	-	-
江田島市	2	1	3	2	8
消防本部設置町計	7	-	3	40	50
府中町	7	-	3	40	50
北広島町	-	-	-	-	-
消防一部事務組合計	9	13	8	13	43
備北地区消防組合	2	8	5	9	24
福山地区消防組合	7	5	3	4	19



第2-11表 事故種別不搬送件数

(令和3年中 単位：件)

区 分	火 災	自然災害	水 難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加 害	自損行為	急 病	その他				計
											転院搬送	医師搬送	資機材等 搬 送	そ の 他	
消防本部名															
県計	317	13	51	1,514	36	19	2,157	142	413	9,910	204	187	5	1,311	16,279
消防本部設置市計	304	12	41	1,194	26	16	1,700	115	324	7,912	192	168	2	1,254	13,260
広島市	109	4	18	884	14	11	1,133	90	201	5,297	66	132	-	899	8,858
呉市	25	-	8	93	1	2	157	4	23	724	10	2	-	178	1,227
三原市	25	4	4	45	-	2	41	5	15	309	9	-	-	12	471
尾道市	78	2	3	30	2	-	70	3	32	371	3	26	-	66	686
大竹市	-	-	1	3	-	-	21	-	5	108	-	-	-	8	146
東広島市	55	-	4	87	6	1	146	13	32	523	104	6	2	64	1,043
廿日市市	12	-	2	44	3	-	114	-	10	457	-	-	-	20	662
安芸高田市	-	2	-	5	-	-	8	-	3	64	-	1	-	2	85
江田島市	-	-	1	3	-	-	10	-	3	59	-	1	-	5	82
消防本部設置町計	2	-	-	32	4	2	61	1	6	195	1	-	2	22	328
府中町	2	-	-	22	2	2	49	1	3	147	0	-	2	10	240
北広島町	-	-	-	10	2	-	12	-	3	48	1	-	-	12	88
消防一部事務組合計	11	1	10	288	6	1	396	26	83	1,803	11	19	1	35	2,691
備北地区消防組合	2	1	1	19	-	-	25	1	14	106	3	1	-	31	204
福山地区消防組合	9	-	9	269	6	1	371	25	69	1,697	8	18	1	4	2,487

第 2 - 1 2 表 救助隊数及び救助隊員数

(令和 4 年 4 月 1 日現在)

区分 消防本部名	救助隊数 (単位：隊)			救助隊員数 (単位：人)		
	計	専任 救助隊	兼任 救助隊	計	専任 救助隊	兼任 救助隊
県計	33	16	17	518	235	283
消防本部設置市計	21	13	8	311	200	111
広島市	8	8	-	134	134	-
呉市	3	1	2	40	16	24
三原市	1	1	-	14	4	10
尾道市	1	1	-	14	14	-
大竹市	1	-	1	10	-	10
東広島市	3	1	2	36	16	20
廿日市市	2	1	1	38	16	22
安芸高田市	1	-	1	14	-	14
江田島市	1	-	1	11	-	11
消防本部設置町計	2	1	1	42	9	33
府中町	1	1	-	18	9	9
北広島町	1	-	1	24	-	24
消防一部事務組合計	10	2	8	165	26	139
備北地区消防組合	3	1	2	63	10	53
福山地区消防組合	7	1	6	102	16	86

注 政令第 3 条救助隊を記入

第2-13表 救助隊が搭乗する車両

(令和4年4月1日現在)

区分 消防本部名	救助 工作車	はしご車	屈折 はしご車	ポンプ車	水槽付 ポンプ車	化学車	その他	計
県計	29	21	1	4	11	3	16	85
消防本部設置市計	20	15	1	1	6	2	15	60
広島市	8	9	-	-	3	-	5	25
呉市	2	1	-	1	2	1	4	11
三原市	1	1	-	-	-	-	1	3
尾道市	1	1	-	-	-	-	2	4
大竹市	1	-	-	-	1	1	1	4
東広島市	3	2	1	-	-	-	-	6
廿日市市	2	1	-	-	-	-	1	4
安芸高田市	1	-	-	-	-	-	-	1
江田島市	1	-	-	-	-	-	1	2
消防本部設置町計	2	1	-	-	1	-	-	4
府中町	1	1	-	-	-	-	-	2
北広島町	1	-	-	-	1	-	-	2
消防一部事務組合計	7	5	-	3	4	1	1	21
備北地区消防組合	2	1	-	1	-	-	1	5
福山地区消防組合	5	4	-	2	4	1	-	16

第2-14表 事故種別救助出動件数

(令和3年中 単位：件)

区分 消防本部名	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 による 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
県計	62	10	435	59	54	30	455	4	-	539	1,648
消防本部設置市計	54	10	291	48	45	21	380	1	-	453	1,303
広島市	16	-	115	24	5	13	367	1	-	336	877
呉市	1	-	16	6	-	1	2	-	-	7	33
三原市	3	-	34	7	4	3	-	-	-	11	62
尾道市	8	-	24	3	7	3	2	-	-	13	60
大竹市	-	-	3	1	-	-	5	-	-	4	13
東広島市	24	10	71	4	6	-	1	-	-	49	165
廿日市市	-	-	17	3	1	-	3	-	-	21	45
安芸高田市	-	-	7	-	22	1	-	-	-	7	37
江田島市	2	-	4	-	-	-	-	-	-	5	11
消防本部設置町計	2	-	15	-	6	-	-	1	-	18	42
府中町	2	-	6	-	-	-	-	1	-	16	25
北広島町	-	-	9	-	6	-	-	-	-	2	17
消防一部事務組合計	6	-	129	11	3	9	75	2	-	68	303
備北地区消防組合	1	-	27	1	3	4	6	1	-	14	57
福山地区消防組合	5	-	102	10	-	5	69	1	-	54	246

(注) 「救助出動件数」とは、消防機関が救助活動を行う目的で出動した件数をいう。

第2-15表 事故種別救助活動件数

(令和3年中 単位：件)

消防本部名	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
県計	62	10	228	48	32	20	348	4	-	270	1,022
消防本部設置市計	54	10	159	40	26	16	304	1	-	213	823
広島市	16	-	44	18	2	10	292	1	-	141	524
呉市	1	-	16	6	-	1	2	-	-	7	33
三原市	3	-	30	6	3	3	-	-	-	10	55
尾道市	8	-	18	3	4	1	2	-	-	9	45
大竹市	-	-	2	1	-	-	5	-	-	4	12
東広島市	24	10	36	4	6	-	1	-	-	13	94
廿日市市	-	-	9	2	1	-	2	-	-	19	33
安芸高田市	-	-	2	-	10	1	-	-	-	5	18
江田島市	2	-	2	-	-	-	-	-	-	5	9
消防本部設置町計	2	-	6	-	3	-	-	1	-	13	25
府中町	2	-	4	-	-	-	-	1	-	12	19
北広島町	-	-	2	-	3	-	-	-	-	1	6
消防一部事務組合計	6	-	63	8	3	4	44	2	-	44	174
備北地区消防組合	1	-	18	1	3	-	3	1	-	11	38
福山地区消防組合	5	-	45	7	-	4	41	1	-	33	136

(注) 「救助活動件数」とは、救助出動件数のうち、実際に救助活動を行った件数をいう。

第2-16表 事故種別救助人員の状況

(令和3年中 単位：人)

消防本部名	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
県計	49	-	314	46	110	21	278	35	-	278	1,131
消防本部設置市計	15	-	193	38	87	17	243	1	-	173	767
広島市	6	-	50	17	3	10	233	1	-	93	413
呉市	1	-	17	6	-	1	2	-	-	7	34
三原市	3	-	48	6	2	4	-	-	-	10	73
尾道市	1	-	19	3	15	1	2	-	-	7	48
大竹市	-	-	3	1	-	-	3	-	-	4	11
東広島市	2	-	40	3	46	-	1	-	-	10	102
廿日市市	-	-	12	2	2	-	2	-	-	29	47
安芸高田市	-	-	2	-	19	1	-	-	-	7	29
江田島市	2	-	2	-	-	-	-	-	-	6	10
消防本部設置町計	29	-	47	-	15	-	-	32	-	61	184
府中町	29	-	45	-	-	-	-	32	-	60	166
北広島町	-	-	2	-	15	-	-	-	-	1	18
消防一部事務組合計	5	-	74	8	8	4	35	2	-	44	180
備北地区消防組合	1	-	20	1	8	-	3	1	-	11	45
福山地区消防組合	4	-	54	7	-	4	32	1	-	33	135

第2-17表 火災時における救助活動の状況

(令和3年中)

区分 消防本部名	救助活動を行った件数	同左に動した消防隊数	救助に伴った人員数	救助人員
県計	72	658	20	49
消防本部設置市計	64	560	13	15
広島市	16	230	5	6
呉市	1	7	1	1
三原市	3	15	3	3
尾道市	8	70	1	1
大竹市	-	-	-	-
東広島市	34	227	2	2
廿日市市	-	-	-	-
安芸高田市	-	-	-	-
江田島市	2	11	1	2
消防本部設置町計	2	9	2	29
府中町	2	9	2	29
北広島町	-	-	-	-
消防一部事務組合計	6	89	5	5
備北地区消防組合	1	14	1	1
福山地区消防組合	5	75	4	4

第 2 - 1 8 表 事故種別救助出動人員

(令和 3 年中 単位：人)

区分 消防本部名	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 による 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
県計	2,343	205	6,619	1,567	486	449	6,869	77	-	7,993	26,608
消防本部設置市計	1,843	205	4,640	1,395	405	355	6,025	20	-	7,043	21,931
広島市	892	-	2,066	1,023	153	234	5,900	20	-	5,624	15,912
呉市	25	-	401	152	-	20	40	-	-	163	801
三原市	50	-	484	90	25	48	-	-	-	118	815
尾道市	214	-	437	46	33	46	27	-	-	232	1,035
大竹市	-	-	27	9	-	-	31	-	-	24	91
東広島市	582	205	872	39	100	-	8	-	-	617	2,423
廿日市市	-	-	242	36	6	-	19	-	-	167	470
安芸高田市	-	-	55	-	88	7	-	-	-	54	204
江田島市	80	-	56	-	-	-	-	-	-	44	180
消防本部設置町計	29	-	134	-	26	-	-	32	-	107	328
府中町	29	-	71	-	-	-	-	32	-	91	223
北広島町	-	-	63	-	26	-	-	-	-	16	105
消防一部事務組合計	471	-	1,845	172	55	94	844	25	-	843	4,349
備北地区消防組合	65	-	229	9	55	24	42	7	-	108	539
福山地区消防組合	406	-	1,616	163	-	70	802	18	-	735	3,810

(注) 「救助出動人員」とは、救助活動を行うために出動したすべての人員をいう。

なお、火災の場合には、救助活動を行った火災に出動したすべての人員をいう。



第2-19表 事故種別救助活動人員

(令和3年中 単位：人)

消防本部名	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 による 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
県計	781	84	2,290	863	251	178	1,972	77	-	1,951	8,447
消防本部設置市計	711	84	1,576	787	186	134	1,544	20	-	1,472	6,514
広島市	181	-	238	498	24	56	1,460	20	-	812	3,289
呉市	25	-	370	126	-	20	26	-	-	122	689
三原市	38	-	313	70	16	40	-	-	-	87	564
尾道市	95	-	158	24	16	11	11	-	-	98	413
大竹市	-	-	18	9	-	-	28	-	-	21	76
東広島市	344	84	344	34	82	-	8	-	-	107	1,003
廿日市市	-	-	93	26	6	-	11	-	-	151	287
安芸高田市	-	-	17	-	42	7	-	-	-	36	102
江田島市	28	-	25	-	-	-	-	-	-	38	91
消防本部設置町計	29	-	55	-	10	-	-	32	-	68	194
府中町	29	-	45	-	-	-	-	32	-	60	166
北広島町	-	-	10	-	10	-	-	-	-	8	28
消防一部事務組合計	41	-	659	76	55	44	428	25	-	411	1,739
備北地区消防組合	10	-	127	9	55	-	21	7	-	79	308
福山地区消防組合	31	-	532	67	-	44	407	18	-	332	1,431

(注) 「救助活動人員」とは、救助出動人員のうち、実際に救助活動を行った人員をいう。

第2-20表 事故種別救助出動車両等台数

(令和3年中 単位：台)

区分 団体名	火 災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	計
	建 物	建物以外									
県計	626	59	1,910	359	120	126	1,761	22	-	2,167	7,150
消防本部設置市計	527	59	1,323	295	96	98	1,530	6	-	1,886	5,820
広島市	230	-	543	164	33	60	1,493	6	-	1,451	3,980
呉市	8	-	137	54	-	7	13	-	-	55	274
三原市	15	-	140	30	10	14	-	-	-	33	242
尾道市	70	-	140	16	10	15	7	-	-	74	332
大竹市	-	-	8	3	-	-	10	-	-	9	30
東広島市	186	59	251	16	15	-	2	-	-	180	709
廿日市市	-	-	69	12	2	-	5	-	-	50	138
安芸高田市	-	-	16	-	26	2	-	-	-	15	59
江田島市	18	-	19	-	-	-	-	-	-	19	56
消防本部設置町計	10	-	50	-	10	-	-	9	-	36	115
府中町	10	-	22	-	-	-	-	9	-	30	71
北広島町	-	-	28	-	10	-	-	-	-	6	44
消防一部事務組合計	89	-	537	64	14	28	231	7	-	245	1,215
備北地区消防組合	14	-	69	3	14	6	8	2	-	28	144
福山地区消防組合	75	-	468	61	-	22	223	5	-	217	1,071

(注) 「救助出動車両等」とは、救助活動を行うために出動したすべての車両等をいう。

第2-21表 事故種別救助活動車両等台数

(令和3年中 単位：台)

区分 消防本部名	火 災		交通 事故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 による 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
	建 物	建 物 以 外									
県計	202	24	680	159	58	50	496	22	-	562	2,253
消防本部設置市計	182	24	468	131	40	37	379	6	-	411	1,678
広島市	32	-	64	40	4	13	355	6	-	207	721
呉市	8	-	128	36	-	7	8	-	-	40	227
三原市	11	-	92	24	7	12	-	-	-	24	170
尾道市	30	-	46	8	5	3	3	-	-	31	126
大竹市	-	-	5	3	-	-	9	-	-	8	25
東広島市	84	24	92	13	10	-	1	-	-	30	254
廿日市市	-	-	27	7	2	-	3	-	-	45	84
安芸高田市	-	-	6	-	12	2	-	-	-	10	30
江田島市	17	-	8	-	-	-	-	-	-	16	41
消防本部設置町計	9	-	19	-	4	-	-	9	-	22	63
府中町	9	-	14	-	-	-	-	9	-	19	51
北広島町	-	-	5	-	4	-	-	-	-	3	12
消防一部事務組合計	11	-	193	28	14	13	117	7	-	129	512
備北地区消防組合	3	-	34	3	14	-	6	2	-	23	85
福山地区消防組合	8	-	159	25	-	13	111	5	-	106	427

(注) 「救助活動車両等」とは、出動車両等のうち、実際に活動した車両等をいう。

第2-2-2表 救助活動のための主な救助器具の保有状況

(令和4年4月1日現在)

区分	省令別表第1														省令別表第2										省令別表第3							
	三連はしご	救命索発射銃	油圧スプレッダー	油圧切断機	可搬ウインチ	エンジンカッター	チェーンソー	ガス溶断器	可燃性ガス測定器	空気呼吸器	化学防護服(陽圧式を除く)	陽圧式化学防護服	放射線防護服	簡易画像探索機	マトリクス型空気ジャンパー	大型油圧スプレッダー	大型油圧切断機	削岩機	空気鋸	ロープ登降機	ハンマドリル	送排風機	酸素呼吸器	画像探索機	地中音響探知機	熱画像直視装置	夜間用暗視装置	地震警報器	電磁波探査装置	水中探査装置	二酸化炭素探査装置	
消防本部名	147	37	38	41	80	149	249	28	115	1,200	856	126	46	18	51	51	53	39	49	75	42	51	82	16	8	50	7	5	4	6	2	
県計	147	37	38	41	80	149	249	28	115	1,200	856	126	46	18	51	51	53	39	49	75	42	51	82	16	8	50	7	5	4	6	2	
消防本部設置市計	100	27	31	29	54	112	188	25	91	879	806	106	30	14	34	38	38	26	36	53	30	39	62	11	6	37	5	4	3	6	2	
広島市	40	10	12	10	9	49	54	8	49	358	51	51	15	8	9	9	9	8	8	9	13	11	16	5	2	9	2	2	2	1	2	
呉市	7	3	1	7	6	14	28	3	1	103	109	17	4	2	3	2	2	3	7	3	3	3	11	1	1	6	1	1	1	2	-	
三原市	4	2	6	8	5	7	18	2	9	56	451	3	2	1	4	4	4	1	4	2	1	6	4	1	1	2	-	-	-	-	-	
尾道市	10	3	2	-	8	10	20	4	12	97	32	9	2	1	2	10	11	2	8	3	3	6	10	-	-	4	-	-	-	-	-	
大竹市	3	1	1	-	3	3	3	1	4	43	60	8	2	-	1	1	1	1	1	-	2	2	5	1	-	3	-	-	-	-	-	
東広島市	19	3	6	3	12	7	36	3	8	121	42	10	5	2	9	7	5	7	3	17	4	4	14	2	2	8	2	1	-	1	-	
廿日市市	11	3	3	1	6	16	20	2	4	59	46	4	-	-	3	2	2	3	3	2	3	4	-	1	-	4	-	-	-	2	-	
安芸高田市	3	1	-	-	3	3	3	1	2	25	-	2	-	-	2	2	3	-	1	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江田島市	3	1	-	-	2	3	6	1	2	17	15	2	-	-	1	1	1	1	1	5	1	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
消防本部設置町計	10	1	2	3	4	9	8	1	9	44	8	6	2	1	6	2	3	2	2	2	2	3	-	-	-	4	-	-	-	-	-	
府中町	3	-	1	1	1	3	3	1	5	19	8	4	-	1	5	1	2	2	1	-	1	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
北広島町	7	1	1	2	3	6	5	-	4	25	-	2	-	1	1	1	-	1	2	1	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
消防一部事務組合計	37	9	5	9	22	28	53	2	15	277	42	14	14	3	11	11	12	11	11	20	10	9	20	5	2	9	2	1	1	-	-	
備北地区消防組合	14	3	1	5	5	7	24	1	15	83	2	9	6	2	3	4	5	2	3	3	4	3	5	1	-	1	-	-	-	-	-	
福山地区消防組合	23	6	4	4	17	21	29	1	-	194	40	5	8	1	8	7	7	9	8	17	6	6	15	4	2	8	2	1	1	-	-	

## 第3 消防職団員の活動と処遇

### 第3 消防職団員の活動と処遇

#### 1 活動状況

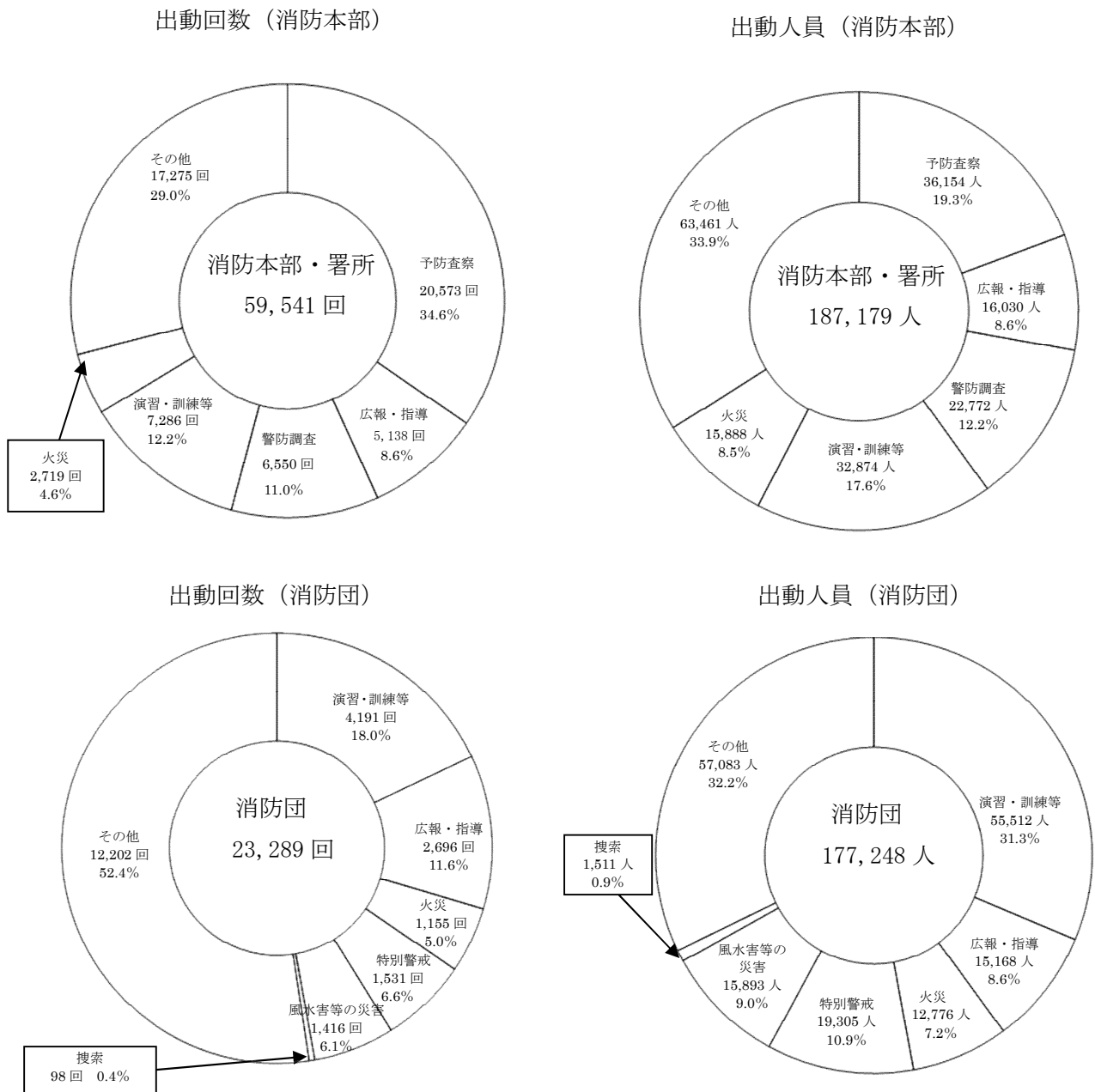
令和3年中における県内消防機関の活動状況をみると、救急・救助活動を除いた出動回数は82,830回で、出動延人員は364,427人となっている。

また、1日当たりの出動回数は227回、6分21秒に1回の割合で出動したこととなる。

そのうち、消防団員の出動回数は23,289回、出動延人員は177,248人となっており、火災等において初期消火、残火処理に当たるほか、特別警戒においても多くの消防団員が出動している。また、広報・指導活動も積極的に行われている。(第1図、第1表)

なお、職務遂行中に負傷した消防職団員は第2表のとおりである。

第1図 消防機関の出動状況（令和3年中）



第1表 消防機関の出動状況

(令和3年中)

区 分		計	火 災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査
消防本部	回数	59,541	2,719	502	7,286	5,138	6,550
	延人員	187,179	15,888	1,903	32,874	16,030	22,772
消防団	回数	23,289	1,155	1,416	4,191	2,696	3
	延人員	177,248	12,776	15,893	55,512	15,168	9

区 分		火災調査	特別警戒	捜 索	予防査察	誤報等	その他
消防本部	回数	727	969	232	20,573	1,282	13,563
	延人員	4,282	3,286	988	36,154	6,468	46,534
消防団	回数	—	1,531	98	—	116	12,083
	延人員	—	19,305	1,511	—	789	56,285

第2表 消防吏員及び消防団員の公務による死傷者数

(令和3年中)

区 分		計	火災	風水害等	救急業務	演習・訓練等	特別警戒	捜索	その他
消防本部	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	25	2	—	3	7	—	—	13
消防団	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	10	5	—	—	2	—	—	3
合計	死者	—	—	—	—	—	—	—	—
	負傷者	35	7	—	3	9	—	—	16

第3-1表 消防機関の出動回数(消防本部・署所)

(令和3年中)

	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
県計	59,541	2,719	502	7,286	5,138	6,550	727	969	232	20,573	1,282	13,563
広島市	20,148	2,175	260	4,781	—	1,534	247	203	201	9,863	884	—
呉市	4,010	60	—	57	112	696	60	605	—	1,126	54	1,240
三原市	2,436	55	65	53	368	589	55	—	—	381	21	849
尾道市	6,339	38	48	819	501	445	28	14	—	652	24	3,770
大竹市	201	5	—	40	—	108	4	2	2	—	5	35
東広島市	6,275	108	21	5	713	1,059	58	105	8	753	233	3,212
廿日市市	2,185	23	6	754	27	286	23	18	9	634	6	399
安芸高田市	305	17	31	3	71	6	18	—	1	158	—	—
江田島市	821	14	6	5	403	160	3	—	—	228	2	—
府中町	1,060	7	5	69	141	160	17	4	—	44	20	593
北広島町	723	14	6	6	278	132	14	—	1	160	3	109
備北地区消防組合	3,553	53	—	654	704	418	98	—	2	1,520	13	91
福山地区消防組合	11,485	150	54	40	1,820	957	102	18	8	5,054	17	3,265



第3-2表 消防機関の出動延人員(消防本部・署所)

(令和3年中)

	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	捜索	予防査察	誤報等	その他
県計	187,179	15,888	1,903	32,874	16,030	22,772	4,282	3,286	988	36,154	6,468	46,534
広島市	53,674	8,441	1,011	20,261	—	6,262	1,976	793	804	10,672	3,454	—
呉市	18,217	1,019	—	675	380	2,088	240	1,973	—	4,128	974	6,740
三原市	8,987	728	250	417	1,156	1,938	211	—	—	952	313	3,022
尾道市	22,429	895	180	3,870	1,834	1,690	182	46	—	1,697	350	11,685
大竹市	1,024	65	—	437	—	341	18	6	6	—	41	110
東広島市	19,779	1,120	67	26	2,246	3,280	204	338	34	2,379	927	9,158
廿日市市	7,905	196	26	3,212	87	968	124	59	76	634	94	2,429
安芸高田市	889	148	125	91	142	16	127	—	3	237	—	—
江田島市	2,337	162	19	107	1,118	392	9	—	—	517	13	—
府中町	2,771	86	36	341	262	498	62	12	—	46	112	1,316
北広島町	1,969	160	20	37	927	176	103	—	5	221	7	313
備北地区消防組合	12,491	398	—	3,126	2,160	1,325	383	—	8	4,563	131	397
福山地区消防組合	34,707	2,470	169	274	5,718	3,798	643	59	52	10,108	52	11,364

第3-3表 消防機関の出動回数(消防団)

(令和3年中)

	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	搜索	予防査察	誤報等	その他
県 計	23,289	1,155	1,416	4,191	2,696	3	—	1,531	98	—	116	12,083
広島市	5,936	167	727	1,205	346	—	—	449	—	—	68	2,974
呉市	428	37	46	45	41	—	—	225	2	—	—	32
竹原市	41	5	—	1	6	—	—	8	1	—	—	20
三原市	2,916	149	117	338	409	—	—	210	27	—	18	1,648
尾道市	2,473	157	84	186	283	—	—	165	27	—	27	1,544
福山市	8,028	425	24	960	859	—	—	377	10	—	—	5,373
府中市	270	56	91	116	—	—	—	—	7	—	—	—
三次市	938	25	8	185	700	—	—	9	4	—	—	7
庄原市	43	28	3	9	—	—	—	—	3	—	—	—
大竹市	32	2	2	—	5	—	—	15	—	—	—	8
東広島市	645	16	253	370	—	—	—	—	6	—	—	—
廿日市市	473	10	12	344	10	—	—	19	1	—	—	77
安芸高田市	78	17	8	25	16	—	—	6	6	—	—	—
江田島市	645	3	3	295	—	—	—	27	1	—	—	316
府中町	82	2	1	17	7	—	—	12	1	—	—	42
海田町	68	6	3	49	3	—	—	3	—	—	—	4
熊野町	42	8	9	6	—	—	—	3	—	—	—	16
坂町	42	—	8	24	5	3	—	2	—	—	—	—
安芸太田町	19	4	7	3	5	—	—	—	—	—	—	—
北広島町	22	11	6	4	—	—	—	1	—	—	—	—
大崎上島町	7	3	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
世羅町	49	15	1	6	—	—	—	—	2	—	3	22
神石高原町	12	9	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—

第3-4表 消防機関の出動延人員(消防団)

(令和3年中)

	計	火災	風水害等の災害	演習・訓練等	広報・指導	警防調査	火災調査	特別警戒	搜索	予防査察	誤報等	その他
県 計	177,248	12,776	15,893	55,512	15,168	9	—	19,305	1,511	—	789	56,285
広島市	36,256	951	5,042	11,609	1,571	—	—	4,442	—	—	437	12,204
呉市	14,939	408	307	10,428	513	—	—	2,241	82	—	—	960
竹原市	1,620	121	—	53	448	—	—	555	8	—	—	435
三原市	14,382	659	691	2,231	2,072	—	—	1,246	165	—	77	7,241
尾道市	16,544	1,207	548	1,400	2,371	—	—	2,543	207	—	191	8,077
福山市	46,898	4,200	235	9,907	4,924	—	—	2,930	95	—	—	24,607
府中市	4,805	808	793	3,129	—	—	—	—	75	—	—	—
三次市	8,155	284	1,136	2,509	2,339	—	—	1,653	182	—	—	52
庄原市	2,308	647	952	541	—	—	—	—	168	—	—	—
大竹市	658	26	45	—	51	—	—	521	—	—	—	15
東広島市	5,542	289	1,535	3,476	—	—	—	—	242	—	—	—
廿日市市	6,044	298	491	4,151	50	—	—	634	28	—	—	392
安芸高田市	4,637	830	1,599	705	467	—	—	884	152	—	—	—
江田島市	3,994	93	202	2,104	—	—	—	294	49	—	—	1,252
府中町	753	36	15	313	25	—	—	225	22	—	—	117
海田町	807	96	65	430	11	—	—	106	—	—	—	99
熊野町	1,350	255	266	97	—	—	—	150	—	—	—	582
坂町	1,654	—	658	546	192	9	—	249	—	—	—	—
安芸太田町	1,423	221	657	418	127	—	—	—	—	—	—	—
北広島町	2,158	400	415	711	—	—	—	632	—	—	—	—
大崎上島町	165	98	57	3	7	—	—	—	—	—	—	—
世羅町	1,366	477	178	339	—	—	—	—	36	—	84	252
神石高原町	790	372	6	412	—	—	—	—	—	—	—	—

第3-5表 非常勤消防団員の報酬及び出動手当等

(令和4年4月1日現在)

区分 団体名	報酬年額(円)(条例で定める1人当たりの額)							回数, 時間及び日額を支給単位としている場合の 出動手当(円)(条例で定める1人1回当たりの額)				
	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	火災	風水害	警戒	訓練	その他
広島市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,500	37,000	36,500	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
呉市	82,500	69,000	50,500	45,500	39,500	37,000	36,500	8,000	8,000	3,000	3,000	3,000
竹原市	79,000	55,000	39,000	29,000	22,000	16,000	14,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
三原市	80,000	60,000	40,000	33,000	24,000	18,000	16,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—
尾道市	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	2,000	2,000	1,500	2,000	1,500
福山市	82,500	69,000	50,500	45,500	38,000	37,000	36,500	8,000	8,000	2,000	2,000	1,000
府中市	73,000	50,000	40,000	30,000	22,000	16,000	14,000	2,100	2,100	2,100	—	—
三次市	100,000	86,000	39,000	29,000	22,000	19,000	16,000	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200
庄原市	100,000	80,000	60,000	30,000	22,000	16,000	14,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
大竹市	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	4,000	4,000	3,500	3,500	3,500
東広島市	82,500	69,000	50,500	45,500	39,000	37,000	36,500	8,000	8,000	8,000	3,000	—
廿日市市	103,500	75,000	50,500	45,500	39,000	37,000	36,500	8,000	8,000	3,500	3,500	3,500
安芸高田市	116,000	82,000	65,000	53,000	44,000	37,000	32,000	2,500	2,500	2,000	5,500	2,000
江田島市	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	8,000	8,000	2,400	2,400	2,400
府中町	82,500	69,000	50,500	45,500	38,500	37,000	36,500	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
海田町	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	—	—	3,500	3,500	3,500
熊野町	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	36,500	36,500	—	—	3,500	3,500	3,500
坂町	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500	8,000	8,000	3,500	3,500	3,500
安芸太田町	103,000	73,000	53,000	43,000	34,000	25,000	19,000	8,000	8,000	7,000	7,000	7,000
北広島町	105,000	74,000	55,000	39,400	34,300	25,200	19,000	8,000	8,000	8,000	7,000	7,000
大崎上島町	68,200	48,500	32,000	23,700	18,500	15,500	13,400	6,500	6,500	4,400	6,500	3,250
世羅町	93,800	83,800	73,800	53,800	32,400	22,400	17,100	3,000	3,000	3,000	3,700	3,500
神石高原町	78,000	58,000	48,000	41,000	36,000	26,000	18,500	—	—	3,300	3,300	3,300

## 第 4 防 災 对 策

## 第4 防災対策

近年、東南海・南海地震を始めとする大規模な地震発生の切迫性の高まりや、地球温暖化に伴う気候変動による大雨の頻発や台風の大型化などによる災害の激甚化、新型インフルエンザ等、新たな感染症の発生や、さらにはテロや武力攻撃事態等、危機事案が多様化している。

このような危機に即応できるよう、平成20年度から、知事直轄の組織として危機管理監を設置するとともに、危機管理センターを常設し、危機管理体制を強化している。

### 1 防災行政

#### (1) 防災会議

市町防災会議は、その地域における防災活動の総合調整を行うとともに、地域防災計画を作成して、防災対策を実施している。令和3年度中における防災会議の開催状況は、第1表のとおりであり、防災計画の修正及び防災訓練の実施等について検討を行い、防災関係機関相互の連絡調整を図っている。

#### (2) 地域防災計画

地域防災計画は、防災会議が作成する地域における防災の総合的な計画であり、その内容は毎年検討が加えられ、必要な修正が行われている。令和3年度中における修正状況は、第1表のとおりである。

#### (3) 防災訓練

災害時に迅速かつ的確な対応をするためには、防災訓練等を実施し、日ごろから実践的な対応能力をかん養する必要がある。市町においては、風水害、地震、林野火災等様々な災害を想定し、防災訓練を実施しており、その状況は、第1表のとおりである。

第1表 防災行政の状況

年度	防災会議		地域防災計画	防災訓練						
	開催市町数	開催回数	修正回数	実施回数	目的					
					風水害	地震	コンビナート災害	大火災	林野火災	その他
R3	19	20	23	43	23	10	0	0	0	21
R2	16	17	22	42	25	5	0	0	5	25
31	20	20	21	21	35	13	0	0	6	20
30	15	15	16	76	21	19	1	0	7	35
29	20	21	20	83	22	27	0	0	9	37
28	18	18	19	72	26	28	1	0	9	12
27	17	19	20	115	27	41	0	0	7	2
26	17	18	19		23	39	2	1	7	17
25	17	22	19	154	31	70	1	1	8	57
24	16	17	16	159	28	73	2	2	18	21
23	14	15	15	144	64	60	3	2	16	14
22	17	17	14	127	49	19	3	4	17	35

(注) 防災訓練の目的欄では、訓練の想定災害について、複数の想定がある場合、それぞれ想定ごとに訓練回数を計上した。

## 2 情報通信体制

災害時において迅速かつ的確な災害応急活動を実施するためには、日ごろから各種防災情報の収集・伝達体制を確立しておくことが極めて重要である。

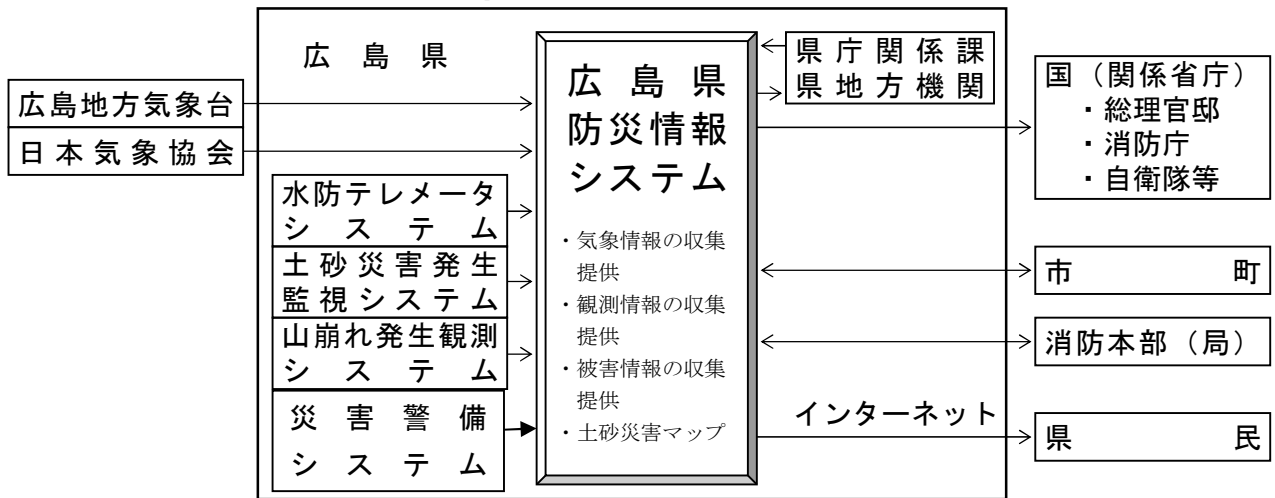
### (1) 広島県防災情報システム

平成11年6月の集中豪雨や平成13年芸予地震を教訓に、広島県では、複雑化・多様化する災害への対応力を強化するため、気象情報や観測情報を防災関係機関にリアルタイムで提供可能とするなど防災情報システムを整備し、運用している。

平成13年6月からは、インターネットにより県民等への情報提供を開始するとともに、平成14年度には各市町村の専用端末から被害情報を入力することで、防災関係機関へ逐次情報提供を可能とするなどの機能拡充を行い、平成15年度からシステムを運用開始した。

現行のシステムは平成30年1月から運用開始しているものである。

広島県防災情報システムの概要



### (2) 市町の防災行政無線

防災行政無線は、市町における災害対策の業務を遂行するため整備したもので、同報系無線と移動系無線がある。

令和4年4月1日現在の市町の整備状況は、第2表のとおりである。

(注) 同報系無線及び有線放送加入件数については、消防庁による「消防防災・震災対策現況調査」の対象外となったため、掲載していない。

第2表 防災行政無線局数 (毎年4月1日現在の状況)

年	同報系無線				移動系無線					有線放送加入件数(世帯数)
	親局	中継局	同報子局		基地局	中継局	移動局			
			屋外方式	戸別方式			車載型	可搬型	携帯型	
令和4年					14	57	251	5	1,041	
令和3年					14	57	251	5	1,041	
令和2年					18	60	366	7	1,022	
平成31年					24	9	377	26	1,058	
平成30年					25	8	347	26	496	
平成29年					23	8	400	34	1,071	
平成28年	204	41	1,384	52,846	39	18	444	166	1,154	38,874
平成27年	43	36	1,389	53,097	46	18	527	103	1,241	38,027
平成26年	50	80	1,453	62,738	53	19	668	206	731	39,672

(3) 市町の情報連絡体制

令和4年4月1日現在における市町の住民に対する避難等の伝達や勤務時間外に災害等の情報を入手する体制は、第3表のとおりである。

第3表 防災行政無線の整備状況 (令和4年4月1日現在の状況)

区分		市町数
住民に対する避難の指示等の伝達手段	防災行政無線通信網の戸別受信方式	13
	〃 の同報受信方式	16
	農協・漁協等の通信設備（有線を含む）	1
	広報車	23
	サイレン	15
	半鐘	
	報道機関	14
	自主防災組織を通じて	15
	その他	15
勤務時間外における情報連絡	市町職員の宿日直	5
	守衛等	13
	民間委託警備員等	8
	当該市町の消防機関の宿日直	10
	その他	4

(注) 2以上の体制がある市町についてはそれぞれ計上している。



### 3 自主防災組織の状況

自主防災組織は、災害発生時の被害を最小限に防止・軽減するため、地域住民が初期消火、応急手当、避難誘導等の活動を行うもので、地域ぐるみの防災体制を整備するためには、地域住民の連携意識に基づく自主防災組織の育成強化を促進する必要がある。

令和4年4月1日現在の県内における自主防災組織の状況は、第5表のとおりである。組織率は着実に向上しており、前年（令和3年4月1日現在）に比べて0.2ポイント増加した。

第4表 自主防災組織の状況

区 分	組 織 数				組織されている地域の世帯数 (世帯)	組織率 (%)
	町内会 単 位	小学校区 単 位	その他	計		
令和4年 4月1日	2,946	137	252	3,335	1,253,893	94.3
令和3年 4月1日	3,021	139	173	3,333	1,252,281	94.1
令和2年 4月1日	2,978	136	193	3,307	1,244,305	93.7
令和元年 4月1日	2,965	134	179	3,278	1,223,232	92.9
平成30年 4月1日	2,929	137	171	3,237	1,209,679	92.6
平成29年 4月1日	2,882	140	166	3,188	1,191,894	91.7
平成28年 4月1日	2,804	138	188	3,130	1,170,325	90.7

(注) 組織率は組織されている地域の世帯数を県の総世帯数で除したものである。

### 4 災害危険箇所等の状況

市町においては、山崩れ、崖崩れ、地すべりなどの災害が発生するおそれがある災害危険箇所の名称・位置等を市町地域防災計画の本編あるいは資料編等で明示しているが、令和4年4月1日現在の状況は、第5表のとおりである。

第5表 災害危険箇所等の状況 (令和3年4月1日現在の状況)

土砂災害警戒区域等指定箇所			山地に 起因する 災害危険 箇所	なだれ 災害危険 箇所	河川	海岸	ため池	宅地造成 工事規制 区域(k㎡)
土石流	急傾斜	地すべり						
16,871	30,736	117	25,071	336	734	118	3,870	2355.74

## 5 防災ヘリコプターの運航

広島県では、災害時の偵察・救援活動、傷病者の搬送、林野火災の消火活動、山岳・水難救助活動等に活用するため、平成8年7月11日から防災ヘリコプター「メイプル」を運航している。

(1) ヘリコプターの諸元等（平成25年1月1日より現機体により運航）

### ア 諸元

型式	アグスタ式 AW139 型	エンジン最大出力	3, 358馬力
定員	16人	最大全装備重量	6, 400kg
全長 (主回転翼を含む)	13.77m (16.66m)	機体自重	4, 581kg
全幅 (主回転翼を含む)	3.04m (13.80m)	巡航速度	278km/h
全高	3.93m	航続距離	730km

※ 基地（広島県防災航空センター）から県内全域に25分以内で到着可能。

### イ 主な装備品

- 赤外線暗視装置  
目標物が出す赤外線をとらえて映像化する装置
- GPSマップ装置  
人工衛星からの情報により機体の現在位置を表示する装置
- 患者搬送用ストレッチャー  
機体への脱着が容易な救急活動用担架装置

(2) 運航体制

#### ア 運航基地

広島県防災航空センター（三原市本郷町広島空港隣接地）

#### イ 組織構成

センター長1人、防災航空隊員6人（県内6消防本部（局）からの派遣）、操縦士1人、整備士2人、運航管理者1人（操縦士等4人は運航委託先の職員）

#### ウ 運航委託先（操縦、整備等の運航管理業務を委託）

中日本航空株式会社（本社：名古屋市）

#### エ 運航時間

1年365日運航

8時30分～17時15分（災害出動の場合は、この限りではない）

(3) 運航実績

令和3年度の災害業務に係る運航実績は次のとおりである。

区分	火災	救急	救助	広域応援	その他	計
件数	14	20	23	21	5	62

※ 広域応援は参考情報であり，計には計上していない。

## 6 防災拠点の整備

(1) 広島県防災拠点施設

大規模災害時における応急対策の拠点となる防災拠点施設を平成14年度に整備した。

ア 施設の機能

(ア) 食料，生活必需品，防災資機材の備蓄拠点機能

災害に備え，被災者用物資として毛布や非常食料など，また，救助用資機材としてバールやハンマーなどを備蓄

(イ) 救援物資の集積・搬送拠点機能

災害時に県内外から寄せられる大量の救援物資を集積し被災地へ搬送

(ウ) 救援部隊の集結・後方支援拠点機能

災害時の遠隔地からの救援部隊の集結場所及び救援部隊の待機・休息スペースを確保

(エ) 防災航空センター機能

消防防災活動を実施する防災ヘリコプターの基地

なお，大規模災害時には，他の防災関係機関からの応援ヘリが飛来することが想定されるため，応援ヘリの駐機，格納のためのスペースを確保

(オ) 災害対策本部代替拠点機能

地震・津波災害等により，県庁舎が使用できない場合に，災害対策本部として活動ができる機能を確保

イ 施設の特徴

(ア) 備蓄倉庫，防災広場と防災航空センターを一体的に整備しているため，救援物資の緊急輸送の即応が可能

(イ) 県中央に位置し，広島空港に隣接しているため，県内各地へ短時間で物資の搬送が可能

ウ 施設の管理運営

区分	内容	管理運営
平常時	・防災に関する広報啓発 ・備蓄資機材等の管理 等	危機管理監，防災航空センター 健康福祉局
	・防災ヘリコプターの運航	防災航空センター
災害発生時	・災害対策本部との連絡調整 ・備蓄物資搬入，搬出作業 ・救援物資の仕分け，一次保管作業 ・応援要員，ボランティア受入 等	災害対策本部 (危機管理監，健康福祉局等)
	・防災ヘリコプターの運航	災害対策本部事務局

エ 施設の概要

施設名称	広島県防災拠点施設		
所在地	〒729-0416 三原市本郷町善入寺94-22		
敷地面積	約24,918㎡		
構成施設等	※ 備蓄倉庫棟	鉄骨造1階建て 床面積4,482㎡	物資の備蓄 救援物資の集積・搬送
	主な 備蓄物資	<b>【食料品】</b> クラッカー，液体ミルク，粉ミルク，離乳食，ビスケット，アルファ化米 <b>【生活必需品】</b> 毛布，紙おむつ（幼児用，成人用），生理用品，簡易トイレ（凝固剤，収納袋） <b>【防災資機材】</b> （被災地用）ビニールシート，一輪車，ボール，ハンマー，のこ，金てこ，RCボール，救助ロープ，防塵メガネ，防塵マスク，ケブラー手袋，絶縁ボルトクリッパー，油圧ジャッキ （仕分け作業用）畳（緊急畳），毛布（真空パック），ビニールシート，投光器，コードリール，ヘルメット，軍手，雨具，テント（2間×4間），発電機，リヤカー	
	※ 管理棟	鉄骨造2階建て 床面積約1,883㎡	防災航空センター事務室，会議室，防災室，多目的室
	ヘリ格納庫		防災ヘリコプター格納庫
	防災広場	約8,500㎡	救援物資の仕分け作業スペース 救援部隊の集結スペース
駐車場	約2,800㎡	防災活動用の駐車場	

※ 免震構造（特殊ゴム等で構成される免震装置により地震時の建築物の揺れを小さくする構造）

(2) 救援拠点の指定配置

防災拠点施設を補完し，被災地における災害対策活動を迅速かつ効果的に実施するため，県は，既存の公園や体育館等の施設をあらかじめ救援拠点として指定し，災害発生時に必要に応じて開設することとしている。

## ア 救援物資輸送拠点

県外から送られてくる大量の救援物資の受け入れ及び搬送のための拠点として、次のとおり計画している。

種類	施設	対象区域	箇所数
陸上対応	①救援物資搬入 ②救援物資一時保管用建屋 ③臨時ヘリポート用広場 ④その他（会議室、仮眠室等）	西部	3箇所
		中部	1箇所
		東部	2箇所
		北部	1箇所
		小計	7箇所
海上対応	①輸送船接岸用バース ②救援物資搬入・搬出用広場 ③救援物資一時保管用建屋 ④臨時ヘリポート用広場 ⑤その他（会議室、仮眠室等）	広島港	3箇所
		呉港	3箇所
		竹原港	1箇所
		大西港	1箇所
		尾道糸崎港	2箇所
		福山港	1箇所
		小計	11箇所
合計			18箇所

## イ 救援部隊集結拠点

倒壊家屋等からの救出活動を迅速かつ効率的に行うための救援部隊の集結拠点として、次のとおり計画している。

種類	施設	対象区域	箇所数
警察	①救援部隊集結用広場 ②その他（会議室、仮眠室等）	広島市周辺 呉市周辺 尾道市周辺 福山市周辺 三次市周辺	6箇所（広島市周辺2箇所、その他各1箇所）
消防			16箇所（各1～6箇所）
自衛隊			6箇所（広島市周辺2箇所、その他各1箇所）
合計			28箇所

## 7 災害ボランティアの活用

阪神・淡路大震災では、多くのボランティアが被災地に駆けつけ、物資の仕分け、避難所の運営等様々な分野で活躍した。

このように、被災地における多様なニーズに対応したきめ細かな防災対策を講じていく必要があることから、平成10年3月、被災建築物応急危険度判定等の専門的な知識を有する分野のボランティアを登録する災害救援専門ボランティア制度を創設した。登録者は、第6表のとおりである。

第6表 救援専門ボランティアの登録者（令和4年3月31日現在の状況）

分野	活動内容	担当課	登録状況
建築物応急危険度判定	建物の倒壊、外壁等落下の危険度を調査し、建物使用の可否の判定	建築課	2,300名

第4-1表 防災会議の状況

区分 市町名	防災会議 設置の 有無	防災会議（令和3年度中）					防災会議の部会（数） （令和4年4月1日現在）								
		開催回数	開催目的				地震	風水害	土砂災害	雪害	救助	救急医療	通信連絡	原子力	その他
			地域防災 計画の検 討・修正	防災行政無 線等防災に 関する施設 等の整備	防災訓練 の立案・ 検討	防災会議 の組織・ 運営									
県計	23	20	19		4	2	2	2	1						5
広島市	○	1	○			○	1	1							2
呉市	○	1	○		○										1
竹原市	○	1	○												
三原市	○	1	○												
尾道市	○	1	○												
福山市	○	1	○												
府中市	○														
三次市	○	1	○												
庄原市	○	1	○												
大竹市	○														
東広島市	○	1	○												
廿日市市	○	1	○												
安芸高田市	○	1	○												
江田島市	○	1	○		○	○									1
府中町	○	1	○		○										1
海田町	○	1	○												
熊野町	○														
坂町	○	2	○		○										
安芸太田町	○	1	○												
北広島町	○	1	○												
大崎上島町	○														
世羅町	○	1	○				1	1	1						
神石高原町	○	1	○												

第4-2表 地域防災計画の状況

区分 市町名	地域防災 計画の策 定の有無	防災会議（令和3年度中）											地域防災計画と は別に特別災害 対策計画を策定 している項目 <small>（令和3年4月1日現在）</small>					
		修正回数	修正内容 <small>（令和4年4月1日現在）</small>										左の修正内容が特定災害 対策計画にかかる場合の 当該災害対策計画			震災対策 計画の修 正	風水害対 策計画の 修正	その他 の項目
			防災体制 の組織運 営に関する 修正	防災知識 普及啓発 に関する 修正	災害発生 危険箇所 に関する 修正	前記3項 以外の災 害予防対 策に関する 修正	情報連絡 体制に関 する修正	避難・救 護対策に 関する修 正	前記2項 以外の災 害予防対 策に関する 修正	災害復旧 復興に関 する修正	字句・数 字等の軽 微な事項 の修正	その他	震災対策 計画の修 正	風水害対 策計画の 修正	その他			
県計	23	23	13	9	11	14	10	12	9	7	18	8	10	7	5	23	16	
広島市	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
呉市	○	1			○	○			○	○	○		○	○		○	○	
竹原市	○	1	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
三原市	○	1									○					○	○	
尾道市	○	1	○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
福山市	○	1		○	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○	
府中市	○	3									○					○	○	
三次市	○	1	○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○	○	
庄原市	○	1	○	○	○	○	○	○	○		○					○	○	
大竹市	○	1	○		○	○					○	○	○	○		○	○	
東広島市	○	1									○					○	○	
廿日市市	○	1	○			○			○	○	○	○				○	○	
安芸高田市	○	1	○		○	○			○		○		○			○	○	
江田島市	○	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
府中町	○	1	○	○	○		○	○		○	○					○	○	
海田町	○	1				○						○				○	○	
熊野町	○															○	○	
坂町	○	1	○	○	○	○		○			○		○	○	○	○	○	
安芸太田町	○	1	○	○			○	○	○	○	○		○			○	○	
北広島町	○	1				○										○	○	
大崎上島町	○															○	○	
世羅町	○	1									○					○	○	
神石高原町	○	1	○				○									○	○	

第4-3表 情報連絡体制、防災訓練の状況

区分 市町名	情報連絡体制（令和4年4月1日現在）									防災訓練（令和3年度中）											
	住民に対する避難の指示等の伝達手段（令和4年4月1日現在）									訓練回数	訓練の目的（回数）						訓練の形態（回数）				
	防災行政無線		農漁協 等通信 設備	広報車	サイロ	半鐘	報道 機関	自主 防災 組織	その他		風水害	土砂 災害	地震 ・津波	コンビナート 災害	大火災	林野 火災	その他	総合 訓練 (実働)	図上 訓練	通信 訓練	その他
	戸別	同報																			
県計	13	16	1	23	15	14	15	15	43	23											
広島市	○	○		○	○	○	○	○	12	9	9						1	9	2		
呉市	○	○		○		○		○													
竹原市				○				○	1	1									1		
三原市	○	○	○	○	○	○	○	○	2	1		1						1	1		
尾道市	○			○		○	○	○	3	2		1						3			
福山市		○		○	○	○	○		2	1		1					1	1			
府中市		○		○		○	○	○	2	1	1						1	1			
三次市				○	○	○	○	○	2	1	1						1	1			
庄原市		○		○	○	○		○													
大竹市	○	○		○	○	○			7	5	5	2					2	5			
東広島市				○				○													
廿日市市	○	○		○	○	○	○		7	2		2				3	5	2			
安芸高田市				○		○	○	○													
江田島市	○	○		○	○	○	○														
府中町		○		○	○				1			1					1				
海田町	○	○		○	○	○	○	○													
熊野町	○	○		○	○			○	4		2	2					2		2		
坂町	○	○		○	○			○													
安芸太田町	○	○		○	○			○													
北広島町				○				○													
大崎上島町	○	○		○	○																
世羅町	○	○		○	○			○													
神石高原町				○		○	○	○													



第4-4表 防災無線通信施設の状況

区分 市町名	移動系無線（令和4年4月1日現在）															
	基地局 数	中継局 数	形態別移動局数			設置場所別移動局数										
			車載型	可搬型	携帯型	役場等	公共 施設	職員宅	指定 地方 行政 機関	消防 機関	自主 防災 組織	警察 機関	医療 機関	その他	計	
県計	14	57	251	5	1,041	545	211				451			81	42	1,330
広島市					589	319	211				3			49	7	589
呉市																
竹原市					61	2					45			32		79
三原市																
尾道市																
福山市																
府中市																
三次市																
庄原市	5	50	70	1	62	53					80					133
大竹市																
東広島市																
廿日市市																
安芸高田市	1	2	84		161	64					181					245
江田島市																
府中町	1		10		12	23										23
海田町	1	1	6		19	15					10					25
熊野町					28	28										28
坂町	1				40	6									35	41
安芸太田町	1	2	49	4	69	24					98					122
北広島町																
大崎上島町																
世羅町																
神石高原町	4	2	32			11					34					45

第4-5表 自主防災組織の状況

(令和4年4月1日現在)

市 町	組織率 (カバー率)	自主防災組織の組織数				組織世帯数 (カバー世帯数)
		町内会	小学校区	その他	計	
広島市	100.0%	1,892			1,892	576,400
呉市	85.7%	334		55	389	92,357
竹原市	100.0%			17	17	12,078
三原市	79.1%	132			132	33,935
尾道市	64.9%	128	4	8	140	41,886
福山市	100.0%		68	12	80	212,564
府中市	97.6%	68			68	16,600
三次市	100.0%			19	19	23,185
庄原市	75.5%	20		57	77	11,406
大竹市	74.2%	37		1	38	9,560
東広島市	100.0%		48		48	87,795
廿日市市	99.4%		16	11	27	52,474
安芸高田市	91.9%	37	1	47	85	12,275
江田島市	100.0%	31			31	11,645
府中町	87.1%	64			64	20,600
海田町	89.8%	38			38	12,425
熊野町	32.0%	4		12	16	3,389
坂町	82.1%	13			13	4,722
安芸太田町	39.7%	8			8	1,220
北広島町	74.9%	64			64	6,225
大崎上島町	50.3%	17			17	2,044
世羅町	76.5%	29		13	42	5,244
神石高原町	100.0%	30			30	3,864
	94.3%	2,946	137	252	3,335	1,253,893

第4-6-1表 災害危険箇所状況（その1）

（令和4年4月1日現在）

※広島県土砂災害警戒区域等指定箇所一覧

（単位：箇所）

事務所名	市区町名		土石流		急傾斜		地すべり		合計	
			警戒区域	内、特別警戒区域	警戒区域	内、特別警戒区域	警戒区域	内、特別警戒区域	警戒区域	内、特別警戒区域
西部	広島市	中区	0	0	7	7	0	0	7	7
		東区	171	154	422	377	0	0	593	531
		南区	45	41	232	208	0	0	277	249
		西区	83	74	316	267	0	0	399	341
		安佐南区	479	370	1,082	1,030	0	0	1,561	1,400
		安佐北区	1,136	1,024	1,591	1,554	2	0	2,729	2,578
		安芸区	346	323	449	433	0	0	795	756
		佐伯区	510	454	913	865	3	0	1,426	1,319
		小計	2,770	2,440	5,012	4,741	5	0	7,787	7,181
	安芸高田市		840	807	1,053	1,031	4	0	1,897	1,838
	江田島市		263	239	543	526	0	0	806	765
	府中町		25	21	57	51	0	0	82	72
	海田町		39	33	46	45	0	0	85	78
	熊野町		130	113	138	128	0	0	268	241
	坂町		73	61	80	75	0	0	153	136
計		4,140	3,714	6,929	6,597	9	0	11,078	10,311	
呉支所	呉市		1,463	1,349	2,638	2,431	0	0	4,101	3,780
	計		1,463	1,349	2,638	2,431	0	0	4,101	3,780
廿日市支所	廿日市市		668	598	1,066	1,030	4	0	1,738	1,628
	大竹市		218	197	283	276	2	0	503	473
	計		886	795	1,349	1,306	6	0	2,241	2,101
安芸太田支所	安芸太田町		450	423	699	692	6	0	1,155	1,115
	北広島町		760	728	1,209	1,199	5	0	1,974	1,927
	計		1,210	1,151	1,908	1,891	11	0	3,129	3,042
東広島支所	東広島市		1,246	1,186	2,555	2,436	3	0	3,804	3,622
	竹原市		633	584	686	681	0	0	1,319	1,265
	大崎上島町		81	68	274	265	0	0	355	333
	計		1,960	1,838	3,515	3,382	3	0	5,478	5,220
東部	福山市		1,107	977	2,545	2,467	16	0	3,668	3,444
	府中市		539	479	1,042	1,008	2	0	1,583	1,487
	神石高原町		356	317	1,268	1,249	12	0	1,636	1,566
	計		2,002	1,773	4,855	4,724	30	0	6,887	6,497
三原支所	三原市		1,162	987	1,878	1,839	2	0	3,042	2,826
	尾道市		939	871	2,014	1,974	6	0	2,959	2,845
	世羅町		421	360	1,134	1,098	5	0	1,560	1,458
	計		2,522	2,218	5,026	4,911	13	0	7,561	7,129
北部	三次市		1,065	1,016	1,998	1,949	18	0	3,081	2,965
	計		1,065	1,016	1,998	1,949	18	0	3,081	2,965
庄原支所	庄原市		1,623	1,544	2,518	2,478	27	0	4,168	4,022
	計		1,623	1,544	2,518	2,478	27	0	4,168	4,022
合計			16,871	15,398	30,736	29,669	117	0	47,724	45,067

第4-6-2表 災害危険箇所の状況（その2）

令和4年4月1日現在

区分 市町名	山地に起因する 災害危険箇所			なだれ災害危険箇所		
	箇所数		25,071	箇所数		336
広島市			3,859			
呉市			1,975			
竹原市			562			
三原市			1,527			
尾道市			1,611			
福山市			1,995			
府中市			674			
三次市			1,626			44
庄原市			2,604			92
大竹市			178			
東広島市			2,057			
廿日市市			998			7
安芸高田市			872			56
江田島市			536			
府中町			56			
海田町			88			
熊野町			158			
坂町			120			
安芸太田町			671			52
北広島町			784			85
大崎上島町			257			
世羅町			835			
神石高原町			1,028			

第4-6-3表 災害危険箇所状況（その3）

令和4年4月1日現在

管理		重要水防箇所					
		河川			海岸		
県計		箇所数		734	箇所数		118
県管理	西部			33			
	呉支所			6			41
	廿日市支所			7			3
	安芸太田支所			4			
	東広島支所			15			21
	東部			22			8
	三原支所			18			28
	北部			13			
	庄原支所			16			
	広島港湾						17
国管理	太田川			337			
	三次			68			
	福山			195			

区分		ため池 (貯水量1000m <sup>3</sup> 以上)			宅地造成工事規制区域 (法律指定)		
		市町名		面積	(km <sup>2</sup> )		
県計		箇所数		3,870	面積	(km <sup>2</sup> )	2,355.74
広島市				75			591.26
呉市				111			220.82
竹原市				33			106.66
三原市				231			249.68
尾道市				280			144.01
福山市				696			310.89
府中市				97			37.07
三次市				498			67.38
庄原市				542			
大竹市				2			14.10
東広島市				649			392.40
廿日市市				27			109.23
安芸高田市				230			
江田島市				14			50.43
府中町				3			7.81
海田町				4			9.99
熊野町				51			30.88
坂町				3			13.13
安芸太田町				0			
北広島町				96			
大崎上島町				20			
世羅町				169			
神石高原町				39			

## 第5 予防行政の現況

## 第5 予防行政の現況

### 1 火災予防思想の普及

#### (1) 火災予防運動

毎年、秋季（11月9日～15日）及び春季（3月1日～7日）全国火災予防運動が全国統一標語のもとに実施されている。（第1表）

この運動は、火災の多発期である冬季及び春季を迎えるに当たって国民の火災に対する警戒心を呼び起こし、火災及び火災による死傷者の発生を防止するため、昭和24年から春秋の2回、全国一斉に行われているものであり、県内においては、市町等により、火災予防パレード、消防訓練、特別査察、体験入隊等の行事などの各種広報活動が積極的に展開されている。

また、春季全国火災予防運動期間には、車両火災の防止を目的として、消防庁と国土交通省の共唱による「車両火災予防運動」が展開され、また、山火事予防目的として、消防庁と林野庁の共唱による「全国山火事予防運動」が展開されている。

第1表 全国火災予防運動の統一標語

年 度	統 一 標 語
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子
平成22年度	消したかな あなたを守る 合言葉
平成23年度	消したはず 決めつけしないで もう一度
平成24年度	消すまでは 出ない行かない 離れない
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ
平成28年度	消しましょう その火その時 その場所で
平成29年度	火の用心 ことばを形に 習慣に
平成30年度	忘れてない？ サイフにスマホに 火の確認
令和元年度	ひとつずつ いいね！で確認 火の用心
令和2年度	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
令和3年度	おうち時間 家族で点検 火の始末
令和4年度	お出かけは マスク戸締り 火の用心

#### (2) 文化財防火デー

昭和24年1月26日の法隆寺金堂火災及びその後における金閣寺などの重要文化財の焼失を契機として、昭和30年以来、毎年1月26日を「文化財防火デー」とし、文化財を火災から守るとともに国民一般の文化財愛護思想の高揚を図るため、消防庁と文化庁の共唱により実施されている。

消防機関と文化財の管理者等との連携により、この日を中心に文化財に対する防火訓練・査察等が実施されている。

## 2 民間防火組織

民間防火組織には、家庭の主婦等を対象とした女性防火クラブ、小・中学生を対象とした少年消防クラブ及び保育園児、幼稚園児を対象とした幼年消防クラブがあり、それぞれの立場で、それぞれの地域における防火思想の普及に貢献している。

令和4年5月1日現在の組織状況は、第2表のとおりである。

また、令和元年以降の組織の推移は、第3表のとおりである。

第2表 女性防火クラブ・少年消防クラブ・幼年消防クラブの現況

(令和4年5月1日現在)

区 分	現 況		
		ク ラ ブ 数	32
女性防火クラブ	活動状況 (クラブ数)	消火活動を行う	3
		連絡救護等	19
		啓発活動	10
	ク ラ ブ 員 数	3,719	
少年消防クラブ	ク ラ ブ 数	36	
	ク ラ ブ 員 数	1,491	
幼年消防クラブ	ク ラ ブ 数	264	
	ク ラ ブ 員 数	20,233	

第3表 女性防火クラブ・少年消防クラブ・幼年消防クラブの組織の推移

(令和4年5月1日現在)

区 分	年	元	2	3	4
	女性防火クラブ		36	34	33
		5,541	5,186	4,783	3,719
少年消防クラブ		41	37	37	36
		1,871	1,654	1,552	1,491
幼年消防クラブ		271	264	260	264
		20,744	19,758	19,544	20,233

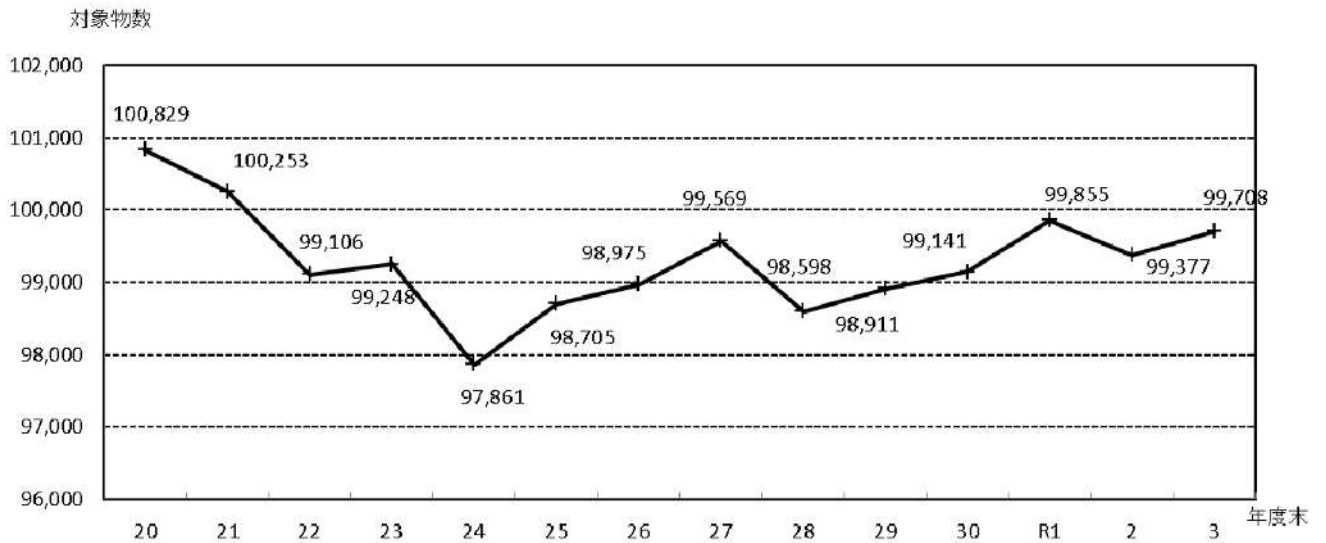


### 3 防火対象物

#### (1) 防火対象物

県内の防火対象物（消防法施行令別表第1（一）項から（十六の三）項までに掲げる防火対象物で、延べ面積150㎡以上のもの並びに（十七）項及び（十八）項に掲げる防火対象物をいう。以下、同じ。）の数は、第1図のとおりである。

第1図 防火対象物数の状況



#### (2) 防火管理

消防法では、多数の人を収容する防火対象物の権原を有する者に対して、防火管理者を選任し、消防計画の作成、これに基づく消火・通報・避難の訓練の実施、消防用設備等の点検・整備、火気の使用又は取扱いに関する監督など、防火管理上必要な業務を行わせることを義務づけている。

##### ア 防火管理者

防火管理者として選任される資格は、防火管理に関する講習（防火管理講習）の課程を修了した者等で、防火管理上必要な業務を遂行する管理的又は監督的な地位にあるものとされている。

(3) 消防用設備等

消防法では、政令で定める防火対象物の関係者（所有者、管理者又は占有者）は、政令で定める技術上の基準に従って、消防用設備等を設置し、かつ、それを適正に維持しなければならないとされている。

ア 消防同意の処理状況

建築物の新築等において、許可、認可、確認等の権限を持つ行政庁等に、消防長又は消防署長が行う同意（消防同意）について、県内における令和3年度の同意件数は、3,455件であり、そのうち271件について消防機関による指導が行われている。

4 消防設備士

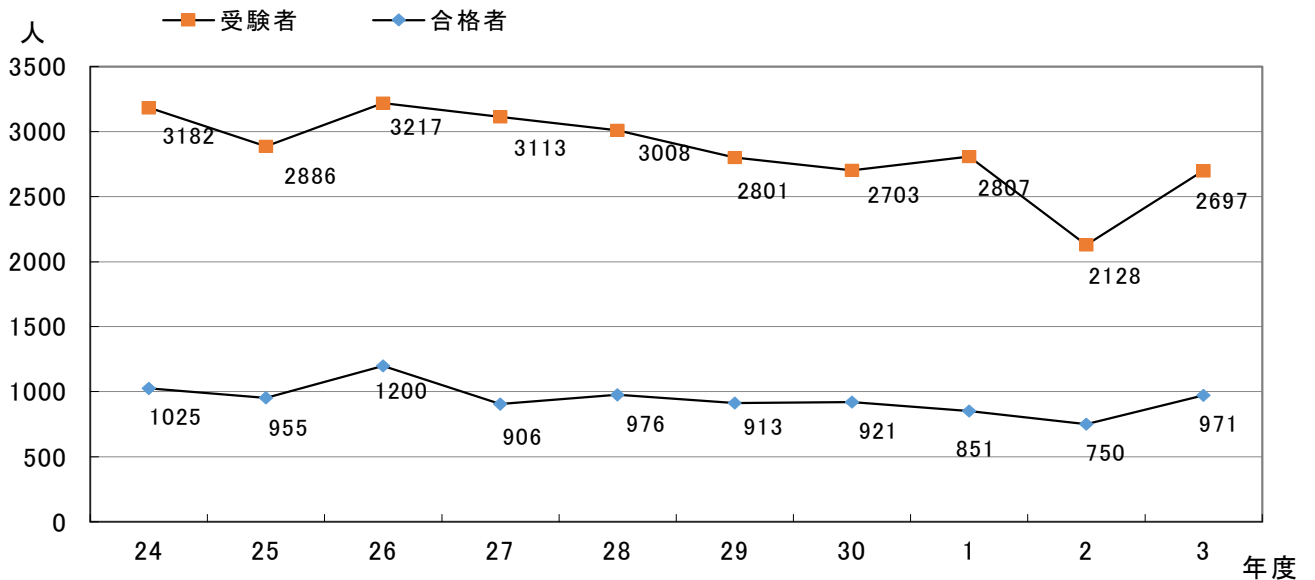
(1) 消防設備士試験

消防法により、消防用設備等の一定の工事又は整備については、消防設備士でなければ行っていないとされている。

消防設備士の資格を得るための試験として行う消防設備士試験は、昭和60年度から一般財団法人消防試験研究センターに委任して実施している。

平成24年度以降の実施状況は第2図のとおりである。

第2図 消防設備士試験の実施状況



(2) 消防設備士免状

消防設備士試験に合格した者の申請に基づき県知事が交付するものである。

令和3年度の免状交付数は、甲種450件、乙種541件となっている。

第5-1表 女性防火クラブの現況

(令和4年5月1日現在)

団 体 名	計		市 街 地		農 山 村 地 域		漁 村 地 域		その他の地域	
	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員
県 計	32	3,719	16	2,054	6	227	3	32	7	1,406
消防本部設置市計	11	2,807	6	1,734	1	24	3	32	1	1,017
広 島 市	6	1,734	6	1,734	-	-	-	-	-	-
呉 市	1	24	-	-	1	24	-	-	-	-
三 原 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
尾 道 市	3	32	-	-	-	-	3	32	-	-
大 竹 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東 広 島 市	1	1,017	-	-	-	-	-	-	1	1,017
廿 日 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安 芸 高 田 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江 田 島 市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防事務委託町計	7	114	7	114	-	-	-	-	-	-
竹 原 市	7	114	7	114	-	-	-	-	-	-
海 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 野 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安 芸 太 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大 崎 上 島 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
世 羅 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防本部設置町計	7	398	2	195	5	203	-	-	-	-
府 中 町	2	195	2	195	-	-	-	-	-	-
北 広 島 町	5	203	-	-	5	203	-	-	-	-
消防組合構成団体計	7	400	1	11	-	-	-	-	6	389
備北地区消防組合	7	400	1	11	-	-	-	-	6	389
福山地区消防組合	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第5-1表 女性防火クラブの現況

(令和4年5月1日現在)

団 体 名	計		消火活動		救護		啓蒙活動	
	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員	組 織 数	人 員
県 計	32	3,719	3	61	19	1,690	10	1,968
消防本部設置市計	11	2,807	1	12	3	1,037	7	1,758
広 島 市	6	1,734	-	-	-	-	6	1,734
呉 市	1	24	-	-	-	-	1	24
三 原 市	-	-	-	-	-	-	-	-
尾 道 市	3	32	1	12	2	20	-	-
大 竹 市	-	-	-	-	-	-	-	-
東 広 島 市	1	1,017	-	-	1	1,017	-	-
廿 日 市	-	-	-	-	-	-	-	-
安 芸 高 田 市	-	-	-	-	-	-	-	-
江 田 島 市	-	-	-	-	-	-	-	-
消防事務委託町計	7	114	-	-	7	114	-	-
竹 原 市	7	114	-	-	7	114	-	-
海 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-
坂 町	-	-	-	-	-	-	-	-
熊 野 町	-	-	-	-	-	-	-	-
安 芸 太 田 町	-	-	-	-	-	-	-	-
大 崎 上 島 町	-	-	-	-	-	-	-	-
世 羅 町	-	-	-	-	-	-	-	-
消防本部設置町計	7	398	-	-	5	203	2	195
府 中 町	2	195	-	-	-	-	2	195
北 広 島 町	5	203	-	-	5	203	-	-
消防組合構成団体計	7	400	2	49	4	336	1	15
備北地区消防組合	7	400	2	49	4	336	1	15
福山地区消防組合	-	-	-	-	-	-	-	-

第5-2表 少年消防クラブの現況

(令和4年5月1日現在)

団体名	組織別クラブ数						組織別クラブ員数						指導者数			
	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		市町村単位	地区単位	その他	計	学校単位		その他
		小学校	中学校					小学校	中学校					小学校	中学校	
県計	36	14	1	4	17	-	1,491	433	17	69	972	-	288	186	14	88
消防本部設置市計	26	12	1	3	10	-	1,119	322	17	43	737	-	217	160	14	43
広島市	16	8	1	2	5	-	184	112	17	13	42	-	90	51	14	25
呉市	1	-	-	-	1	-	58	-	-	-	58	-	1	-	-	1
三原市	2	1	-	1	-	-	54	24	-	30	-	-	19	6	-	13
尾道市	3	3	-	-	-	-	186	186	-	-	-	-	103	103	-	-
大竹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東広島市	2	-	-	-	2	-	605	-	-	-	605	-	2	-	-	2
廿日市	1	-	-	-	1	-	15	-	-	-	15	-	-	-	-	-
安芸高田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
江田島市	1	-	-	-	1	-	17	-	-	-	17	-	2	-	-	2
消防事務委託町計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
竹原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安芸太田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大崎上島町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
世羅町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防本部設置町計	3	2	-	1	-	-	137	111	-	26	-	-	43	26	-	17
府中町	1	-	-	1	-	-	26	-	-	26	-	-	17	-	-	17
北広島町	2	2	-	-	-	-	111	111	-	-	-	-	26	26	-	-
消防組合構成団体計	7	-	-	-	7	-	235	-	-	-	235	-	28	-	-	28
備北地区消防組合	5	-	-	-	5	-	176	-	-	-	176	-	5	-	-	5
福山地区消防組合	2	-	-	-	2	-	59	-	-	-	59	-	23	-	-	23

第5-3表 幼年消防クラブの現況

(令和4年5月1日現在)

団体名	組織別クラブ数						組織別クラブ員数						指導者数			
	計	幼稚園 保育園 単位	学 校 単 位	市 町 村 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学 校 単 位	市 町 村 単 位	地 区 単 位	その他	計	幼稚園 保育園 単位	学 校 単 位	その他
県計	264	263	-	-	1	-	20,233	20,214	-	-	19	-	1,968	1,968	-	-
消防本部設置市計	188	187	-	-	1	-	13,462	13,443	-	-	19	-	1,146	1,146	-	-
広島市	40	40	-	-	-	-	3,782	3,782	-	-	-	-	820	820	-	-
呉市	10	9	-	-	1	-	524	505	-	-	19	-	48	48	-	-
三原市	7	7	-	-	-	-	180	180	-	-	-	-	28	28	-	-
尾道市	20	20	-	-	-	-	621	621	-	-	-	-	173	173	-	-
大竹市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東広島市	57	57	-	-	-	-	5,216	5,216	-	-	-	-	57	57	-	-
廿日市市	38	38	-	-	-	-	2,468	2,468	-	-	-	-	-	-	-	-
安芸高田市	12	12	-	-	-	-	319	319	-	-	-	-	12	12	-	-
江田島市	4	4	-	-	-	-	352	352	-	-	-	-	8	8	-	-
消防事務委託町計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
竹原市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
海田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
坂町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊野町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
安芸太田町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大崎上島町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
世羅町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
消防本部設置町計	18	18	-	-	-	-	2,402	2,402	-	-	-	-	449	449	-	-
府中町	12	12	-	-	-	-	2,217	2,217	-	-	-	-	384	384	-	-
北広島町	6	6	-	-	-	-	185	185	-	-	-	-	65	65	-	-
消防組合構成団体計	58	58	-	-	-	-	4,369	4,369	-	-	-	-	373	373	-	-
備北地区消防組合	32	32	-	-	-	-	1,560	1,560	-	-	-	-	32	32	-	-
福山地区消防組合	26	26	-	-	-	-	2,809	2,809	-	-	-	-	341	341	-	-

第5-4表 防火対象物数（その1）

（令和4年3月31日現在）

区分 団体名	1		2				3		4	5		6				7	8	9		10
	イ 劇場等	ロ 公会堂等	イ キャバレー等	ロ 遊技場等	ハ 風俗営業等	ニ カラオケ等	イ 料理店等	ロ 飲食店等	百貨店等	イ 旅館等	ロ 共同住宅等	イ 病院等	ロ 入所福祉施設 自立避難困難者	ハ 児童擁護施設等 老人福祉施設	ニ 幼稚園 特別支援学校	学校	図書館等	イ 特殊浴場	ロ 一般浴場	停車場等
県計	99	1354	19	169	3	39	21	1475	3139	801	31644	1417	939	1933	344	3458	152	32	47	59
広島市	35	432	1	70	2	18	7	515	1039	222	16196	486	252	529	131	1278	19	28	8	30
呉市	7	157	1	15	0	3	7	89	252	81	1720	157	88	139	42	301	19	0	12	3
竹原市	3	17	0	1	0	0	0	13	35	18	189	18	15	26	0	40	7	0	0	1
三原市	4	49	0	3	0	1	0	62	126	25	846	52	39	77	20	138	4	0	1	1
尾道市	6	50	5	3	0	0	4	63	184	94	1053	66	72	143	25	185	15	1	3	1
福山市	10	171	8	34	1	9	0	319	611	97	5097	234	181	405	52	540	25	1	6	5
府中市	2	15	0	2	0	0	0	15	55	8	285	27	20	42	1	39	4	0	0	1
三次市	7	58	1	4	0	1	0	52	103	29	407	38	33	72	4	97	12	0	2	2
庄原市	2	54	0	3	0	1	0	26	43	37	203	22	35	51	3	82	10	0	5	0
大竹市	1	17	0	1	0	0	2	47	43	23	291	27	15	23	6	26	1	0	0	1
東広島市	7	36	1	13	0	5	0	104	261	28	2467	111	65	156	16	288	6	0	3	3
廿日市市	3	65	0	6	0	0	0	61	115	59	996	69	46	75	20	116	5	0	1	6
安芸高田市	1	6	0	1	0	0	0	11	43	9	96	23	13	57	2	52	1	0	2	0
江田島市	1	25	0	0	0	0	0	9	25	14	126	14	11	17	1	28	2	0	1	2
府中町	0	10	0	2	0	1	0	11	30	0	763	16	8	17	7	37	1	1	0	0
海田町	0	8	0	3	0	0	0	16	29	3	433	14	2	16	6	31	2	0	0	1
熊野町	1	12	0	1	0	0	0	3	30	5	103	10	8	14	3	23	2	0	0	0
坂町	1	10	0	0	0	0	0	10	12	0	83	6	2	5	0	13	0	1	0	0
廿日市市吉和	1	5	0	0	0	0	0	1	2	5	5	1	0	2	0	2	2	0	0	0
安芸太田町	2	37	0	1	0	0	0	2	8	7	15	1	4	11	0	14	0	0	1	0
北広島町	3	74	1	1	0	0	1	13	31	13	124	11	17	21	0	45	7	0	0	1
大崎上島町	0	5	1	2	0	0	0	4	11	11	61	2	3	5	3	31	1	0	0	0
世羅町	0	19	0	3	0	0	0	21	47	6	63	9	5	18	0	30	4	0	1	1
神石高原町	2	22	0	0	0	0	0	8	4	7	22	3	5	12	2	22	3	0	1	0

第5-4表 防火対象物数（その2）

（令和4年3月31日現在）

区分 団体名	1 1	1 2		1 3		1 4	1 5	1 6		16の2	16の3	1 7	1 8	合計
	神社・寺院等	イ 工場等	ロ スタジオ	イ 駐車場等	ロ 航空機格納庫	倉庫	事務所等	イ 防火対象物 特定複合用途	ロ 防火対象物 非特定複合用途	地下街	準地下街	文化財	延長五十メートル 以上のアーケード	
県計	1,033	11,884	8	1,405	6	8,449	10,699	8,991	9,865	1	0	192	31	99,708
広島市	355	2,702	7	520	4	2,026	3,133	4,350	5,935	1	0	4	11	40,346
呉市	79	1,102	0	128	0	464	633	720	585	0	0	13	6	6,823
竹原市	22	194	0	12	0	171	197	89	31	0	0	10	1	1,110
三原市	38	466	0	37	2	329	565	276	170	0	0	2	0	3,333
尾道市	109	855	0	77	0	645	517	424	250	0	0	31	5	4,886
福山市	149	2,164	0	168	0	1,569	2,079	1,438	1,556	0	0	50	8	16,987
府中市	17	432	0	25	0	240	186	142	237	0	0	8	0	1,803
三次市	27	415	0	80	0	372	321	149	77	0	0	12	0	2,375
庄原市	8	324	0	54	0	268	313	76	37	0	0	6	0	1,663
大竹市	18	223	0	10	0	180	211	82	73	0	0	0	0	1,321
東広島市	70	1,120	0	72	0	769	807	387	337	0	0	4	0	7,136
廿日市市	54	435	0	53	0	349	314	219	97	0	0	11	0	3,175
安芸高田市	6	279	0	15	0	218	236	74	56	0	0	12	0	1,213
江田島市	10	146	0	9	0	79	129	63	54	0	0	0	0	766
府中町	14	57	0	39	0	15	69	118	119	0	0	1	0	1,336
海田町	5	148	0	10	0	106	84	86	65	0	0	0	0	1,068
熊野町	5	146	0	3	0	53	32	30	19	0	0	0	0	503
坂町	3	63	0	8	0	118	56	16	9	0	0	0	0	416
廿日市市吉和	0	7	0	5	0	14	15	10	4	0	0	0	0	81
安芸太田町	16	49	0	14	0	28	70	35	28	0	0	8	0	351
北広島町	10	265	1	35	0	220	213	97	58	0	0	5	0	1,267
大崎上島町	11	66	0	4	0	52	116	28	10	0	0	3	0	430
世羅町	3	131	0	19	0	79	299	52	21	0	0	1	0	832
神石高原町	4	95	0	8	0	85	104	30	37	0	0	11	0	487



第5-5表 防火管理者の選任状況

(令和4年3月31日現在)

区分	消防法第8条該当防火対象物数	管理権原が単一のもの				管理権原が2以上に分かれているもの								
		対象物数	防火管理者届出	消防計画届出	対象物数	防火管理者の選任が完全に実施されているもの				部分的に防火管理者を選任しているもの				
						全管理権原者が共同して1人の防火管理者を選任している対象物数		防火管理者が2人以上選任されているもの		消防計画届出対象物数		対象物数	防火管理者数	一部分の消防計画届出対象物数
						対象物数	届出防火管理者数	全体の計画届出	一部分の計画届出					
県計	23,603	22,800	20,442	19,564	803	237	374	1,173	570	16	116	609	96	
1	イ 劇場等	52	52	52	50									
	ロ 公会堂等	1,299	1,295	1,248	1,212	4		4	8	4				
2	イ キャバレー等	16	16	13	12									
	ロ 遊技場等	146	146	140	138									
	ハ 風俗営業等	2	2	1	1									
	ニ カラオケボックス等	39	39	39	37									
3	イ 料理店等	15	15	14	12									
	ロ 飲食店	1,353	1,328	1,070	1,024	25	12	4	8	16		4	4	
4	百貨店等	2,208	2,181	1,867	1,779	27	5	13	27	15	2	8	15	
5	イ 旅館等	481	477	464	456	4	1	2	4	3		1	1	
	ロ 共同住宅等	3,905	3,826	3,315	3,134	79	69	5	10	71				
6	イ 病院等	445	443	417	399	2		2	11	2				
	ロ 自立避難困難者入所社会福祉施設等	694	691	665	638	3	1	1	2	2				
	ハ 老人福祉施設, 児童養護施設等	1,126	1,122	1,057	1,014	4	1	3	6	4				
	ニ 幼稚園等	192	192	190	185									
7	学校等	1,011	951	925	895	60		58	117	58		1	1	
8	図書館等	97	97	96	90									
9	イ 特殊浴場等	19	19	16	16									
	ロ 一般浴場等	14	14	13	12									
10	停車場等	2	2	1	1									
11	神社・寺院等	428	428	367	340									
12	工場等	841	835	772	733	6	3	1	2	4		1	1	
	スタジオ	1	1	1	1									
13	イ 駐車場等	10	10	9	8									
	ロ 航空機格納庫	1	1	1	1									
14	倉庫	240	237	222	215	3		2	7	2				
15	事務所等	2,030	2,001	1,831	1,761	29	4	17	35	21		7	81	
16	イ 特定複合用途対象物	5,514	5,020	4,459	4,270	494	113	244	887	328	13	86	491	
	ロ 非特定複合用途防火対象物	1,384	1,322	1,144	1,100	62	28	17	47	39	1	8	15	
16の2	地下街	1				1		1	2	1				
16の3	準地下街													
17	文化財	37	37	33	30									

第5-6表 消防用設備等の設置状況

(令和4年3月31日現在)

区 分	自動火災報知設備					屋内消火栓設備					スプリンクラー設備				
	対象物	設置数	特例数	違反数	違反率	対象物	設置数	特例数	違反数	違反率	対象物	設置数	特例数	違反数	違反率
県 計	46,370	40,323	5,467	397	0.9	11,336	8,624	2,322	259	2.3	3,124	2,596	512	7	0.2
1	イ 劇場等	88	85	3		49	49				24	23	1		
	ロ 公会堂等	777	740	34	0.4	152	143	9			8	8			
2	イ キャバレー等	11	10	1							2	2			
	ロ 遊技場等	163	163			59	56	2	1	1.7	22	22			
	ハ 風俗営業等	3	3												
	ニ カラオケボックス等	41	41			2	2								
3	イ 料理店等	18	18			1	1								
	ロ 飲食店	664	619	35	1.5	37	36	1			1	1			
4	百貨店等	1,816	1,781	25	0.6	331	319	9	3	0.9	189	188	1		
5	イ 旅館等	1,326	1,151	161	0.1	197	183	13	1	0.5	37	37			
	ロ 共同住宅等	11,265	8,311	2,929	0.1	2,352	818	1,526	2	0.1	737	256	480		
6	イ 病院等	976	954	22		165	162	3			263	252	3		
	ロ 自立避難困難者入所社会福祉施設等	947	946	1		62	60	2			907	905	1	1	0.1
	ハ 老人福祉施設, 児童養護施設等	1,580	1,547	31	0.1	100	97	3			78	77	1		
	ニ 幼稚園等	289	289			38	38				2	2			
7	学校等	2,947	2,940	1	0.1	1,712	1,697	11	4	0.2	7	7			
8	図書館等	98	96	2		58	56		1	1.7	3	3			
9	イ 特殊浴場等	33	33			6	6								
	ロ 一般浴場等	16	16			4	4								
10	停車場等	24	21	2		6	4	1			1	1			
11	神社・寺院等	142	139	1		39	34	2							
12	工場等	5,858	5,296	276	3.2	2,246	1,834	192	152	6.8	18	12	3	3	16.7
	スタジオ	6	6			4	4								
13	イ 駐車場等	367	329	35	0.5	6	5	1							
	ロ 航空機格納庫	6	6												
14	倉庫	3,132	2,907	126	1.9	976	820	73	52	5.3	22	21		1	4.5
15	事務所等	3,379	2,929	420	0.7	1,383	975	384	14		72	70	2		
16	イ 特定複合用途対象物	6,690	5,491	1,146	0.8	721	681	34	6	0.8	687	682	5		
	ロ 非特定複合用途防火対象物	3,506	3,301	169	0.7	626	537	55	23	3.7	42	25	15	2	4.8
16の2	地下街	1	1			1	1				1	1			
16の3	準地下街														
17	文化財	201	154	47		3	2	1			1	1			
18	延長50m以上のアーケード														

第5-7表 消防設備士試験実施状況

種別 年度	合計			甲種小計			甲種特類			甲種第1類			甲種第2類			甲種第3類			甲種第4類			甲種第5類		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
24	3,182	1,025	36.4	1,422	296	30.7	48	12	17.5	427	68	23.2	108	30	48.4	126	28	34.5	597	130	31.1	116	28	37.4
25	2,886	955	32.2	1,259	394	20.8	48	20	25.0	330	66	15.9	73	33	27.8	117	41	22.2	577	193	21.8	114	41	24.1
26	3,217	1,200	33.1	1,365	412	31.3	35	7	41.7	445	107	20.0	88	30	45.2	101	40	35.0	603	198	33.4	93	30	36.0
27	3,113	906	37.3	1,328	323	30.2	36	6	20.0	407	60	24.0	116	44	34.1	99	22	39.6	540	147	32.8	130	44	32.3
28	3,008	976	29.1	1,351	401	24.3	39	6	16.7	413	111	14.7	105	40	37.9	109	33	22.2	577	177	27.2	108	34	33.8
29	2,801	913	32.4	1,273	398	29.7	33	12	15.4	353	95	26.9	79	38	38.1	93	39	30.3	595	169	30.7	120	45	31.5
30	2,703	921	32.6	1,232	391	31.3	42	9	36.4	349	95	26.9	78	33	48.1	97	51	41.9	564	161	28.4	102	42	37.5
31	2,807	851	34.1	1,301	380	31.7	47	10	21.4	370	65	27.2	110	50	42.3	100	42	52.6	582	179	28.5	92	34	41.2
2	2,128	750	35.2	983	349	35.5	33	8	24.2	293	102	34.8	68	25	36.8	68	28	41.2	461	158	34.3	60	28	46.7
3	2,697	971	36.0	1,244	440	35.4	34	5	14.7	330	81	24.5	102	43	42.2	95	28	29.5	585	240	41.0	98	43	43.9

種別 年度	乙種小計			乙種第1類			乙種第2類			乙種第3類			乙種第4類			乙種第5類			乙種第6類			乙種第7類		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
24	1,760	729	40.3	188	48	35.7	33	15	53.1	61	19	40.8	417	181	36.1	46	20	45.2	727	281	34.3	288	165	57.4
25	1,627	561	41.4	163	43	25.5	40	12	45.5	33	3	31.1	330	104	43.4	43	23	43.5	761	236	38.7	257	140	57.3
26	1,852	788	34.5	181	90	26.4	43	22	30.0	43	15	9.1	512	140	31.5	34	14	53.5	753	348	31.0	286	159	54.5
27	1,785	583	42.5	177	53	49.7	34	11	51.2	38	10	34.9	538	164	27.3	25	13	41.2	714	212	46.2	259	120	55.6
28	1,657	575	32.7	182	52	29.9	54	21	32.4	47	13	26.3	415	135	30.5	32	13	52.0	701	227	29.7	226	114	46.3
29	1,528	515	34.7	123	24	28.6	43	10	38.9	46	16	27.7	367	114	32.5	38	15	40.6	722	244	32.4	189	92	50.4
30	1,471	530	33.7	129	40	19.5	34	13	23.3	28	10	34.8	407	99	31.1	44	17	39.5	651	250	33.8	178	101	48.7
31	1,506	471	36.0	132	32	31.0	24	10	38.2	40	9	35.7	357	108	24.3	51	14	38.6	698	209	38.4	204	89	56.7
2	1,145	401	35.0	77	27	35.1	22	13	59.1	21	8	38.1	314	97	30.9	28	9	32.1	551	173	31.4	132	74	56.1
3	1,453	531	36.5	89	33	37.1	25	10	40.0	34	11	32.4	320	100	31.3	41	19	46.3	777	273	35.1	167	85	50.9

第5-8表 消防設備士免状交付状況

区分 年度	合計	甲種							乙種							
		小計	特類	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類	第7類
24	782	287	11	77	36	31	137	18	495	61	14	21	151	15	281	184
25	1,037	310	16	61	35	38	174	35	727	36	11	14	124	28	224	146
26	942	359	9	53	22	31	174	40	583	64	20	7	109	9	287	137
27	962	329	7	82	48	29	149	42	633	57	14	11	153	17	221	131
28	961	357	3	66	37	22	127	21	604	42	13	11	85	11	164	96
29	698	276	10	108	42	39	179	42	422	44	12	16	127	16	273	129
30	1,037	420	8	75	35	41	148	26	617	29	9	9	83	10	197	91
31	761	333	6	75	39	46	174	51	428	41	14	11	122	17	224	89
2	689	315	6	92	33	26	136	22	374	24	10	8	73	11	171	77
3	991	450	14	84	38	38	229	47	541	28	5	8	111	14	283	92

第5-9表 消防設備士講習受講状況

区分 年度	合計	特殊消防用設備等	消火設備	警報設備	避難消火器
24	1,657	12	376	776	493
25	1,681	15	443	722	501
26	1,521	9	384	649	479
27	1,621	20	388	653	560
28	1,685	20	441	728	496
29	1,653	22	364	725	542
30	1,691	22	429	712	528
元	1,468	12	348	647	461
2	1,594	24	413	672	485
3	1,674	22	357	739	556

## 第6 危 險 物 規 制

## 第6 危険物規制

### 1 危険物の規制

消防法では、火災の発生や拡大の危険性が大きい、あるいは消火が困難であるなどの性状を有する物品を危険物として指定している。これら危険物はその性状に応じて第一類から第六類までの6種類に分類されている。

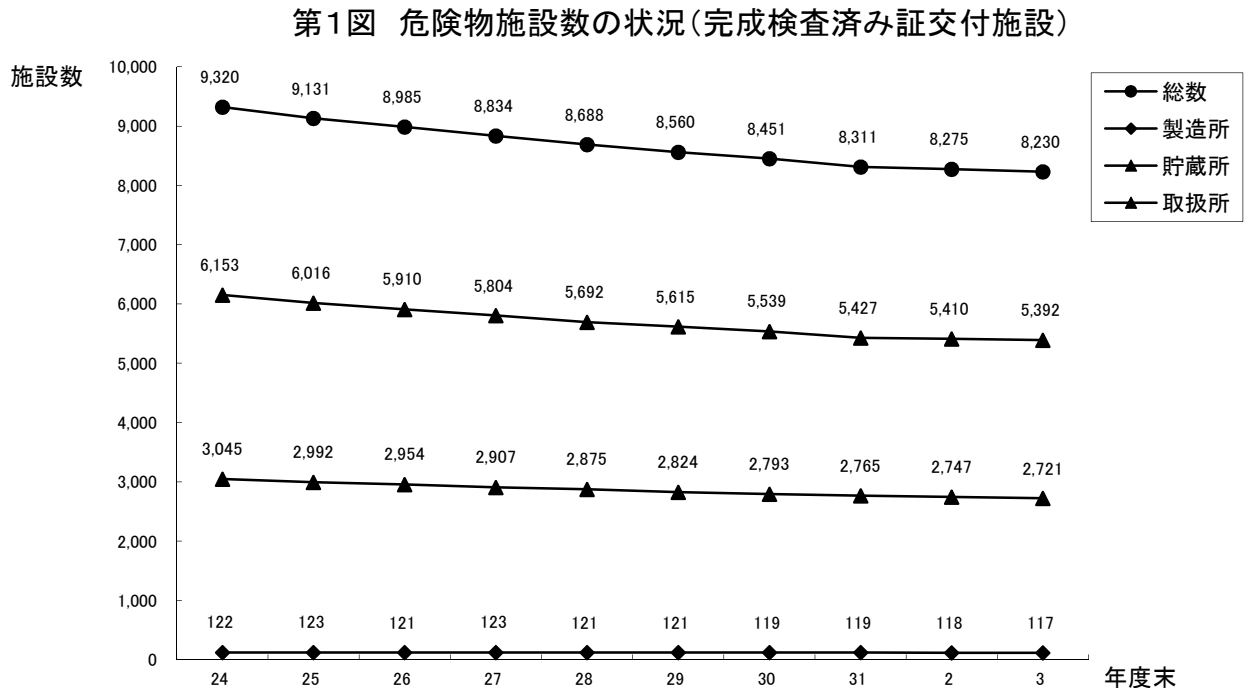
一定数量以上の危険物は、原則として消防法の許可を受けた危険物施設以外の場所で貯蔵し又は取り扱ってはならない。危険物施設は、製造所、貯蔵所、取扱所の3つに大別され、さらに貯蔵所は7つに、取扱所は4つに区分され、法令により位置、構造及び設備の技術上の基準が定められている。

また、危険物施設においては、危険物取扱者またはその立会いのもとでなければ危険物を取り扱ってはならず、法令で定める技術上の基準に従って危険物の貯蔵又は取扱いを行わなければならない。

危険物施設の許認可等の規制事務は、各消防本部（局）で行われている。

### 2 危険物施設

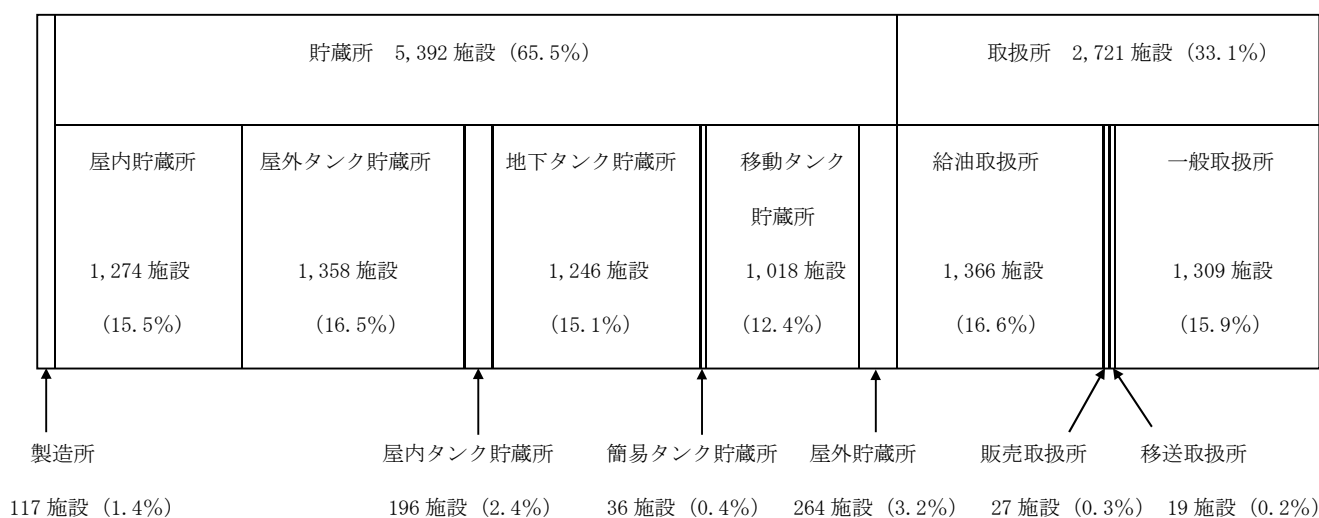
令和4年3月31日現在における県内の危険物施設の総数は8,230施設（完成検査済証交付施設）であり、危険物施設数の状況は第1図のとおり減少傾向で推移している。



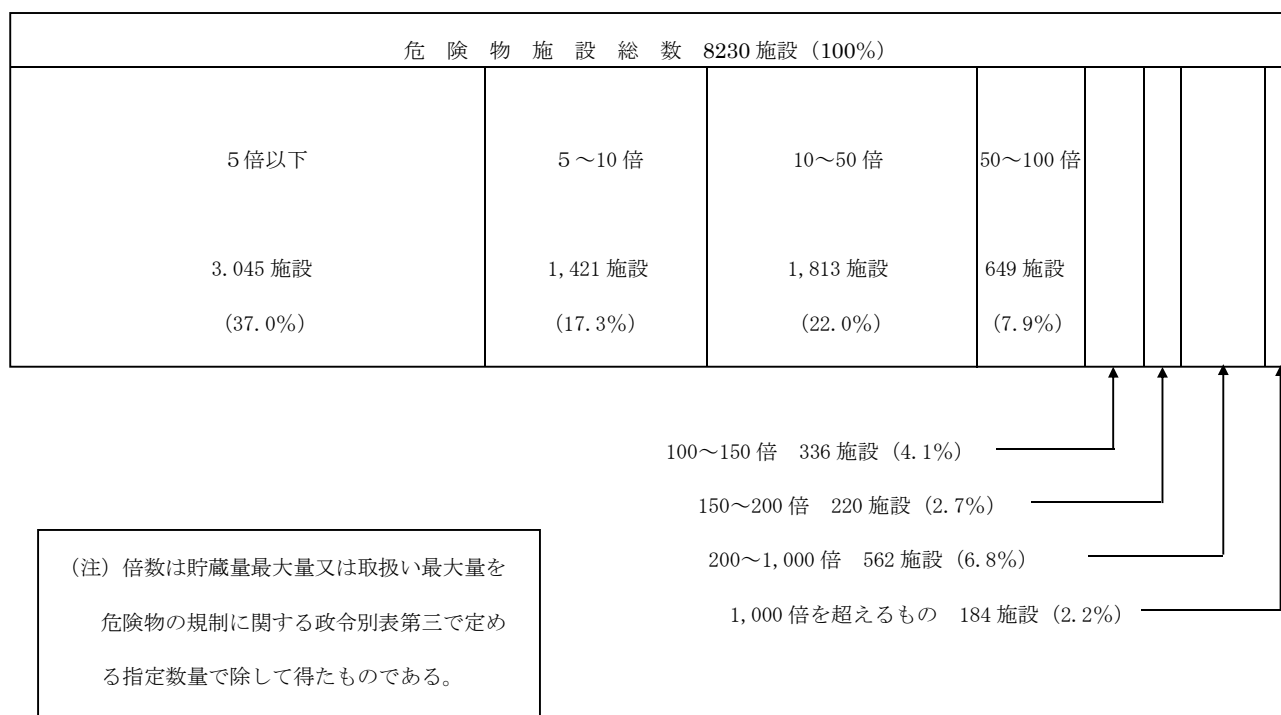
施設の構成を第2図に示す。給油取扱所が1,366施設と最も多く、次いで屋外タンク貯蔵所、一般取扱所の順になっている。

これを施設の規模別にみると、第3図のとおり、指定数量50倍以下の規模のものが全体の3/4を占め、なかでも5倍以下のものが全体の4割弱を占めている。

第2図 危険物施設の施設別状況（完成検査済証交付施設）



第3図 危険物施設の規模別構成比



### 3 危険物事業所

令和4年3月31日現在において、危険物施設が設けられている事業所は3,744カ所となっている。

このうち、消防法で義務づけられた危険物保安統括管理者を要する事業所は7カ所、危険物施設保安員を要する事業所は32カ所、予防規程を要する事業所は933カ所である。(第6-13表参照)

### 4 立入検査

令和3年度に立入検査を実施した施設数は2,145施設(延2,269施設)である。(第6-5表参照)

### 5 危険物施設等における事故

#### (1) 令和3年の状況

令和3年中に発生した危険物施設等の事故件数は40件である。(第6-17表参照)

内訳は施設の破損が19件、漏えいが13件、火災が4件、爆発が0件、その他が4件となっている。

#### (2) 最近の事故の状況

平成24年から令和3年までの最近10年間で危険物施設等の事故は323件発生している。これを施設区分、事故種別で見ると次のとおりである。

##### ア 施設区分

施設毎の事故件数の内訳は給油取扱所が126件(39.0%)を占め、次いで一般取扱所63件(19.5%)となっている。

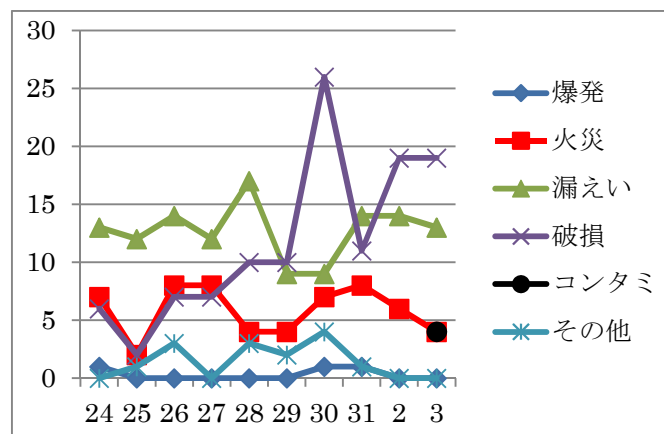
##### イ 事故種別

令和3年から事故種別にコンタミが追加され、事故種別で見ると危険物の漏えい127件(36.2%)、次いで破損117件(36.2%)、火災58件(18.0%)、コンタミ4件(1.2%)、爆発3件(0.9%)、その他14件(4.3%)となっている。

#### (3) 事故件数の推移

平成24年から令和3年までの危険物施設等における事故件数の推移は、第4図のとおりである。

第4図 危険物施設等の事故件数の推移



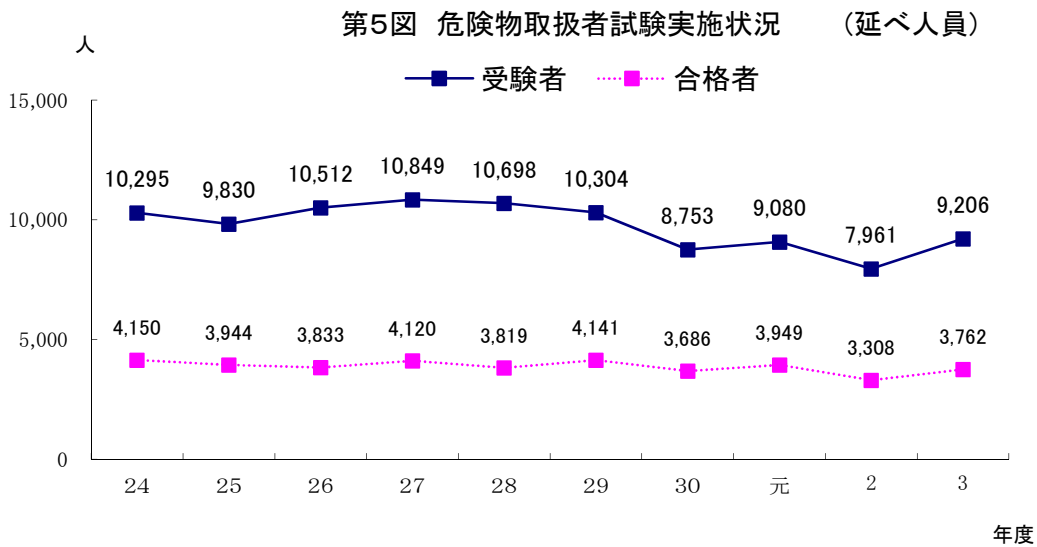
横軸：年  
縦軸：件数

## 6 危険物取扱者試験及び危険物取扱者免状

危険物施設で危険物の取扱を行うことができる危険物取扱者は、甲種、乙種、丙種に区分され、乙種はさらに第1類から第6類に細分されており、それぞれ取り扱える危険物の種類が異なっている。

危険物取扱者試験は、昭和35年以降、毎年県知事が実施していたが、昭和60年度からは（一財）消防試験研究センターに試験の実施を委任している。

試験の実施状況は、第5図のとおりである。令和3年度中の危険物取扱者試験の受験者数は9,206人、合格者は3,762人であり、合格者のうち石油類を取り扱うことができる乙種第4類が58.7%、丙種が7.7%となっている。



## 7 危険物取扱者保安講習

危険物施設で現に危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者は、原則3年度以内ごとに、都道府県知事が行う危険物の取扱作業の保安に関する講習を受けなければならない。

令和3年度は、4,511人が受講した。



第6-1表 危険物施設数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

製造所等の別 年度別	総数	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					
			小計	屋内 貯蔵所	屋外タンク 貯蔵所	屋内タンク 貯蔵所	地下タンク 貯蔵所	簡易タンク 貯蔵所	移動タンク 貯蔵所	屋外 貯蔵所	小計	給油 取扱所	1種販売 取扱所	2種販売 取扱所	移送 取扱所	一般 取扱所
24	9,320	122	6,153	1,366	1,563	261	1,572	40	1,038	313	3,045	1,541	25	10	22	1,447
25	9,131	123	6,016	1,348	1,542	259	1,507	39	1,010	311	2,992	1,511	24	10	23	1,424
26	8,985	121	5,910	1,325	1,518	251	1,467	39	1,000	310	2,954	1,488	24	10	23	1,409
27	8,834	123	5,804	1,315	1,484	242	1,417	39	999	308	2,907	1,461	21	10	24	1,391
28	8,688	121	5,692	1,304	1,442	231	1,369	37	1,029	280	2,875	1,439	21	10	23	1,382
29	8,560	121	5,615	1,297	1,433	227	1,334	36	1,015	273	2,824	1,411	19	11	23	1,360
30	8,451	119	5,539	1,291	1,410	224	1,305	36	1,006	267	2,793	1,397	19	10	23	1,344
31	8,311	119	5,427	1,282	1,384	214	1,271	36	979	261	2,765	1,376	19	10	21	1,339
2	8,275	118	5,410	1,283	1,384	203	1,250	36	992	262	2,747	1,373	20	10	20	1,324
3	8,230	117	5,392	1,274	1,358	196	1,246	36	1,018	264	2,721	1,366	17	10	19	1,309

第6-2表 消防本部別危険物施設数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

製造所等の別 消防本部等の別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所												取 扱 所						事 業 所 数			
			小 計	屋 貯	内 蔵	屋 外			貯 蔵 所			屋 内 貯 蔵 所	地 下 貯 蔵 所	簡 易 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 取	油 取	1種販売 取扱所		2種販売 取扱所	移 送 取扱所	一 般 取扱所
						準 特 定	特 定	特 定	特 定	特 定	特 定													
県 計	8,230	117	5,392	1,274	1,358	73	66	94	52	196	1,246	36	1,018	264	2,721	1,366	17	10	19	1,309	3,702			
消防本部設置市計	5,887	88	3,968	911	1,046	65	58	72	40	148	902	24	759	178	1,831	915	12	6	12	886	2,518			
広島市	2,042	5	1,336	325	117	26	25	4	4	77	430	2	327	58	701	386	5	3	-	307	1,027			
呉市	554	-	345	107	60	2	1	4	2	15	69	6	64	24	209	83	2	1	3	120	307			
三原市	420	6	255	62	52	3	2	-	-	10	79	1	45	6	159	92	1	-	-	66	208			
尾道市	389	3	265	79	52	1	1	-	-	6	53	3	36	36	121	67	2	1	-	51	219			
大竹市	918	47	728	53	486	32	29	33	15	2	19	-	154	14	143	15	-	-	4	124	46			
東広島市	899	12	599	176	158	1	-	8	1	15	162	7	61	20	288	145	1	-	3	139	419			
廿日市市	283	4	196	35	46	-	-	-	-	12	47	3	38	15	83	51	-	1	-	31	139			
安芸高田市	143	-	91	31	10	-	-	-	-	4	30	2	13	1	52	34	-	-	-	18	90			
江田島市	239	11	153	43	65	-	-	23	18	7	13	-	21	4	75	42	1	-	2	30	63			
消防本部設置町計	251	2	171	56	33	-	-	-	-	3	48	-	16	15	78	41	1	-	-	36	107			
府中町	50	-	34	18	3	-	-	-	-	1	12	-	-	-	16	5	1	-	-	10	14			
北広島町	201	2	137	38	30	-	-	-	-	2	36	-	16	15	62	36	-	-	-	26	93			
一部事務組合合計	2,092	27	1,253	307	279	8	8	22	12	45	296	12	243	71	812	410	4	4	7	387	1,077			
備北地区消防組合消防本部	482	1	285	51	48	-	-	-	-	8	106	5	62	5	196	114	1	-	-	81	345			
福山地区消防組合	1,610	26	968	256	231	8	8	22	12	37	190	7	181	66	616	296	3	4	7	306	732			

第6-3表 指定数量別・類別危険物施設数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

区分	製造所等の別	総数	製造所	貯 蔵 所											取 扱 所							
				小計	屋内貯蔵所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所				屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給取扱所	油取扱所	1種販売取扱所	2種販売取扱所	移取扱所	送取扱所	一般取扱所
						準屋外タンク貯蔵所	特定旧タンク	特定旧タンク	特定旧タンク													
総数		8,230	117	5,392	1,274	1,358	73	66	94	52	196	1,246	36	1,018	264	2,721	1,366	17	10	19	1,309	
指定数量別	指定数量の5倍以下	3,045	10	2,322	659	202	-	-	-	-	101	691	36	572	61	713	138	12	-	-	563	
	5倍を超え 10倍以下	1,421	8	974	258	199	-	-	-	-	75	282	-	39	121	439	143	2	-	-	294	
	10 " 50 "	1,813	21	1,047	224	395	-	-	-	-	15	218	-	119	76	745	418	3	10	1	313	
	50 " 100 "	649	20	436	54	149	1	1	-	-	-	27	-	202	4	193	137	-	-	-	56	
	100 " 150 "	336	9	181	36	79	1	1	-	-	-	9	-	57	-	146	132	-	-	-	14	
	150 " 200 "	220	6	54	17	28	5	4	-	-	-	8	-	-	1	160	153	-	-	-	7	
	200 " 1,000 "	562	30	240	19	184	49	43	10	9	-	7	-	29	1	292	244	-	-	1	47	
	1,000 " 5,000 "	114	11	81	7	68	15	15	33	14	4	2	-	-	-	22	1	-	-	8	13	
	5,000 " 10,000 "	21	2	18	-	18	-	-	17	7	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
	10,000倍を超えるもの	49	-	39	-	36	2	2	34	22	1	2	-	-	-	10	-	-	-	8	2	
危険物の種類	第一類	9	-	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	第二類	17	-	14	13	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	3	
	第三類	8	-	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	
	第四類	8,036	89	5,272	1,173	1,342	73	66	94	52	196	1,246	36	1,017	262	2,675	1,366	17	9	19	1,264	
	第五類	28	2	25	23	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	
	第六類	16	-	16	2	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	混在	116	26	50	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	40	-	-	1	-	39	

第6-4表 容量・類別屋外タンク貯蔵所数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

区分	形態	総数	第一類	第二類	第三類											第五類	第六類	
						小計	原油	ナフサ	ガソリン	灯油	軽油	重油	第四石油類	アルコール	水溶性			非水溶性
総数		1,358	-	-	-	1,342	12	1	13	114	66	358	68	89	189	432	2	14
100 <sup>*</sup> 未満		925	-	-	-	910	-	1	3	98	40	267	55	59	110	277	2	13
100 <sup>*</sup> 以上500 <sup>*</sup> 未満		266	-	-	-	265	-	-	5	10	14	60	9	18	56	93	-	1
500〃 1,000〃		73	-	-	-	73	-	-	2	4	7	16	4	1	12	27	-	-
1,000〃 5,000〃		64	-	-	-	64	1	-	2	1	1	7	-	7	11	34	-	-
5,000〃 10,000〃		5	-	-	-	5	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
10,000〃 50,000〃		18	-	-	-	18	4	-	1	1	4	4	-	4	-	-	-	-
50,000〃 100,000〃		7	-	-	-	7	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第6-5表 危険物施設に対する立入検査状況並びに危険物施設及び無許可施設に対する措置命令件数

（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

区分	製造所等の区分	総数	製造所	貯 蔵 所								取 扱 所					
				小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送取扱所	一般取扱所
立入検査	検査施設数	2,145	54	1,231	238	279	42	274	11	352	35	860	560	5	2	3	290
	延回数	2,269	57	1,296	252	284	45	311	11	356	37	916	594	5	2	3	312
命令件数		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第6-6表 形態別危険物規制対象数（完成検査済証交付施設）その1

令和4年3月31日現在

形態区分 貯蔵・ 取扱い危険物	製 造 所	貯 蔵 所																取 扱 所									
		屋 内 貯 蔵 所							屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 貯 蔵 所	タ ン ク 貯 蔵 所		屋 外 貯 蔵 所	一 般 取 扱 所										
		平 屋 建			平 屋 建 以 外	建 築 物 内 設 置	高 層 式	特 定 指 定		高 層 式	過 酸 化 物			I M D G コ ー ド 型	積 載 式		硫 黄 等	吹 付 塗 装	洗 浄	焼 入	ボ イ ラ	充 填	詰 替	油 圧 装 置	切 削 装 置	循 環 装 置	
		高 層 式	特 定	指 定																							
総 数	117	1,274	6	151	1	-	-	27	1,358	196	85	1,246	1,018	71	56	264	-	1,309	47	3	23	231	42	184	45	6	10
高引火点(※)	2	9	1	2	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
アルキルアルミ等(※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※印は内数

第6-7表 形態別危険物規制対象数（完成検査済証交付施設）その2

令和4年3月31日現在

形態区分 建築物区分	給 油 取 扱 所						
	セルフ	航空機	船舶	鉄道等	自 家 用		
					セルフ		
総 数	1,366	256	9	38	10	580	-
屋 内 (※)	70	10	-	-	-	3	-

※印は内数

第6-8表 容量別旧法タンクの新たな基準適合数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

区分	容量別 総 数	500 <sup>kg</sup> 以上 1,000 <sup>kg</sup> 未満	1,000 <sup>kg</sup> 以上10,000 <sup>kg</sup> 未満			10,000 <sup>kg</sup> 以上200,000 <sup>kg</sup> 未満			
			小計	1,000 <sup>kg</sup> 以上 5,000 <sup>kg</sup> 未満	5,000 <sup>kg</sup> 以上 10,000 <sup>kg</sup> 未満	小計	10,000 <sup>kg</sup> 以上 50,000 <sup>kg</sup> 未満	50,000 <sup>kg</sup> 以上 100,000 <sup>kg</sup> 未満	100,000 <sup>kg</sup> 以上 200,000 <sup>kg</sup> 未満
				36	34		2	16	14
旧 タ ン ク	118	66	36	34	2	16	14	2	-
新 基 準 適 合 数 (※)	106	58	32	30	2	16	14	2	-

※印は内数

第6-9表 容量及び形態別の地下貯蔵タンク等の数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

危険物の類別 タンク容量の別	総数	鋼製タンク				鋼製二重殻タンク (SSタンク)			鋼製強化プラスチック製 二重殻タンク(SFタンク)			強化プラスチック製 二重殻タンク(FFタンク)		
		小計	タンク室	直接埋立	漏れ防止	小計	タンク室	直接埋立	小計	タンク室	直接埋立	小計	タンク室	直接埋立
総数	5,212	3,898	455	3,374	69	50	4	46	1,218	49	1,169	46	2	44
1*以下のもの	26	24	3	21	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-
1*を超え10*以下	3,612	3,406	290	3,066	50	5	1	4	193	18	175	8	-	8
10*を超え30*以下	1,169	409	144	247	18	38	-	38	702	24	678	20	2	18
30*を超え50*以下	374	46	15	30	1	7	3	4	303	1	302	18	-	18
50*を超え100*以下	31	13	3	10	-	-	-	-	18	6	12	-	-	-
100*を超えるもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第6-10表 施設別の地下貯蔵タンク等の数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

施設区分 タンク種別	総数	製造所20号タンク				地下タンク貯蔵所				給油取扱所				一般取扱所20号タンク			
		小計	タンク室	直接埋立	漏れ防止	小計	タンク室	直接埋立	漏れ防止	小計	タンク室	直接埋立	漏れ防止	小計	タンク室	直接埋立	漏れ防止
総数	5,212	1	1	-	-	1,338	433	868	37	3,663	72	3,559	32	210	5	205	-
鋼製タンク	3,898	1	1	-	-	1,137	388	712	37	2,650	63	2,555	32	110	4	106	-
鋼製二重殻タンク(SSタンク)	50	-	-	-	-	6	4	2	-	41	-	41	-	3	-	3	-
鋼製強化プラスチック製 二重殻タンク(SFタンク)	1,218	-	-	-	-	188	39	149	-	934	9	925	-	96	1	95	-
強化プラスチック製 二重殻タンク(FFタンク)	46	-	-	-	-	7	2	5	-	38	-	38	-	1	-	1	-

第6-1-1表 容量及び形式別の移動タンク貯蔵所数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

形式別 容量別	総数	単一車形式			被牽引車		
		積載式以外	積載式		積載式以外	積載式	
総数	1,018	859	831	28	159	109	50
2 <sup>キロリットル</sup> 以下のもの	254	254	248	6	-	-	-
2 <sup>キロリットル</sup> を超え4 <sup>キロリットル</sup> 以下	307	304	302	2	3	3	-
4 <sup>キロリットル</sup> を超え14 <sup>キロリットル</sup> 以下	206	198	178	20	8	3	5
14 <sup>キロリットル</sup> を超え20 <sup>キロリットル</sup> 以下	179	102	102	-	77	73	4
20 <sup>キロリットル</sup> を超え25 <sup>キロリットル</sup> 以下	46	-	-	-	46	24	22
25 <sup>キロリットル</sup> を超え30 <sup>キロリットル</sup> 以下	26	1	1	-	25	6	19

第6-1-2表 給油危険物別の給油取扱所数（完成検査済証交付施設）

令和4年3月31日現在

給油危険物の区分 給油取扱所の区分	総数	ガソリン		軽油		ガソリン・軽油		メタノール等		ガソリン・メタノール等		軽油・メタノール等		ガソリン・軽油・メタノール等	
		固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	固定注油設備	
給油取扱所	1,309	604	74	31	396	47	839	526	-	-	-	-	-	-	-
（圧縮天然ガス充填設備）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自家用給油取扱所（※）	580	53	34	-	381	40	165	13	-	-	-	-	-	-	-

※印は内数

第6-1-3表 危険物事業所数

令和4年3月31日現在

事業場 区分	危険物保安統括管理者等を設けなければならない事業所				その他の事業所
	危険物保安統括管理者	危険物施設保安員	予防規定	自衛消防組織	
総数	7	32	933	3	2,769

第6-14表 製造所等の許可, 完成検査及び廃止届等の数

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

区分	製造所等の別		総数	製造所	貯蔵所								取扱所					
	小計	屋外タンク貯蔵所			屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給取扱所	油所	第1種販売取扱所	第2種販売取扱所	移送扱所	一般取扱所		
許可	設置		126	1	88	22	6	4	17	-	35	4	37	10	-	-	1	26
	変更		747	106	173	13	97	-	35	1	27	-	468	194	-	-	4	270
可	常置場所の転出		22	-	22	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-
	転入		60	-	60	-	-	-	-	-	60	-	-	-	-	-	-	-
完成検査	設置		116	-	84	20	5	1	19	-	32	7	32	6	-	-	-	26
	変更		659	89	149	10	81	3	27	1	26	1	421	182	-	-	4	235
	転入		52	-	52	-	-	-	-	-	52	-	-	-	-	-	-	-
廃止届等			199	1	131	25	17	7	31	-	44	7	67	19	2	-	1	45

第6-15表 圧縮アセチレンガス等及び指定可燃物等並びに小量危険物の状況

令和4年3月31日現在

区分	圧縮アセチレンガス等						指定可燃物等							小量危険物	
	圧縮アセチレンガス	無水硫酸	液化石油ガス	生石灰	毒物	劇物	可燃性固体類	石炭・木炭	可燃性液体	合成樹脂類	再生資源燃料	その他	指定可燃物に類する物品	移動タンク	
総数	782	45	12,728	84	44	243	218	94	271	1,060	76	993	38	13,231	1,165



第6-16表 危険物施設等の事故発生件数の推移（施設別）

年	総計	製造所	屋外タンク 貯蔵所	屋内タンク 貯蔵所	地下タンク 貯蔵所	移動タンク 貯蔵所	給油取扱所	移送取扱所	一般取扱所	危険物運搬 車両	少量危険物 施設	無許可施設	非危険物 施設
24	27	8	4	-	2	1	6	-	5	1	-	-	-
25	17	1	2	1	1	2	2	-	5	1	-	-	2
26	32	6	-	2	2	1	12	-	5	-	-	-	4
27	27	5	3	-	1	3	7	-	5	-	-	1	2
28	34	3	2	-	3	1	11	1	9	-	-	-	4
29	25	5	1	-	1	-	12	1	4	-	-	-	1
30	47	5	6	2	3	-	14	-	12	1	-	-	4
31	35	2	2	-	1	1	15	1	10	-	-	-	3
2	39	-	4	1	1	3	21	2	5	-	-	-	2
3	40	3	1	-	1	2	26	-	3	-	-	1	3
計	323	38	25	6	16	14	126	5	63	3	0	2	25

第6-17表 危険物施設等の事故発生件数の推移（事故種別）

年	総計	爆発	火災	漏えい	破損	コンタミ	その他
24	27	1	7	13	6	-	-
25	17	-	2	12	2	-	1
26	32	-	8	14	7	-	3
27	27	-	8	12	7	-	-
28	34	-	4	17	10	-	3
29	25	-	4	9	10	-	2
30	47	1	7	9	26	-	4
31	35	1	8	14	11	-	1
2	39	-	6	14	19	-	-
3	40	-	4	13	19	4	-
計	323	3	58	127	117	4	14

※R3. 1. 1から事故種別に「コンタミ」追加

第6-18表 危険物取扱者試験実施状況

種別 年度	合計			甲種			乙種第1類			乙種第2類			乙種第3類			乙種第4類			乙種第5類			乙種第6類			丙種		
	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率	受験者	合格者	合格率
24	10,295	4,150	39.1	483	150	32.0	363	257	69.6	343	262	71.4	458	324	66.9	7,072	2,225	28.8	447	290	71.3	433	300	68.4	696	342	52.3
25	9,830	3,944	40.3	532	183	31.1	361	260	70.8	402	300	76.4	388	274	70.7	6,762	2,038	31.5	393	281	64.9	362	252	69.3	630	356	49.1
26	10,512	3,833	40.1	451	151	34.4	299	206	72.0	308	212	74.6	409	276	70.6	7,394	2,039	30.1	417	303	71.5	404	254	69.6	830	392	56.5
27	10,849	4,120	36.5	443	139	33.5	368	256	68.9	348	237	68.8	388	292	67.5	7,546	2,199	27.6	385	252	72.7	462	302	62.9	909	443	47.2
28	10,698	3,819	38.0	454	149	31.4	382	242	69.6	345	229	68.1	398	280	75.3	7,548	1,982	29.1	424	296	65.5	402	253	65.4	745	388	48.7
29	10,304	4,141	35.7	384	127	32.8	280	204	63.4	297	205	66.4	346	261	70.4	7,674	2,511	26.3	317	231	69.8	329	222	62.9	677	380	52.1
30	8,753	3,686	42.1	334	140	41.9	254	174	68.5	221	152	68.8	265	169	63.8	6,564	2,353	35.8	309	201	65.0	282	178	63.1	524	319	60.9
元	9,080	3,949	43.5	337	135	40.1	266	189	71.1	256	182	71.1	300	223	74.3	6,633	2,432	36.7	324	246	75.9	294	210	71.4	670	332	49.6
2	7,961	3,308	41.6	304	123	40.5	244	20	8.2	223	163	73.1	279	214	76.7	5,836	2,108	36.1	265	178	67.2	285	211	74.0	525	291	55.4
3	9,206	3,762	40.9	422	158	37.4	287	190	66.2	257	183	71.2	343	246	71.7	6,605	2,208	33.4	393	277	70.5	362	261	72.1	537	239	44.5

第6-19表 危険物取扱者免状交付状況

免状区分 年度	合計	甲種	乙種						丙種	
			小計	第1類	第2類	第3類	第4類	第5類		第6類
24	4,034	146	3,573	249	251	321	2,163	285	304	315
25	3,875	181	3,378	260	302	270	2,009	284	253	316
26	2,930	148	2,478	162	158	220	1,523	229	186	304
27	3,866	137	3,329	206	213	248	2,179	222	261	400
28	3,810	143	3,347	248	226	296	2,016	288	273	320
29	3,810	127	3,451	215	210	259	2,288	269	210	331
30	3,909	132	3,273	182	170	191	2,347	189	194	279
元	3,684	136	3,416	179	179	215	2,412	238	193	279
2	3,254	123	2,893	160	139	170	2,058	170	196	238
3	3,852	151	3,442	212	199	248	2,263	270	250	259

第6-20表 危険物取扱者保安講習受講状況

年度	受講者数
24	4,262
25	4,031
26	4,148
27	4,304
28	4,313
29	4,560
30	5,169
元	4,326
2	4,136
3	4,511

## 第7 保 安 行 政

## 第7 保安行政

火薬類及び高圧ガス・液化石油ガスの製造・販売・貯蔵等の許認可事務を行うとともに、火薬類及び高圧ガスの製造所・貯蔵所等に立入り「製造施設等の維持状況，保安管理体制」の検査，指導を行っている。また，一般高圧ガス販売所に立入り法令の遵守状況について及び液化石油ガス販売所等に立入り「LPガス消費家庭の保安点検状況，保安啓発状況」について検査・指導を行うとともに，（一社）広島県LPガス協会，（一社）広島県火薬類保安協会等産業保安の各種協会と連携し，事業所に対して危害予防啓発を行い，災害の防止と公共の安全の確保に努めている。

平成17年度からは，広島県分権改革推進計画に基づき，火薬類及び高圧ガス関係事務について，免状交付等の一部の事務を除き市町への移譲を進めており，平成20年4月にはすべての市町への移譲が完了した。

産業保安行政の体系については下記のとおりである。

（産業保安行政体系図）



広島県分権改革推進計画に基づく火薬類及び高圧ガス関係事務の移譲の状況については、下記のとおりである。なお、広島市については、火薬類は平成29年4月1日から、高圧ガスは平成30年4月1日から法定移譲されている。

市 町 名	移 譲 時 期
三次市・庄原市	平成17年10月1日
竹原市・東広島市・大崎上島町	平成18年4月1日
広島市・海田町・熊野町・坂町・呉市・尾道市・大竹市・江田島市	平成19年4月1日
安芸高田市	平成19年10月1日
三原市・福山市・府中市・廿日市市・府中町・安芸太田町・北広島町・世羅町・神石高原町	平成20年4月1日

(実際の事務は市町を所管する消防本部(局)が実施。)

## 1 火薬類・猟銃保安

### (1) 火薬類・猟銃等規制の目的

火薬類は爆発や火災等の潜在的危険性を有しているため、「火薬類取締法」に基づき、火薬類の製造、販売、貯蔵、消費を規制し、災害の防止と公共の安全を確保することを目的としている。

また、猟銃等については、「武器等製造法」に基づき、製造、販売等を規制し、公共の安全を確保することを目的としている。

### (2) 火薬類・猟銃等関係事業所の概要

火薬類取締法及び武器等製造法に基づく事業所数及び貯蔵箇所数は第1表及び第2表のとおりである。

第1表 火薬類等関係事業所数

(令和4年3月31日現在)

区 分	種 類 別	事 業 所 数		
		県 所 管	市町所管	計
火 薬 類 製 造	産 業 火 薬 (※)	-	1	2
	煙 火	-	1	1
	計	-	2	3
火 薬 類 販 売	産 業 火 薬 類	-	10	10
	実包及び猟用火薬類	-	5	5
	建設用鋌打銃用空包	-	0	0
	船 舶 用 火 工 品	-	12	12
	煙 火	-	3	3
	競 技 用 紙 雷 管	-	37	37
	計	-	67	67
猟 銃 等 製 造 販 売	製 造 (修 理) 販 売	6	-	6
	製 造 の み	0	-	0
	販 売 の み	3	-	3
	計	9	-	9

(※) 経済産業省所管 1事業所

第2表 火薬類関係貯蔵箇所数

(令和4年3月31日現在)

種 類 別	業 種 別	棟 数
1 級 火 薬 庫	火薬類製造	24
	火薬類販売	25
	建 設	0
	採 石	2
	鉦 業	8
	計	59
3 級 火 薬 庫	火薬類製造	3
	火薬類販売	2
	そ の 他	3
	計	8
水 蓄 火 薬 庫	火薬類製造	1
実 包 火 薬 庫	火薬類販売	2
煙 火 火 薬 庫	火薬類製造	6
	火薬類販売	3
	そ の 他	4
	計	13
合 計		83
火 薬 庫 外 貯 蔵 所	火薬類販売	30
	鉦 業	1
	そ の 他	31
合 計		62

注：事務移譲を行った市町が所管。

(3) 火薬類・猟銃等許認可状況

火薬類取締法及び武器等製造法に基づく令和3年度の許可件数は第3表のとおりである。

第3表 火薬類等関係許可件数

許可区分		許可件数	
火 薬 類	販売営業（火工品）	0	
	譲渡	7	
	譲受（単独）	1. 火工品のみ	15
		2. 1.以外の25kg以下	1
		3. 1.及び2.以外	6
		計	22
	譲受・消費	1. 火工品のみ	11
		2. 1.以外の25kg以下	2
		3. 1.及び2.以外	50
		計	63
	消費	2	
	その他の許可	製造施設変更	0
		火薬庫設置	0
		火薬庫変更	7
		煙火消費	96
火薬類販売		0	
廃棄		2	
輸入		0	
危害予防規程		0	
計	105		
武器等	猟銃等製造	0	
	猟銃等販売	0	
	合計	0	

注：「火薬類」は、事務移譲を行った市町が実施。

(4) 火薬類免状交付状況

火薬類取締法に基づく令和3年度の免状交付件数は第4表のとおりである。

第4表 火薬類取扱保安責任者免状交付件数

免状交付数	免状再交付数	計
81	5	86

(5) 火薬類・猟銃等保安対策

火薬類並びに猟銃等による災害防止と盗難防止を図るため、火薬庫の保安検査（完成検査含む）並びに販売所・消費場所等の立入検査及び猟銃等の立入検査を行った。令和3年度の実施件数は第5表のとおりである。

第5表 火薬類・猟銃等 保安・立入検査実施件数

	消費場所	火薬庫	火薬庫外貯蔵所	販売所・製造所	計
火薬類（保安検査）	-	30	-	2	32
火薬類（立入検査）	54	86	42	24	206
猟銃等	-	-	-	9	9

注：「火薬類」は、事務移譲を行った市町が実施

(6) 火薬類事故発生件数

令和3年の火薬類事故発生件数は1件である。

近年の事故発生状況は第6表のとおり、年間0~4件の間で推移している。

第6表 火薬類事故発生件数

年別	24	25	26	27	28	29	30	31	2	3
火薬類事故件数	0	2	3	4	1	1	1	0	0	1
産業火薬	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1
煙火	0	0	3	1	0	1	1	0	0	0
その他	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0



## 2 高圧ガス保安

### (1) 高圧ガス規制の目的

高圧ガス保安法は、爆発や火災等の危険性を有している高圧ガスの製造、販売、貯蔵、移動、消費等を規制するとともに、事業者等による高圧ガスの保安に関する自主的な活動を促進し、災害の防止と公共の安全を確保することを目的としている。

また、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）は生活の用に供する液化石油ガスの販売等を規制することにより、液化石油ガスによる災害の防止と取引の適正化を図ることを目的としている。

### (2) 高圧ガス関係事業所（令和4年3月31日現在）

高圧ガス保安法及び液化石油ガス法に基づく製造、販売、貯蔵、消費等の許可・届出等事業所は第7表及び第8表のとおりである。

第7表 高圧ガス関係事業所（高圧ガス保安法関係）

種 別	ガスの種類の別	許可・届出	事業所数		
			県	市町	合計
第一種製造事業所 (法第5条第1項)	特定	許可	8	-	8
	一般		-	173	173
	LP		-	74	74
	一般・LP兼業		-	17	17
	冷凍		-	73	73
	計		8	337	345
第二種製造事業所 (法第5条第2項) ※在宅酸素を除く。	一般	届出	-	476	476
	LP		-	5	5
	一般・LP兼業		-	3	3
	冷凍		-	1,493	1,493
	計		-	1,977	1,977
販売所 (法第20条の4)	一般	届出	-	1,559	1,559
	LP		-	405	405
	一般・LP兼業		-	131	131
	冷凍		-	174	174
	計		-	2,269	2,269
第一種貯蔵所 (法第16条)	一般	許可	-	60	60
	LP		-	48	48
	一般・LP兼業		-	27	27
	計		-	135	135
第二種貯蔵所 (法第17条の2)	一般	届出	-	242	242
	LP		-	34	34
	一般・LP兼業		-	46	46
	計		-	322	322
特定高圧ガス 消費事業所 (法第24条の2)	一般	届出	-	150	150
	LP		-	61	61
	一般・LP兼業		-	5	5
	計		-	216	216
容器検査所（法第49条第1項）		登録	32	14	46
合 計			40	5,270	5,310

第8表 液化石油ガス関係事業所（液化石油ガス法関係）

事業所区分	登録・認定等	事業所数
液化石油ガス販売事業者	登録	332
液化石油ガス販売事業所		373
認定販売事業者	認定	23
保安機関		377
充てん設備（バルクローリー）	許可	21
特定供給設備		30

(3) 高圧ガス関係（高圧ガス保安法，液化石油ガス法）許可・届出等件数

令和3年度における許可・届出等件数は第9表及び第10表のとおりである。

第9表 高圧ガス関係許可件数  
（高圧ガス保安法関係）

種別	区分	件数		
		県	市町	計
製造許可	特定	0	-	0
	一般	-	3	3
	LP	-	2	2
	冷凍	-	0	0
貯蔵所許可		-	2	2
製造変更許可	特定	25	-	25
	一般	-	35	35
	LP	-	19	19
	冷凍	-	4	4
貯蔵所変更許可		-	2	2

第10表 液化石油ガス関係許可等件数  
（液化石油ガス法関係）

事業所等区分	件数
液化石油ガス販売事業の登録	4
保安機関の認定	1
保安機関の更新認定	11
一般消費者等の数の増加の認可	2
液化石油ガス販売事業者の認定	5
充てん設備の許可	2
充てん設備の変更許可	1
貯蔵施設，特定供給設備の許可	1
貯蔵施設，特定供給設備の変更許可	1

(4) 免状の交付

令和3年度の高圧ガス製造保安責任者免状，高圧ガス販売主任者免状及び液化石油ガス設備士免状の交付件数及び交付累計は第11表のとおりである。

第11表 免状交付件数

種類	区分	免状交付	免状再交付	合計
乙種化学		19	0	19
乙種機械		81	0	81
丙種化学（液化石油ガス）		37	5	42
丙種化学（特別試験科目）		45	2	47
第2種冷凍		27	0	27
第3種冷凍		85	2	87
第1種販売		47	1	48
第2種販売		107	4	111
液化石油ガス設備士		73	7	80
合計		521	21	542

(5) 立入検査等

ア 高圧ガス保安法及び液化石油ガス法に基づく許可を受けた事業者は、完成検査に合格した後でなければ施設を使用してはならないこととされており、これらの規定に基づく完成検査を適宜行っている。

イ 高圧ガス保安法の第一種製造事業所及び液化石油ガス法の充てん設備について、製造のための施設の位置、構造及び設備に係る基準適合状況について検査するために、定期的に保安検査を行っている。

ウ 高圧ガスの輸入をした者は、輸入検査に合格した後でなければ移動してはならないこととされており、これらの規定に基づく輸入検査を適宜行っている。

エ 災害の発生の防止のため、製造事業所、貯蔵所、消費事業所、販売店等に定期的に立入検査を行い、関係帳簿等を検査している。また、高圧ガス移動車両について、関係機関と合同で毎年路上検査を行っている。令和3年度に実施した保安検査等実施件数は第12表及び第13表のとおりである。

第12表 高圧ガス保安法に基づく保安検査・立入検査等実施状況（令和3年度）

	保安検査	完成検査	輸入検査	立入検査	計
県	7	18	-	13	38
市町	33	64	29	772	898
計	40	82	29	785	936

第13表 液化石油ガス法に基づく保安検査・立入検査等実施状況（令和3年度）

保安検査	完成検査	立入検査	計
11	6	102	119

(6) 各種講習会の実施状況

高圧ガス保安法及び液化石油ガス法に基づく関係基準の徹底と自主保安の推進による事故防止対策の徹底を図るため、各種講習会を毎年実施している。令和3年度の実施状況は第14表のとおりである。

第14表 講習会実施状況

対象	日時	場所
液化石油ガス販売店, 保安機関	-	(WEB開催)
製造事業所(冷凍)	10月8日	広島県情報プラザ(広島市)
製造事業所(冷凍以外)	-	-

(7) 高圧ガス事故の発生状況

ア 高圧ガス保安法関係

全国の事故は、令和3年は585件（喪失・盗難41件を除く。）発生しており、依然高止まりの状況が続いている。県内でも同様の傾向にあり、令和3年は6件発生した。

第15表 県内の高圧ガス保安法関係事故発生状況

年		H29	H30	H31	R2	R3
製造事業所	冷凍	5	1	4	1	4
	コンビナート	0	4	1	1	0
	LP・一般	3	2	1	3	0
	小計	8	7	6	5	4
移動		0	1	0	1	0
消費		4	2	3	2	2
その他		1	2	1	1	0
合計		13	12	10	9	6
死亡(名)		0	0	0	0	0
負傷者(名)		2	0	2	3	1

イ 液化石油ガス法関係

令和3年の全国での事故（喪失・盗難を除く）は212件で、令和2年に比べて14件増加した。県内では年間3～12件の間で推移しており、令和3年は6件発生した。

第16表 液化石油ガス法関係事故発生状況

年	H29	H30	H31	R2	R3
件数	3	6	4	12	6
死亡(名)	0	0	0	0	0
負傷者(名)	1	3	0	1	0

# 第 8 教 育 訓 練

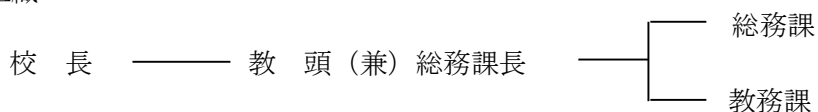
## 第 8 教育訓練

### 1 広島県消防学校の沿革

- 昭和 18 年 7 月 広島市加古町に消防訓練所（警察部内）を設置
- 昭和 23 年 4 月 広島県警察部から独立し、広島市霞町に消防学校を設置
- 昭和 34 年 10 月 広島市西区観音新町四丁目に校舎を建設し移転
- 昭和 57 年 4 月 現在地（広島市安佐北区倉掛二丁目）に校舎を建設し移転

### 2 組織及び職員数（令和 4 年 4 月 1 日現在）

#### (1) 組織



#### (2) 職員数

（単位：人）

区 分	校長	教頭	課長	主任教諭	教諭	主査	主任 (エルダール)	舎監	計
総務課	1	1				2	1		5
教務課			1 (1)	3	7 (7)			2	13 (8)
計	1	1	1 (1)	3	7 (7)	2	1	2	18 (8)

※（ ）は県内消防本部からの派遣職員数で内数

### 3 施設の概要

- (1) 土地 36,879.00 m<sup>2</sup>（平地部 29,276.00 m<sup>2</sup>，法面 7,603.00 m<sup>2</sup>）
- (2) 建物等 7,271.31 m<sup>2</sup>
  - 本 館（2 階建） 延 2,222.50 m<sup>2</sup>
  - 学 生 寮（3 階建 23 室 収容可能人数 136 人） 延 2,074.59 m<sup>2</sup>
  - 屋内訓練場（平屋一部 2 階建） 延 1,043.51 m<sup>2</sup>
  - 訓 練 塔（地上 8 階地下 1 階） 延 756.00 m<sup>2</sup>
  - 実践的消火訓練施設（地上 4 階） 延 571.46 m<sup>2</sup>
  - 車庫，その他 延 603.25 m<sup>2</sup>
  - 屋外訓練場（グラウンド） 12,600.00 m<sup>2</sup>
  - 水難救助訓練施設（プール） 12m×25m 深さ 1.1~5.0m（約 900m<sup>3</sup>）
  - ガレキ救助訓練施設 使用面積 300.00 m<sup>2</sup>

#### 4 教育訓練の概要

##### (1) 教育訓練の基本方針

社会情勢の変化や技術の発展に的確に対応するために、住民から期待される水準を満たす消防に係る知識及び技能の効率的かつ効果的な修得を図り、もって適切公正、安全かつ能率的に業務を遂行できるよう、消防職員及び消防団員の資質を高めることを教育基本方針とする。

##### (2) 教育訓練の内容

###### ア 教育訓練の種類

消防職員等に対する教育訓練の種類は、次表のとおりである。

教育訓練の種類	内 容
初 任 教 育	新たに採用した消防職員のすべてに対して行う基礎的教育訓練
基 礎 教 育	任用後経験期間の短い消防団員に対して行う基礎的教育訓練
専 科 教 育	現任の消防職員及び主として基礎教育を修了した消防団員に対して行う特定の分野に関する専門的教育訓練
幹 部 教 育	幹部及び幹部昇進予定者に対して行う消防幹部として一般的に必要な教育訓練
特 別 教 育	上記の教育訓練以外で、特別の目的のために実施する教育訓練

###### イ 消防職員に対する教育訓練の内容

令和3年度中における消防職員に対する教育訓練の課程及びその内容は、次表のとおりである。

区 分	内 容	
初 任 教 育	新たに採用された消防職員及びこれに準ずる職員に対し、消防の使命と責務を認識させるとともに、消防に関する基礎的な知識・技術を修得させる。	
専 科 教 育	救 急 科	救急隊員の資格を取得させるとともに、さらに高度な応急処置等に必要の専門的な知識・技術を修得させる。
	救 助 科	救助技術に関する知識・技術を修得させるとともに、旺盛な士気と強靱な体力を養成する。
	危 険 物 科	危険物の性質、危険物規制等に関する知識・技術を修得させるとともに、予防技術検定（危険物）の受検資格を取得させる。
	特 殊 災 害 科	特殊物質に係る専門的知識、災害の態様に応じた消防活動要領、災害現場における適切・効果的な消防戦術の指揮技術等を修得させる。
教 育 部	中 級 幹 部 科	中級幹部（主として消防司令級）としての責務、事務管理・指導能力等に関する知識・技術を修得させる。

特別教育	救急救命士教育	<p>【スキルアップコース】 救急救命士の再教育の一環として、県MC協議会が策定した「プロトコル」の内容等を総合的に理解させ、救急救命士としての知識・技術の向上を図る。</p> <p>【リーダーシップコース】 救急業務の指導者としての立場から、救急隊員教育のために必要な各種教育を企画・運営する能力を修得させる。</p>
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	救急現場において、気道確保法としてのビデオ硬性挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管法を的確かつ安全に施行でき、事故発生時に適切に対処できる技術を修得させる。
	多数傷病者訓練指導者養成コース	大規模な事故や災害に伴う多数傷病者発生時の適切な対処に備え、多数傷病者訓練を円滑に実施するための指導員を養成する。
	JPTEC インストラクターコース	JPTEC プロバイダーコースで学んだ知識、技術を有することを前提に、病院前救急医療の概念を理解し、指導に関する知識、技術を習得した指導者を育成する。

ウ 消防団員に対する教育訓練の内容

令和3年度中における消防団員に対する教育訓練の課程及びその内容は、次表のとおりである。

区 分		内 容
教専育科	機 関 科	消防用車両等の運行及び消防ポンプの運用に関する知識・技術を修得させる。
幹部教育	上 級 幹 部 科	上級幹部（団長，副団長級）としての責務，事務管理・指導能力等に関する知識・技術を修得させる。
	指 揮 幹 部 科 (分団指揮課程)	分団本部等で指揮を行うために必要な知識・技術を修得させる。
	指 揮 幹 部 科 (現場指揮課程)	消火・救助・避難誘導・災害情報の収集伝達等の現場指揮者として必要な知識・技術を修得させる。
特別教育	訓練指導員科 (県訓練指導員)	消防団員の防災技術の向上を図るため，教育訓練の指導に必要な知識・技術を修得させる。
	訓練指導員科 (市町訓練指導員)	消防団員に係る訓練礼式及びポンプ操法の指導者として必要な知識・技術を修得させる。
	一 日 入 校	訓練礼式，消防操法等，消防団員に必要な知識・技術を修得させる。

5 教育訓練の実施状況

令和3年度中における消防職員の教育訓練実績は第1表，消防団員の教育訓練実績は第2表のとおりである。



第1表 令和3年度消防本部別入校実績表

(単位:人)

教育種別 本部名	初 任 教 育 (第107期)	専科教育					幹部 教育 中 級 幹 部 科 (第11期)	特別教育					合 計
		救 急 科 (第46期)		救 助 科 (第45期)	危 険 物 科 (第8期)	特 殊 災 害 科 (第7期)		救 急 教 育 士 育 ス キ ル ア ッ プ コ ー ス	リ ー ダ ー シ ッ プ コ ー ス	ビ デ オ 硬 性 挿 管 用 喉 頭 鏡 講 習	多 数 傷 病 者 訓 練 指 導 者 養 成 コ ー ス	J P T E C イ ン ス ト ラ ク タ ー コ ー ス	
広島市消防局	35	18	24	16				16	8	4		8	129
呉市消防局	17	12	13	6	2	2	2	2	2	2	1		61
三原市消防本部	5	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2		23
尾道市消防局	6	4	3	3	2	4	1	2	2	3	2	1	33
大竹市消防本部	2	2		1	1	2	1	1					10
東広島市消防局	11	4	5	4	2	3	3	1	1	2	2		38
廿日市市消防本部	2	1	1	3	2	2	2	2	3	2	2		22
安芸高田市消防本部	3	2		2		2		1	2	1		1	14
江田島市消防本部	3	2		2		1			1		1		10
府中町消防本部						1	1	1					3
北広島町消防本部	3	3		1	1	1	1	1	1	1	1		14
備北地区消防組合消防本部	7	3	3	4	2	2	2	2	2	2	2	1	32
福山地区消防組合消防局	8	6	6	15	1	5	3	3	3	3	3	2	58
島根県隠岐広域連合消防本部			1										1
愛媛県							2						2
合 計	102	59	58	59	15	26	19	34	27	22	16	13	450

第2表 令和3年度消防団員市町別教育訓練実績表

(単位:人)

市町名	機関科	上級幹部科	指揮幹部科		訓練指導員科 (県指導員)	訓練指導員科 (市町指導員)	一日入校	合計
			分団指揮課程	現場指揮課程				
1 広島市	コロナウイルス感染症対策のため中止	2	コロナウイルス感染症対策のため中止		9	12	48	71
2 呉市		3			6	10	12	31
3 竹原市		2			2			4
4 三原市		2			5	2		9
5 尾道市		2			8	7	34	51
6 福山市		1			8			9
7 府中市		2			4	14	28	48
8 三次市					9	8	27	44
9 庄原市		4			9	3		16
10 大竹市		2			2			4
11 東広島市		2			6	5		13
12 廿日市市					4	3	2	9
13 安芸高田市		3			6			9
14 江田島市					4	4		8
15 府中町					1			1
16 海田町					1	2		3
17 熊野町					1	4		5
18 坂町		2						2
19 安芸太田町		1			3			4
20 北広島町		2			3	3		8
21 大崎上島町					2			2
22 世羅町					3	3		6
23 神石高原町					4	13		17
合計		30			100	93	151	374

## 第9 火 災 概 況

## 火災概況の見かた

この概況は、消防組織法第40条に基づく「火災報告取扱要領（平成6年4月21日付け消防災第100号）」により、市町から報告された令和3年1月から12月までの火災報告をもとに作成したものである。

### 1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し、若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの又は人の意図に反して発生し、若しくは拡大した爆発現象をいう。

### 2 対 象

対象は、広島県内において発生したすべての火災とする。

### 3 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。火災が2種以上にわたった場合は、焼き損害額の大きなものの種別による。

#### (1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

「建物」とは、土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物に設けた事務所、店舗、興行場、倉庫その他これらに類する施設をいい、貯蔵槽その他これに類する施設を除く。

「収容物」とは、原則として柱、壁等の区画の中心線で囲まれた部分に収容されている物をいう。

#### (2) 林野火災

森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

#### (3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

#### (4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

#### (5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

#### (6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。

#### 4 爆 発

人の意図に反して発生し又は拡大した爆発現象をいう。

#### 5 焼損の程度

建物一棟の焼損程度の区分基準は、次のとおりである。

##### (1) 全 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

##### (2) 半 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

##### (3) 部 分 焼

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の20%未満のものでぼやに該当しないものをいう。

##### (4) ぼ や

建物の焼き損害額が火災前建物評価額の10%未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前建物評価額の10%未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの又は収容物のみ焼損したものをいう。

#### 6 建物の焼損面積

##### (1) 焼損床面積

建物の焼損が立体的に及んだ場合は、焼損したことによって機能が失われた部分の床面積を平方メートルで表す。

##### (2) 焼損表面積

建物の焼損が部分的である場合は、内壁、天井、床板等部分的なものを平方メートルで表す。

#### 7 り災世帯

り災世帯は、次のとおり区分する。

##### (1) 全 損

建物（収容物を含む。以下この項において同じ。）の火災損害額がり災前建物評価額の70%以上のものをいう。

##### (2) 半 損

建物の火災損害額がり災前建物評価額の20%以上で、全損に該当しないものをいう。

##### (3) 小 損

建物の火災損害額がり災前建物評価額の20%未満のものをいう。

8 死 者

火災現場において火災に直接起因して死亡した者（病死者を除く。）又は火災により負傷した後 48 時間以内に死亡した者。

9 そ の 他

(1) 全国数値は、「令和 3 年版 消防白書」による確定数である。

(2) 第 1 表と第 6 表の損害額は集計方法が異なる。

区 分	第 1 表	附 表 第 1
建 物	建物火災による損害額 + 建物火災（爆発）による損害額	建物火災による損害額
林 野	林野火災による損害額 + 林野火災（爆発）による損害額	林野火災による損害額
車 両	車両火災による損害額 + 車両火災（爆発）による損害額	車両火災による損害額
船 舶	船舶火災による損害額 + 船舶火災（爆発）による損害額	船舶火災による損害額
航空機	航空機火災による損害額 + 航空機火災（爆発）による損害額	航空機火災による損害額
その 他	その他の火災による損害額 + その他の火災（爆発）による損害額	その他の火災による損害額
爆 発		建物，林野，車両，船舶，航空機， その他の火災（爆発）による損害額

(3) 市町別火災発生状況の集計は，令和 3 年中にある行政区域で行った。

## 第9 火災概況

### 1 火災概況

令和3年中における広島県内の火災概況は、第1表のとおりである。737件の火災が発生し、損害額18億550万3千円、死者33人、負傷者110人、焼損棟数656棟、建物焼損床面積22,199㎡、建物焼損表面積3,411㎡、林野火災面積856a、り災世帯数428世帯で、出火率は2.6であった。

第1表 令和3年の火災と前年比較

区分	単位	令和3年	令和2年	増減	増減率	全 国		
		A	B	A-B	$\frac{(A-B)}{B} \times 100$	令和3年	増減	増減率
出火件数	件	737	736	1	0.1	35,222	531	1.5
建物	〃	404	394	10	2.5	19,549	184	1.0
林野	〃	43	57	△14	△24.6	1,227	△12	△1.0
車両	〃	76	69	7	10.1	3,512	46	1.3
船舶	〃	1	4	△3	△75.0	63	△15	△19.2
航空機	〃	0	0	0	0	0	0	0
その他	〃	213	212	1	0.5	10,871	328	3.1
焼損棟数	棟	656	621	35	5.6	28,448	972	3.5
全焼	〃	159	173	△14	△8.1	6,481	211	3.4
半焼	〃	35	34	1	2.9	1,457	43	3.0
部分焼	〃	195	170	25	14.7	7,231	113	1.6
ぼや	〃	267	244	23	9.4	13,279	605	4.8
建物焼損床面積	㎡	22,199	26,049	△3,850	△14.8	992,353	△22,700	△2.2
建物焼損表面積	〃	3,411	1,581	1,830	115.7	120,480	11,887	10.9
林野焼損面積	a	856	702	154	21.9	78,947	34,062	75.9
死者	人	33	30	3	10.0	1,417	91	6.9
負傷者	〃	110	143	△33	△23.1	5,433	△150	△2.7
り災世帯数	棟	428	420	8	1.9	17,844	△87	△0.5
全損	〃	109	122	△13	△10.7	3,932	△12	△0.3
半損	〃	12	14	△2	△14.3	1,016	△57	△5.3
小損	〃	307	284	23	8.1	12,896	△18	△0.1
損害額	千円	1,805,503	1,304,843	500,660	38.4	104,212,628	473,238	0.5
建物	〃	1,703,575	1,240,596	462,979	37.3	97,986,697	608,420	0.6
林野	〃	392	394	△2	△0.5	176,415	△25,058	△12.4
車両	〃	76,175	43,852	32,323	73.7	2,607,262	472,834	22.2
船舶	〃	100	3,776	△3,676	△97.4	687,155	274,448	66.5
航空機	〃	0	0	0	0	0	0	0
その他	〃	25,261	11,759	13,502	114.8	2,755,099	△857,406	△23.7
出火率 (人口1万人当たり)	—	2.6	2.6	0	0	2.8	0.1	3.7

### 2 出火件数

出火件数を火災種類別にみると、全火災に対する構成比は第2表のとおりである。建物火災が全火災の54.8%で全体の半数以上を占めている。

第2表 火災種類別出火件数の構成割合

区分	年	令和3年		令和2年		全国(令和3年)	
		件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)
建物火災		404	54.8	394	53.5	19,549	55.5
住宅		179	24.2	165	22.4	7,242	20.6
共同住宅		57	7.7	66	9.0	3,334	9.5
複合用途(特定)		18	2.4	21	2.9	1,784	5.1
倉庫		10	1.6	12	1.6	461	1.3
工場		32	4.3	38	5.2	1,639	4.7
複合用途(非特定)		15	2.0	12	1.6	694	2.0
併用住宅		7	0.9	9	1.2	360	1.0
飲食店		11	1.5	2	0.3	453	1.2
物品店舗		6	0.8	5	0.7	235	0.6
その他		69	9.4	64	8.7	3,347	9.5
林野火災		43	5.8	57	7.7	1,227	3.5
車両火災		76	10.3	69	9.4	3,512	9.9
船舶火災		1	0.1	4	0.5	63	0.2
航空機火災		0	0	0	0	0	0
その他火災		213	28.9	212	28.9	10,871	30.9
合計		737	100	736	100	35,222	100

### 3 出火原因

火災原因別出火件数は、第3表のとおりである。



第3表 出火原因別出火件数

広島県						全国					
令和3年			令和2年			令和3年			令和2年		
原因	件数	構成比	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比	原因	件数	構成比
たき火	120	16.3%	たき火	150	20.4%	たばこ	3,042	8.6%	たばこ	3,104	8.9%
たばこ	65	8.8%	たばこ	83	11.3%	たき火	2,764	7.8%	たき火	2,824	8.1%
こんろ	52	7.1%	こんろ	50	6.8%	こんろ	2,678	7.6%	こんろ	2,792	8.0%
放火	46	6.2%	火入れ	37	5.0%	放火	2,333	6.6%	放火	2,497	7.2%
火入れ	30	4.1%	放火	37	5.0%	電気機器	1,816	5.2%	火入れ	1,684	4.6%
電灯電話等の配線	28	3.8%	電灯電話等の配線	24	3.3%	火入れ	1,640	4.7%	電気機器	1,611	4.6%
ストーブ	25	3.4%	配線器具	22	3.0%	放火の疑い	1,555	4.4%	放火の疑い	1,555	4.5%
排気管	23	3.1%	電気機器	20	2.7%	電灯電話等の配線	1,473	4.2%	電灯電話等の配線	1,398	4.0%
配線器具	23	3.1%	放火の疑い	19	2.6%	配線器具	1,354	3.8%	配線器具	1,206	3.5%
電気機器	22	3.0%	排気管	17	2.3%	ストーブ	1,091	3.1%	ストーブ	1,076	3.1%
その他(不明調査中含む)	303	41.1%	その他(不明調査中含む)	277	37.6%	その他(不明調査中含む)	15,476	44.0%	その他(不明調査中含む)	14,944	43.1%
計	737	100.0%	計	736	100.0%	計	35,222	100.0%	計	34,691	100.0%

4 死者・負傷者

火災による死者の火災種類別及び死因別の区分は、第4表のとおりである。

第4表 火災による死傷者数の推移

(令和3年中)

火災	死因 一酸化炭素中毒	火傷	打骨折撲等	自殺	その他	不明	計	火災種類別構成比
建物	15	10		3	1	2	31	90.4%
林野								
車両						1	1	3.3%
船舶								
航空機								
その他				1			1	3.3%
計	15	10		4	1	3	33	100.0%
死因別構成比	45.5%	30.3%		12.1%	3.0%	9.1%	100.0%	

火災による死者の死に至った経過及び死者の年齢については、第5表のとおりである。

死に至った経過では、逃げ遅れが原因の者が6人で、死者全体の18.2%を占めている。

死者の年齢については、61歳以上による死者が26人と全体の78.8%を占める。

第5表 経過別・年齢別死者の状況

(令和3年中)

区分	死者の発生した経過		年 齢											計		
	経過別	理由別	0 ~ 5	6 ~ 10	11 ~ 20	21 ~ 30	31 ~ 40	41 ~ 50	51 ~ 60	61 ~ 70	71 ~ 80	81 ~	不 明			
殺人・自損行為による死者へ心中の道づれ巻添を含むV以外の死者	A 発見が遅れ、気づいた時は火煙が回りすでに逃げ道がなかったと思われるもの(全く気づかなかった場合を含む)。	(発見が遅れた理由) 熟睡									3	1		4	6	
		泥酔														
		病気・身体不自由							1			1				2
		その他														
	B 判断力に欠けあるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	(判断力・体力的条件の要素) 5歳以下の乳幼児														3
		泥酔														
		病気・身体不自由									1	1			2	
		老衰														
	C 延焼拡大が早かった等のため、ほとんど避難できなかったと思われるもの。	(逃げる暇がなかった理由) ガス爆発のため														
		危険物燃焼のため														
		その他														
	D 逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの。	(逃げる機会を失った理由) 狼狽して														2
		持出品・服装に気を取られ														
		火災に触れ回っているうちに														
		消火しようとして										2			2	
	E 避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中、火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む)。	(逃げ切れなかった理由) 身体不自由のため											3		3	6
		延焼拡大が早く											1		1	
		逃げ道を間違えて														
		出入口施錠のため														
F 一旦屋外避難後再進入したと思われるもの。 G 出火時屋外にいて出火後進入したと思われるもの。	(進入した理由) 救助・物品搬出のため															
	消火のため															
	その他															
H 着衣着火、火傷(熱傷)あるいはガス中毒により死亡したと思われるもの。	(着衣着火時の状況) 喫煙中														1	
	炊事中															
	探暖中(たき火を除く)															
	たき火中															
	火あそび中															
	その他火気取扱中															
殺人・自損	その他										1			1		
	I 放火自殺(心中の道づれを含む)			1				1		1	1			4	4	
	J 放火自殺の巻添者(心中の道づれを除く)															
	K 放火殺人の犠牲者															
その他	L A~K以外の経過等														11	
	M 不明 N 調査中				1			1	2	2	2	3		11		
計				1	1			2	3	4	13	9	0	33	33	

## 5 令和3年中の火災の特色

過去10年間の出火件数と出火率（人口1万人当たり）の推移は、第6表のとおりである。

また、「放火」及び「放火の疑い」による火災発生への推移は、第7表のとおりである。

第6表 出火件数・出火率の推移

区分		年									
		24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
広島県	出火件数	1,027	1,058	873	859	781	817	881	841	736	737
	出火率	3.6	3.7	3.0	3.0	2.7	2.7	3.1	3.0	2.6	2.6
全国	出火件数	44,189	48,095	43,741	39,111	36,831	39,373	37,981	37,683	34,691	35,222
	出火率	3.5	3.8	3.4	3.1	2.9	3.1	3.0	3.0	2.7	2.8

第7表 「放火」「放火の疑い」による火災発生への推移

		24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
広島県	全出火件数	1,027	1,058	873	859	781	817	881	841	736	737
	放火	100	95	62	91	72	74	54	49	37	46
	構成比(%)	9.7%	9.0%	7.1%	10.6%	9.2%	9.1%	6.1%	5.8%	5.0%	6.2%
	放火の疑い	65	61	49	36	30	29	41	23	19	20
	構成比(%)	6.3%	5.8%	5.6%	4.2%	3.8%	3.5%	4.7%	2.7%	2.6%	2.7%
全国	全出火件数	44,189	48,095	43,741	39,111	36,831	39,373	37,981	37,683	34,691	35,222
	放火	5,370	5,093	4,884	4,033	3,586	3,528	2,784	2,757	2,497	2,333
	構成比(%)	12.2%	10.6%	11.2%	10.3%	9.7%	9.0%	7.3%	7.2%	7.2%	6.6%
	放火の疑い	3,220	3,693	3,154	2,469	2,228	2,305	1,977	1,810	1,555	1,555
	構成比(%)	7.3%	7.7%	7.2%	6.3%	6.0%	5.9%	5.2%	4.8%	4.5%	4.4%

## 6 過年度特記火災事例

過去15年間に県内で発生した火災のうち3名以上死者の発生した火災は、第8表のとおりである。

また、20ha以上焼損した林野火災は、第9表のとおりである。

第 8 表 3 名以上死者の出た火災

年月日	出火場所	種別	火災原因	死者
H 2 3 年 2 月 1 8 日	庄原市	建物	不明	4
H 2 4 年 5 月 1 3 日	福山市	建物	不明	7
H 2 6 年 7 月 4 日	広島市安芸区	建物	不明	3
H 2 6 年 1 2 月 2 0 日	広島市佐伯区	建物	放火の疑い	3
H 2 7 年 1 0 月 8 日	広島市中区	建物	不明	3
H 3 0 年 2 月 9 日	江田島市	建物	配線器具	3
H 3 0 年 4 月 1 9 日	江田島市	建物	不明	3

第 9 表 20ha 以上焼損した林野火災

発生年月日	発生場所	焼損面積 (ha)	損害額 (千円)	自衛隊 派遣	空 中 消 火		原 因
					自 衛 隊	消 防	
H18. 1. 11	福山市	100	4,500	有	有	有 (広島県, 広島市 岡山市 愛媛県 徳島県 鳥取県 島根県)	放火の 疑い
H19. 3. 4	東広島市	30	948			有 (広島市)	不 明

第9-1表 火災総括表

(令和3年中)

区分 月	出火件数						焼損棟数					り災世帯数			り災者			損害見積額(千円)										焼損面積			
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	全 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 計	全 損	半 損	小 損	全 計	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	爆発を除く							爆 発	計	建物(m)		林 野 (a)
																				建 物	収 容 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他			床 面 積	表 面 積	
1	52	2	5			17	76	18	4	21	28	71	14	2	28	44	76	5	14	295,876	290,104		884			18,979		605,843	5,731	864	20
2	37	13	5			39	94	15	3	19	20	57	10	2	23	35	74	5	12	64,007	12,612	205	2,902			227		79,953	1,602	386	228
3	36	6	4			27	73	18		24	25	67	13		32	45	95	3	12	92,069	40,348		952			1,426		134,795	1,494	264	340
4	50	8	9			31	98	23	6	26	32	87	13	2	60	75	156	2	11	83,403	80,556	102	3,928			601		168,590	4,012	418	65
5	36	3	2			7	48	11	2	12	24	49	8	1	18	27	70	6	8	119,418	57,619	85	307			888		178,317	1,821	427	15
6	20	2	5			10	37	13	3	9	16	41	9		25	34	70	5	4	63,637	32,903		1,156			534		98,230	1,148	262	121
7	24		4			7	35	7	2	15	16	40	4		16	20	41	1	7	13,429	9,008		1,718			148		24,303	662	194	
8	19	1	7			17	44	3		5	20	28	2	2	9	13	39		8	11,251	15,508		229			300		27,288	285	73	9
9	22		8			2	32	1		8	16	25			16	16	26		4	4,314	1,352		4,327			137		10,130	250	8	
10	35	2	11			24	72	13	1	17	24	55	12		23	35	67	2	9	53,908	17,478		1,260			311		72,957	1,179	110	18
11	34	3	7			13	57	20	10	21	20	71	15	1	28	44	63	2	12	72,156	96,261		2,316			203		170,936	2,135	139	13
12	39	3	9	1		19	71	17	4	18	26	65	9	2	29	40	83	2	9	134,067	42,291		56,196	100		1,507		234,161	1,880	266	27
計	404	43	76	1		213	737	159	35	195	267	656	109	12	307	428	860	33	110	1,007,535	696,040	392	76,175	100		25,261		1,805,503	22,199	3,411	856
構成比	54.8%	5.8%	10.3%	0.1%		28.9%	100%	24.2%	5.3%	29.7%	40.7%	100%	25.5%	2.8%	71.7%	100%				55.8%	38.6%	0.0%	4.2%	0.0%		1.4%		100%			

第9-2表 出火原因別火災件数の推移

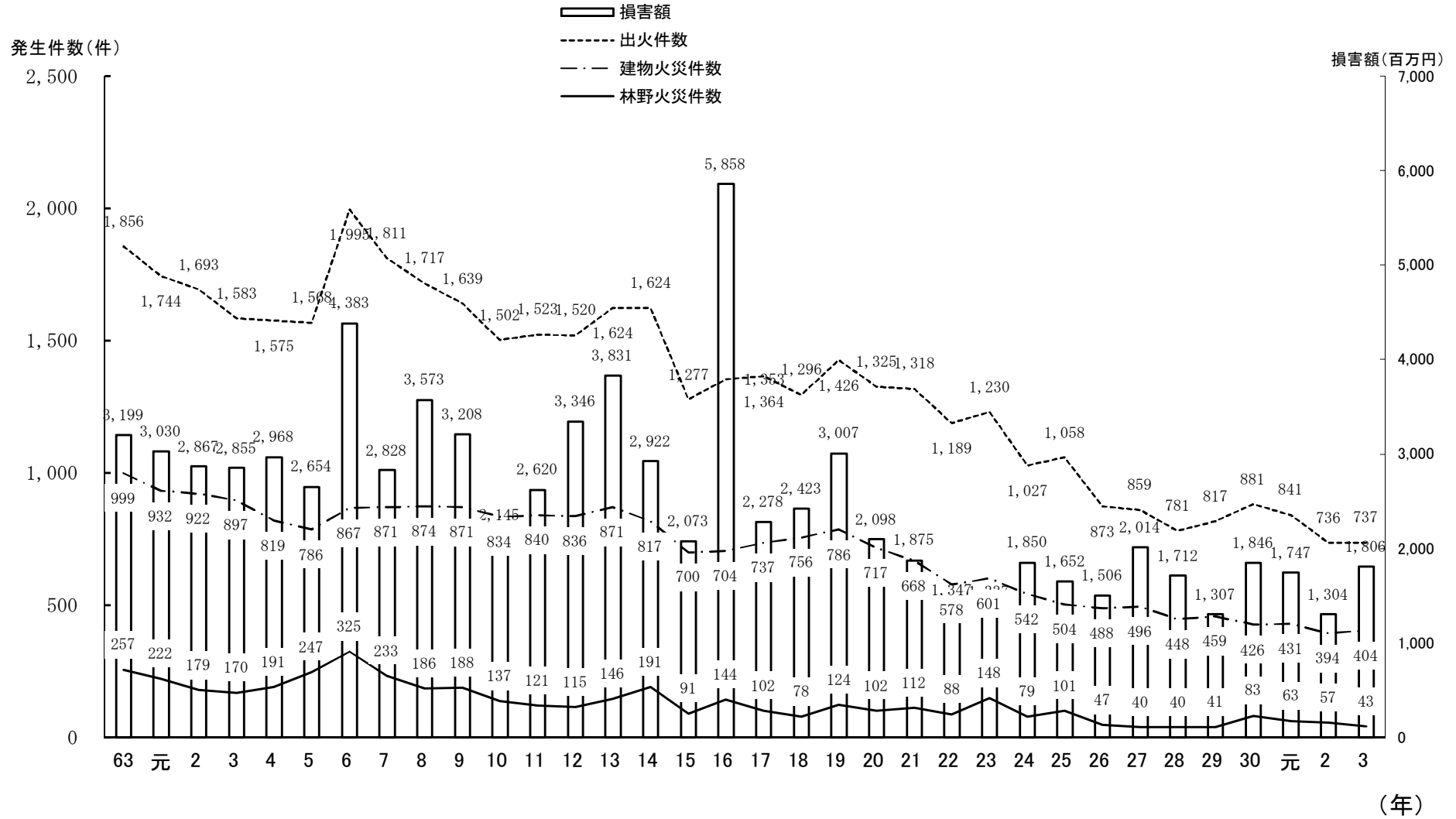
平成24年			平成25年			平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			令和元年			令和2年			令和3年		
原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合	原因	件数	割合
たき火	118	11.5%	たき火	183	17.3%	たき火	105	12.0%	たき火	97	11.3%	たき火	104	13.3%	たき火	119	14.6%	たき火	171	19.4%	たき火	162	19.3%	たき火	150	20.4%	たき火	120	16.3%
放火	100	9.7%	たばこ	121	11.4%	たばこ	95	10.9%	放火	91	10.6%	たばこ	85	10.9%	たばこ	93	11.4%	たばこ	65	7.4%	たばこ	80	9.5%	たばこ	83	11.3%	たばこ	65	8.8%
たばこ	109	10.6%	放火	95	9.0%	こんろ	72	8.2%	たばこ	86	10.0%	こんろ	74	9.5%	放火	74	9.1%	火入れ	65	7.4%	こんろ	52	6.2%	こんろ	50	6.8%	こんろ	52	7.1%
こんろ	77	7.5%	こんろ	66	6.2%	放火	62	7.1%	こんろ	62	7.2%	放火	72	9.2%	こんろ	64	7.8%	こんろ	61	6.9%	放火	49	5.8%	火入れ	37	5.0%	放火	46	6.2%
放火の疑い	65	6.3%	放火の疑い	61	5.8%	放火の疑い	49	5.6%	電灯電話等の配線	36	4.2%	放火の疑い	30	3.8%	ストーブ	34	4.2%	放火	54	6.1%	電灯電話等の配線	40	4.8%	放火	37	5.0%	火入れ	30	4.1%
火あそび	41	4.0%	火入れ	50	4.7%	ストーブ	35	4.0%	火あそび	36	4.2%	ストーブ	26	3.3%	電灯・電話等の配線	31	3.8%	放火の疑い	41	4.7%	電気機器	27	3.2%	電灯電話等の配線	24	3.3%	電灯電話等の配線	28	3.8%
ストーブ	39	3.8%	火遊び	40	3.8%	火入れ	31	3.6%	放火の疑い	36	4.2%	電灯電話等	24	3.1%	放火の疑い	29	3.5%	電灯電話等の配線	34	3.9%	ストーブ	26	3.1%	配線器具	22	3.0%	ストーブ	25	3.4%
配線器具	28	2.7%	ストーブ	39	3.7%	電灯電話等の配線	31	3.6%	火入れ	34	4.0%	火あそび	24	3.1%	火あそび	20	2.4%	配線器具	25	2.8%	排気管	25	3.0%	電気機器	20	2.7%	排気管	23	3.1%
電灯電話等の配線	26	2.5%	電灯電話等の配線	32	3.0%	排気管	21	2.4%	ストーブ	27	3.1%	排気管	21	2.7%	火入れ	20	2.4%	電気機器	22	2.5%	火入れ	25	3.0%	放火の疑い	19	2.6%	配線器具	23	3.1%
火入れ	25	2.4%	電気機器	20	1.9%	電気機器	21	2.4%	排気管	20	2.3%	配線器具	21	2.7%	配線器具	19	2.3%	ストーブ	20	2.3%	放火の疑い	23	2.7%	排気管	17	2.3%	電気機器	22	3.0%
排気管	22	2.1%	配線器具	18	1.7%	火あそび	20	2.3%	電気機器	18	2.1%	火入れ	17	2.2%	電気装置	16	2.0%	排気管	17	1.9%	配線器具	22	2.6%	焼却炉	14	1.9%	放火の疑い	20	2.7%
焼却炉	17	1.7%	マッチ・ライター	17	1.6%	取灰	19	2.2%	取灰	15	1.7%	電気機器	15	1.9%	電気機器	15	1.8%	電気装置	16	1.8%	火あそび	12	1.4%	ストーブ	13	1.8%	火あそび	19	2.6%
交通機関内配	16	1.6%	排気管	17	1.6%	配線器具	14	1.6%	配線器具	14	1.6%	マッチ・ライター	13	1.7%	排気管	13	1.6%	火あそび	15	1.7%	焼却炉	12	1.4%	溶接機・切断機	13	1.8%	灯火	13	1.8%
マッチ・ライター	14	1.4%	溶接機・切断機	12	1.1%	灯火	14	1.6%	灯火	13	1.5%	交通機関内配線	13	1.7%	マッチ・ライター	13	1.6%	焼却炉	13	1.5%	取灰	10	1.2%	マッチ・ライター	10	1.4%	マッチ・ライター	11	1.5%
電気機器	14	1.4%	灯火	11	1.0%	溶接機・切断機	13	1.5%	溶接機・切断機	11	1.3%	焼却炉	10	1.3%	焼却炉	11	1.3%	取灰	12	1.4%	電気装置	9	1.1%	電気装置	9	1.2%	焼却炉	9	1.2%
不明・調査中	67	6.5%	不明・調査中	75	7.1%	不明・調査中	84	9.6%	不明・調査中	74	8.6%	不明・調査中	79	10.1%	不明・調査中	75	9.2%	不明・調査中	71	8.1%	不明・調査中	75	8.9%	不明・調査中	70	9.5%	不明・調査中	68	9.2%
その他	249	24.2%	その他	201	19.0%	その他	187	21.4%	その他	189	22.0%	その他	153	19.6%	その他	171	20.9%	その他	179	20.3%	その他	192	22.8%	その他	148	20.1%	その他	163	22.1%
計	1,027	#####	計	1,058	#####	計	873	#####	計	859	#####	計	781	#####	計	817	#####	計	881	#####	計	841	#####	計	736	#####	計	737	#####

第9-3表 市町別火災発生状況

(令和3年中)

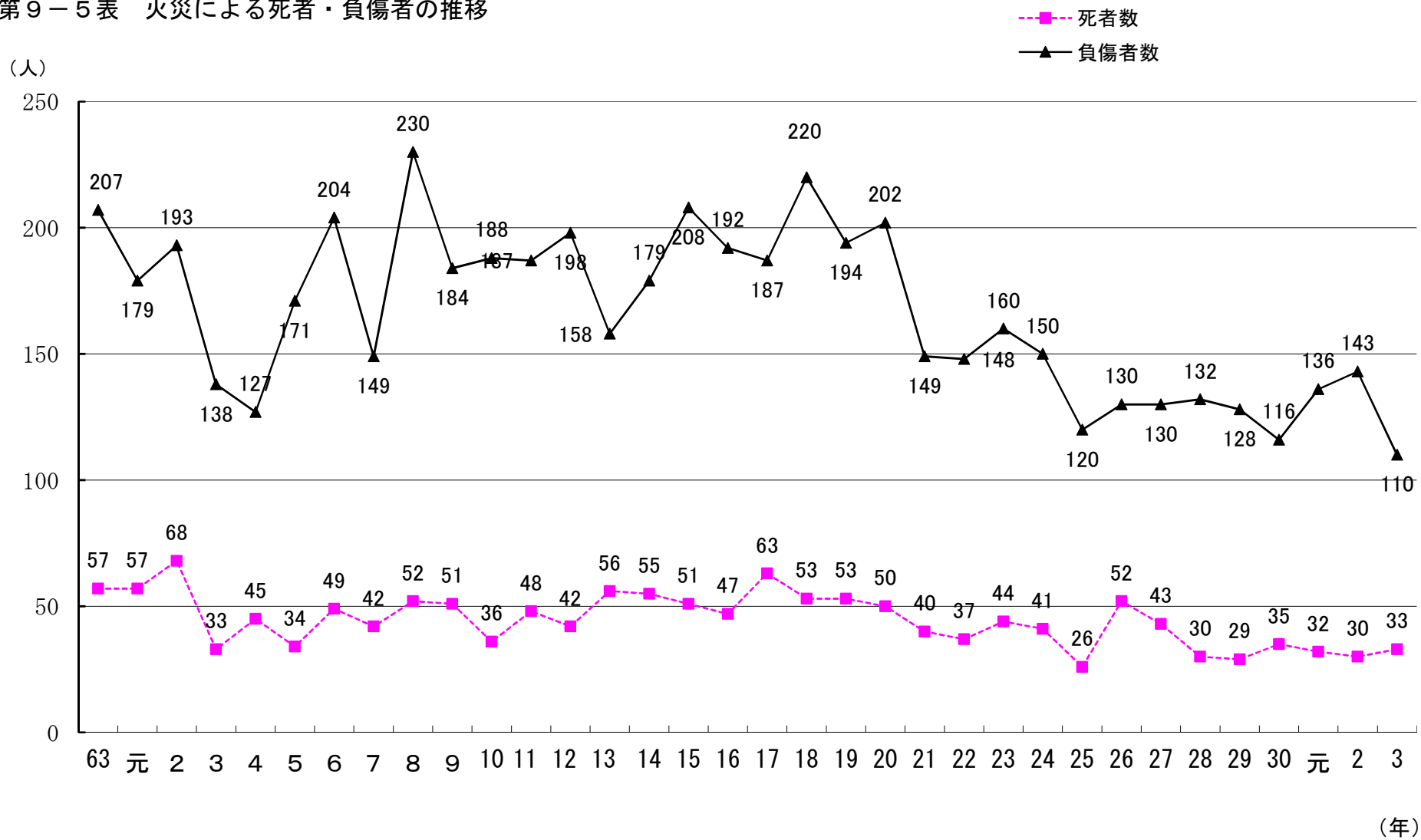
区分 市町村名	出火件数							り災世帯数	損害額(千円)							焼損面積		
	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他	計		爆発を除く						爆 発	計	建物(m <sup>2</sup> )	
									建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空 機	そ の 他			床 面 積	表 面 積
広島市	134	5	27	1		56	223	175	749,776	290	2,094	100	0	21,147		773,407	5,849	2,065
(中区)	26	0	1	0	0	2	29	16	83,340	0	96	0	0	931	0	84,367	1,168	444
(東区)	10	0	3	0	0	7	20	7	11,777	0	152	0	0	23	0	11,952	61	2
(南区)	24	0	5	1	0	5	35	66	195,326	0	496	100	0	1,537	0	197,459	1,459	517
(西区)	20	0	4	0	0	7	31	26	39,382	0	288	0	0	225	0	39,895	338	113
(安佐南区)	13	1	5	0	0	7	26	17	341,259	85	284	0	0	138	0	341,766	1,569	823
(安佐北区)	16	1	6	0	0	9	32	14	16,126	0	322	0	0	72	0	16,520	534	5
(安芸区)	8	1	1	0	0	9	19	10	34,123	0	79	0	0	41	0	34,243	352	74
(佐伯区)	17	2	2	0	0	10	31	19	28,443	205	377	0	0	18,180	0	47,205	368	87
呉市	34	1	5	0	0	20	60	31	26,633	0	2,006	0	0	557	0	29,196	704	60
竹原市	8	0	0	0	0	6	14	8	46,670	0	0	0	0	537	0	47,207	368	15
三原市	14	10	6	0	0	10	40	9	36,815	0	684	0	0	182	0	37,681	698	142
尾道市	25	0	5	0	0	8	38	30	87,055	0	1,714	0	0	61	0	88,830	1,628	158
福山市	55	3	8	0	0	13	79	49	131,962	0	8,716	0	0	1,032	0	141,710	2,706	184
府中市	5	4	0	0	0	1	10	15	76,495	0	0	0	0	0	0	76,495	1,267	138
三次市	11	0	4	0	0	10	25	4	13,590	102	1,055	0	0	340	0	15,087	798	42
庄原市	10	2	3	0	0	13	28	7	6,490	0	165	0	0	121	0	6,776	265	242
大竹市	2	1	0	0	0	2	5	9	9,036	0	0	0	0	6	0	9,042	460	5
東広島市	35	9	13	0	0	35	92	20	256,766	0	57,586	0	0	312	0	314,664	3,085	37
廿日市市	12	2	2	0	0	7	23	10	85,495	0	916	0	0	177	0	86,588	535	51
安芸高田市	8	0	0	0	0	10	18	6	4,965	0	0	0	0	128	0	5,093	467	16
江田島市	9	1	1	0	0	3	14	11	37,077	0	293	0	0	40	0	37,410	363	89
府中町	7	0	0	0	0	0	7	14	53,753	0	0	0	0	17	0	53,770	301	116
海田町	12	0	0	0	0	2	14	10	3,540	0	0	0	0	0	0	3,540	43	24
熊野町	4	1	0	0	0	1	6	4	15,444	0	60	0	0	0	0	15,504	115	13
坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
安芸太田町	4	0	0	0	0	0	4	2	10,176	0	0	0	0	146	0	10,322	286	0
北広島町	5	1	1	0	0	7	14	5	7,546	0	3	0	0	454	0	8,003	135	0
大崎上島町	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世羅町	7	1	0	0	0	7	15	8	26,305	0	0	0	0	4	0	26,309	1,873	0
神石高原町	3	2	1	0	0	0	6	1	17,986	0	883	0	0	0	0	18,869	253	14
<b>県計</b>	<b>404</b>	<b>43</b>	<b>76</b>	<b>1</b>		<b>213</b>	<b>737</b>	<b>428</b>	<b>1,703,575</b>	<b>392</b>	<b>76,175</b>	<b>100</b>		<b>25,261</b>	<b>0</b>	<b>1,805,503</b>	<b>22,199</b>	<b>3,411</b>

第9-4表 火災件数・損害額の推移





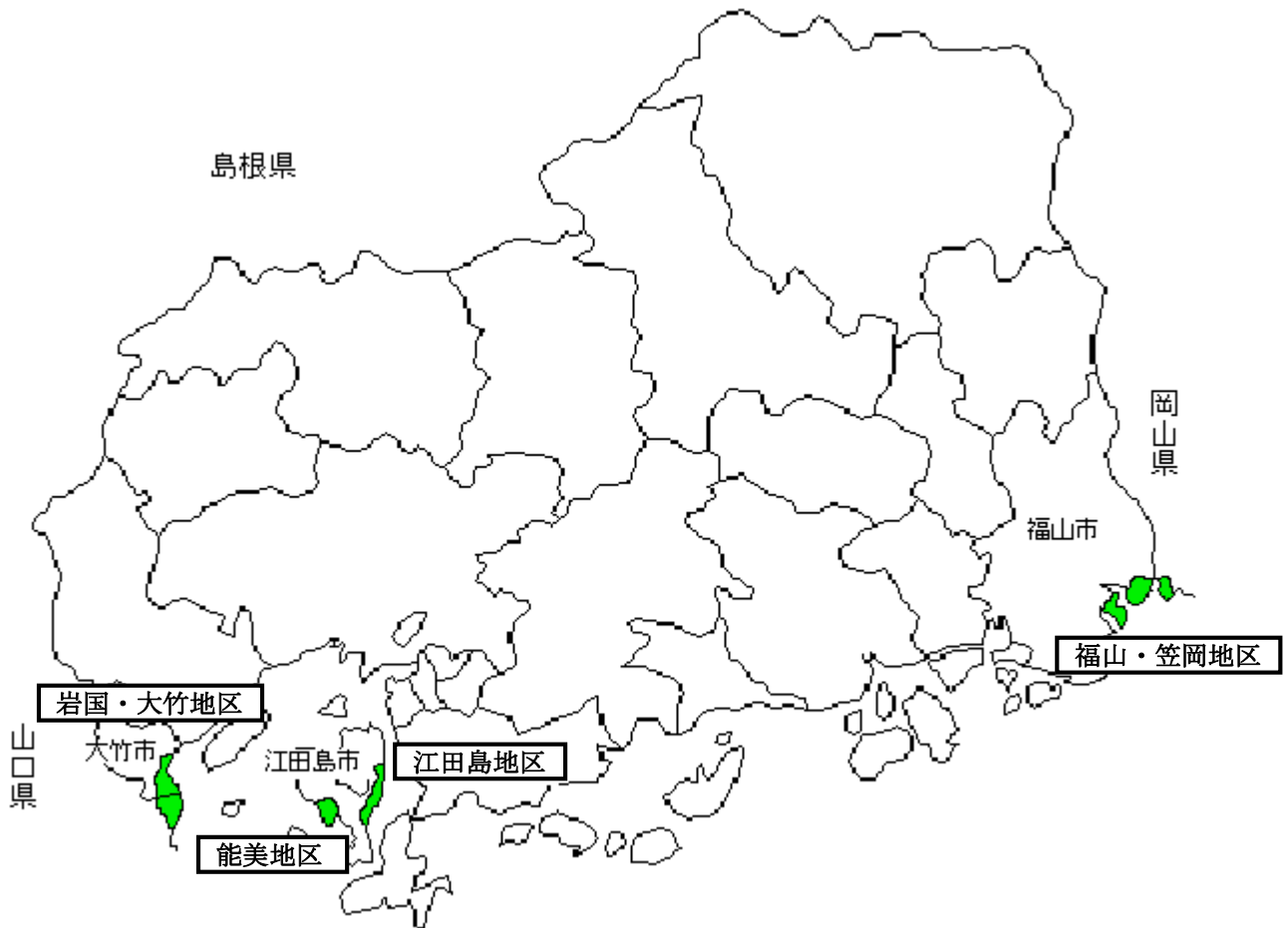
第9-5表 火災による死者・負傷者の推移



## 第 1 0 石油コンビナート等防災区域

## 第 10 石油コンビナート等防災区域

### 1 位置図(H30.4.1)



### 2 県の防災対策

- ア 広島県石油コンビナート等防災本部幹事会の開催（毎年度）
- イ 広島県石油コンビナート等防災計画の修正（毎年度）
- ウ 石油コンビナート等総合防災訓練の実施（隔年）

近年の実施状況は次のとおりである。昭和 44 年の訓練開始以来、平成 30 年は第 24 回である。

平成 30 年 11 月 4 日	大竹地区
平成 28 年 10 月 25 日	江田島地区
平成 26 年 10 月 29 日	福山地区
平成 24 年 10 月 30 日	大竹地区
平成 22 年 11 月 26 日	能美地区
平成 20 年 11 月 21 日	福山地区
平成 18 年 10 月 31 日	大竹地区
平成 16 年 10 月 14 日	江田島地区
平成 14 年 10 月 12 日	福山地区
平成 12 年 10 月 12 日	大竹地区

平成 10 年 10 月 13 日 能美地区

平成 8 年 11 月 8 日 福山地区

平成 6 年 10 月 28 日 大竹地区

エ 防災本部の協議会設置

福山・笠岡地区については岡山県と、また、岩国・大竹地区については山口県と防災本部の協議会を設置し、防災計画の修正及びその実施の推進に当たっている。

3 事業所の防災対策

次の 2 地区に特別防災区域協議会が設置され、活発に活動している。

岩国・大竹地区 昭和 53 年 6 月 1 日設置

福山・笠岡地区 昭和 58 年 10 月 5 日設置（昭和 63 年 4 月 1 日に「福山地区」から名称変更）

4 広島県の特別防災区域の概要

（令和 4 年 4 月 1 日現在）

区域名	福山・笠岡 (福山地区のみ)	江田島	能美	岩国・大竹 (大竹地区のみ)	計
指定年月日	昭和 62 年 3 月 27 日	昭和 51 年 7 月 9 日	昭和 51 年 7 月 9 日	昭和 51 年 7 月 9 日	—
消防機関名	福山地区消防組合 消防局	江田島市消防本部	江田島市消防本部	大竹市消防本部	3
市町村名	福山市	江田島市	江田島市	大竹市	3
区域面積 (万㎡)	941	8	39	239	1,227
特定事業所	5	1	1	5	12
レイアウト 事業所	・(株)JFE サンソセンタ ー福山工場 計 1	—	—	・三菱ケミカル(株)広島 事業所 ・(株)ダイセル大竹工場 ・三井化学(株)岩国大竹 工場 計 3	4
第 1 種 事業所	・JFE スチール(株)西日 本製鉄所(福山地区) ・瀬戸内共同火力(株) 福山共同発電所 ・ヤスハラケミカル(株) 福山工場 計 3	・伊藤忠エネクス(株) 江田島ターミナル 計 1	・鹿川ターミナル(株) 計 1	—	5
第 2 種 事業所	・日本化薬(株)福山工場 計 1	—	—	・日本製紙(株)大竹工場 ・大竹明新化学(株) 計 2	3
石油の貯蔵 取 扱 量 (千キロリットル)	69	74	950	174	1267
高圧ガスの 処 理 量 (十立方メートル)	710	—	—	94	804
特別防災区域 協議会の有無	有	無	無	有	—

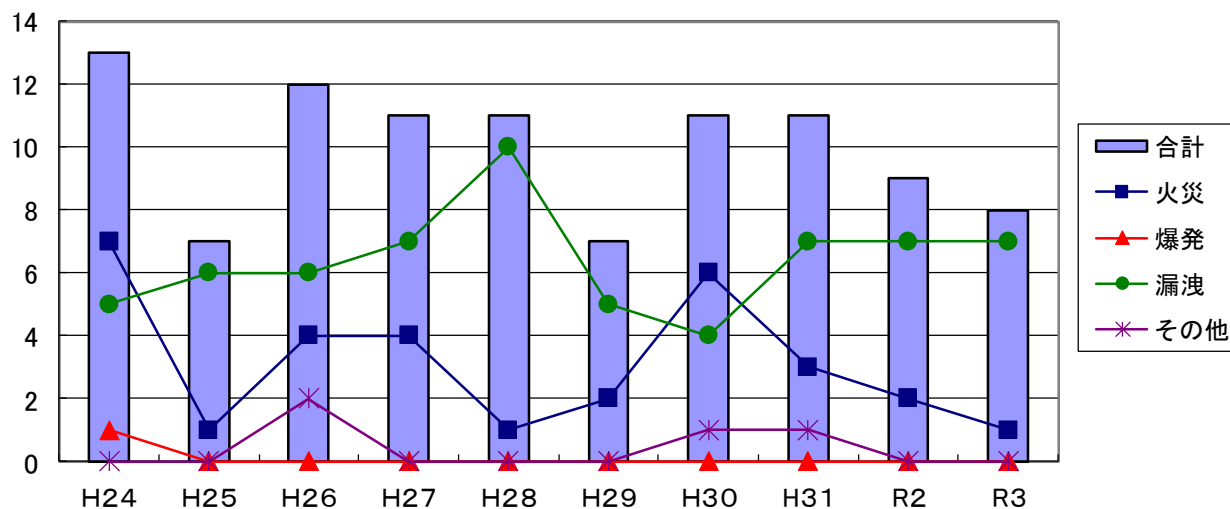
## 5 石油コンビナート等事故件数

年	地区名	福山・笠岡 (福山地区のみ)	江田島	能美	岩国・大竹 (大竹地区のみ)	合 計	事 故 種 別			
							火 災	爆 発	漏 洩	その他
平成 24年	件数	3			10	13	7	1	5	
	死傷				傷3	傷3				
平成 25年	件数				7	7	1		6	
	死傷				傷1	傷1				
平成 26年	件数				12	12	4		6	2
	死傷									
平成 27年	件数	1			10	11	4		7	
	死傷									
平成 28年	件数				11	11	1		10	
	死傷									
平成 29年	件数				7	7	2		5	
	死傷									
平成 30年	件数	4			7	11	6		4	1
	死傷				傷1	傷1				
平成 31年	件数				11	11	3		7	1
	死傷				傷1	傷1				
令和 2年	件数				9	9	2		7	
	死傷									
令和 3年	件数				8	8	1		7	
	死傷				傷1	傷1				
合計	件数	8	0	0	92	100	31	1	64	4
	死傷	0	0	0	死0傷7	死0傷7				

## 6 最近の事故の状況

令和3年の石油コンビナート等の事故は8件である。

平成24年から令和3年までの最近10年間で石油コンビナート等の事故は100件発生している。これを事故種別で見ると図のとおり、火災及び漏洩事故がそのほとんどを占めている。



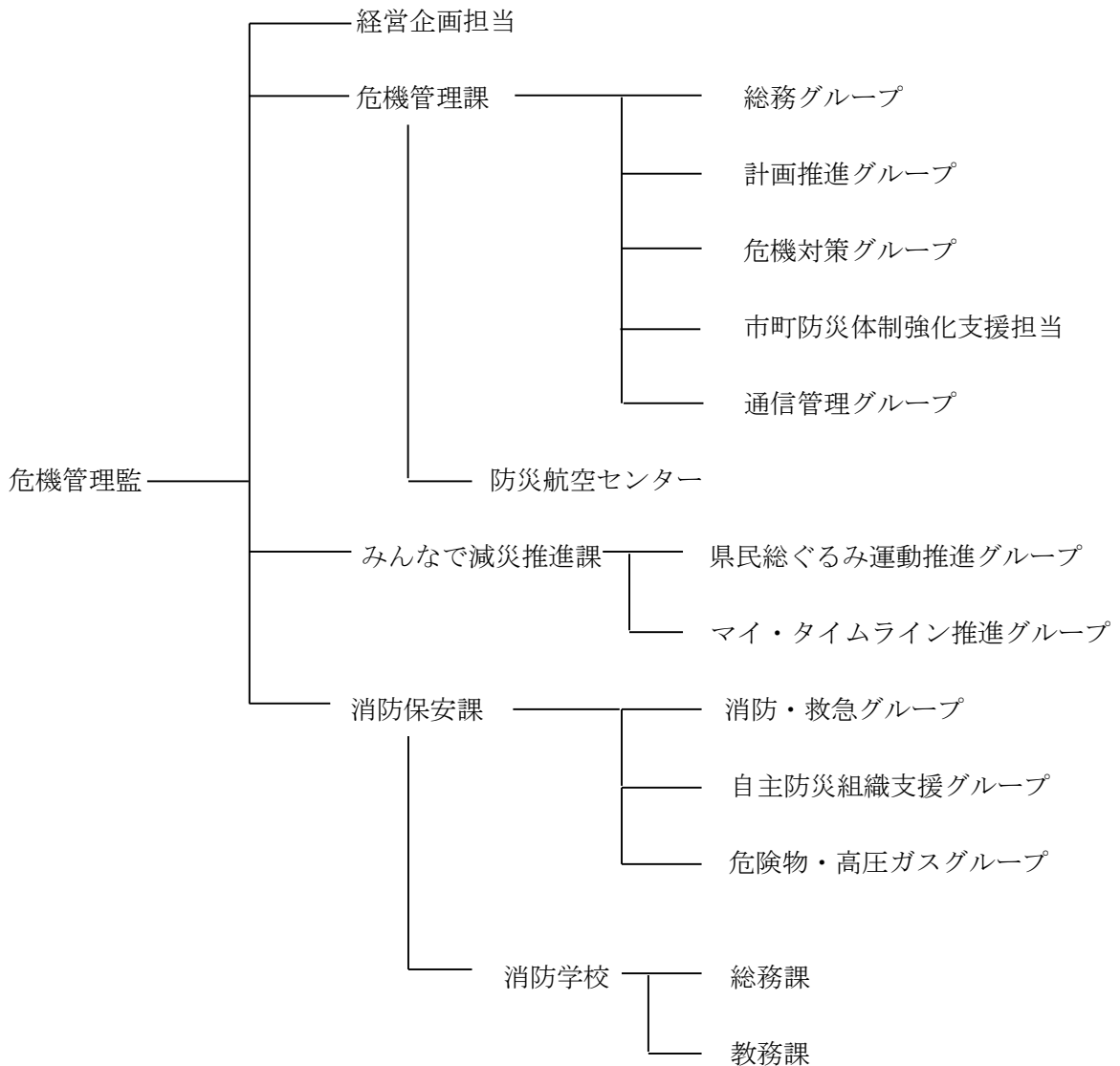
# 参 考 资 料

広島県危機管理監の組織（令和4年4月1日現在）

広島県危機管理監 〒730-8511 広島市中区基町 10-52  
 電 話 危機管理課 082-513-2784  
 減災対策推進担当 082-513-2781  
 消防保安課 082-513-2790  
 F A X 各課共通 082-227-2122  
 消防防災無線電話 34-89  
 消防防災無線 F A X 34-84

広島県防災航空センター 〒729-0416 三原市本郷町善入寺 94-22  
 代 表 0848-86-8931  
 F A X 0848-86-8933

広島県消防学校 〒739-1743 広島市安佐北区倉掛 2 丁目 33-2  
 代 表 082-843-1117  
 F A X 082-843-1001



■ 消防機関の名称及び所在地（その1）

名称	〒	所在地	電話番号	FAX番号
【広島市消防局】	730-0051	広島市中区大手町5-20-12	082-246-8211	082-247-1645
消防航空隊	733-0036	〃 西区観音新町4-10-127	082-546-3454	082-546-3455
中消防署	730-0051	〃 中区大手町5-20-12	082-541-2700	082-542-7720
白島出張所	730-0003	〃 中区白島九軒町12-20	082-223-3107	082-223-3107
基町出張所	730-0011	〃 中区基町20-8	082-223-3451	082-223-3451
江波出張所	730-0847	〃 中区舟入南6-2-1	082-291-0616	082-291-0616
東消防署	732-0052	〃 東区光町2-12-6	082-263-8401	082-263-7489
福田出張所	732-0029	〃 東区福田7-2-10	082-899-5719	082-899-5719
温品出張所	732-0033	〃 東区温品5-3-1	082-289-2790	082-289-2790
戸坂出張所	732-0016	〃 東区戸坂出江2-9-11	082-229-4067	082-229-4067
南消防署	732-0824	〃 南区の場町2-5-14	082-261-5181	082-261-9025
水上出張所	734-0011	〃 南区宇品海岸2-23-39	082-255-6616	082-255-9372
青崎出張所	734-0053	〃 南区青崎1-7-12	082-281-7999	082-281-7999
東本浦出張所	734-0025	〃 南区東本浦町23-6	082-285-6090	082-285-6090
日宇那出張所	734-0031	〃 南区日宇那町3-6	082-255-7973	082-255-7973
宇品出張所	734-0003	〃 南区宇品東2-1-46	082-255-7493	082-255-7493
似島出張所	734-0017	〃 南区似島町字家下752-74	082-259-2038	082-259-2066
西消防署	733-0023	〃 西区都町43-10	082-232-0381	082-232-3293
三篠出張所	733-0003	〃 西区三篠町3-16-23	082-238-5094	082-238-5094
己斐出張所	733-0813	〃 西区己斐中3-14-2	082-272-0479	082-272-0479
庚午出張所	733-0822	〃 西区庚午中4-21-19	082-272-0463	082-272-0463
井口出張所	733-0833	〃 西区商工センター4-1-1	082-277-9100	082-277-9100
安佐南消防署	731-0103	〃 安佐南区緑井1-10-3	082-877-4101	082-877-9462
上安出張所	731-0154	〃 安佐南区上安5-8-14	082-878-3088	082-878-3088
祇園出張所	731-0138	〃 安佐南区祇園2-48-11	082-874-3511	082-874-3511
沼田出張所	731-3161	〃 安佐南区沼田町伴東4-18-6	082-848-0200	082-848-0200
安佐北消防署	731-0223	〃 安佐北区可部南4-26-13	082-814-4795	082-814-9931
白木出張所	739-1411	〃 安佐北区白木町大字市川1533-5	082-828-0511	082-828-0511
高陽出張所	739-1741	〃 安佐北区真亀1-3-6	082-842-3390	082-842-3390
可部出張所	731-0221	〃 安佐北区可部7-7-16	082-815-5101	082-815-5101
安佐出張所	731-1142	〃 安佐北区安佐町大字飯室3052-1	082-835-0153	082-835-0153
安芸太田出張所	731-3702	山県郡安芸太田町大字中筒賀345-2	0826-32-2011	0826-32-2013
安芸消防署	736-0045	安芸郡海田町堀川町3-12	082-822-4349	082-822-9119
瀬野川出張所	739-0323	広島市安芸区中野東7-14-23	082-892-0100	082-892-0100
矢野出張所	736-0085	〃 安芸区矢野西2-16-1	082-884-2340	082-884-2340
熊野出張所	731-4213	安芸郡熊野町萩原6-26-8	082-854-1103	082-854-1103
坂出張所	731-4323	安芸郡坂町横浜中央1-1-11	082-885-0100	082-885-0100



■ 消防機関の名称及び所在地（その2）

名称	〒	所在地	電話番号	FAX番号
佐伯消防署	731-5128	広島市佐伯区五日市中央7-25-18	082-921-2235	082-921-5336
八幡出張所	731-5106	〃 佐伯区利松1-5-24	082-928-0239	082-928-0239
海老園出張所	731-5135	〃 佐伯区海老園1-2-54	082-921-2238	082-921-2238
湯来出張所	738-0601	〃 佐伯区湯来町大字和田224	0829-40-4119	0829-40-4121
<b>【呉市消防局】</b>	737-0811	呉市西中央3-1-34	0823-26-0119	0823-26-0308
西消防署	737-0051	〃	0823-22-0119	0823-26-0338
狩留賀出張所	737-0862	呉市狩留賀町3-19	0823-26-0316	0823-26-0316
昭和出張所	737-0935	〃 焼山中央2-8-21	0823-26-0317	0823-26-0317
南出張所	737-0024	〃 宮原13-2-29	0823-26-0319	0823-26-0319
東消防署	737-0112	〃 広古新開2-1-9	0823-74-0119	0823-74-8908
阿賀北出張所	737-0003	〃 阿賀北4-3-27	0823-74-8917	0823-74-8917
仁方出張所	737-0152	〃 仁方本町1-6-18	0823-74-8916	0823-74-8916
郷原出張所	737-0161	〃 郷原町7100	0823-74-8918	0823-74-8918
川尻出張所	729-2603	〃 川尻町西1-1-1	0823-74-8919	0823-74-8919
安浦出張所	729-2516	〃 安浦町中央6-2-1	0823-74-8920	0823-74-8920
大崎下島出張所	734-0102	〃 豊浜町大字大浜311-1	0823-74-8910	0846-67-1191
蒲刈出張所	737-0311	〃 蒲刈町向字小市369-5	0823-74-8921	0823-74-8921
音戸消防署	737-1206	〃 音戸町高須2-1-19	0823-51-0119	0823-26-0339
倉橋出張所	737-1324	〃 倉橋町本浦1771	0823-26-0340	0823-26-0340
<b>【三原市消防本部】</b>	723-0051	三原市宮浦1-22-2	0848-62-2101	0848-62-5119
三原市消防署	723-0015	〃	0848-62-2101	0848-62-5119
糸崎出張所	729-0324	三原市糸崎町7-1-27	0848-62-3218	0848-62-3218
久井出張所	722-1414	〃 久井町坂井原3480-1	0847-32-5222	0847-32-8333
西部分署	729-0414	〃 下北方1-2-1	0848-86-2119	0848-86-6794
大和出張所	729-1492	〃 大和町下徳良125-1	0847-33-0119	0847-35-1017
北部分署	722-1115	世羅郡世羅町大字西神崎878-1	0847-22-3737	0847-22-3792
世羅西出張所	722-1115	〃 大字小国3399-1	0847-37-2717	0847-37-2718
<b>【尾道市消防局】</b>	722-0051	尾道市東尾道18-2	0848-55-9120	0848-55-9132
尾道消防署	722-0051	〃	0848-55-9124	0848-55-9134
向島分署	722-0073	尾道市向島町5931	0848-44-7119	0848-44-1909
御調分署	722-0342	〃 御調町大田26-1	0848-76-3119	0848-76-3100
北出張所	722-0213	〃 美ノ郷町白江507-1	0848-48-6119	0848-48-5610
尾道西消防署	722-0014	〃 新浜1-5-3	0848-22-0119	0848-22-3119
因島消防署	722-2211	〃 因島中庄町1347-1	0845-24-0119	0845-24-1199
瀬戸田分署	722-2414	〃 瀬戸田町鹿田原1-29	0845-27-4119	0845-27-1363

■ 消防機関の名称及び所在地（その3）

名称	〒	所在地	電話番号	FAX番号
【大竹市消防本部】	739-0605	大竹市立戸1-2-10	0827-54-0119	0827-53-2928
大竹市消防署	739-0605	〃	0827-54-0119	0827-53-2928
【東広島市消防局】	739-0021	東広島市西条町助実1173-1	082-422-0119	082-422-8243
東広島消防署	739-0021	〃	082-422-0119	082-422-5597
西分署	739-0145	東広島市八本松西5-1-6	082-428-0119	082-428-0119
南分署	724-0611	〃 黒瀬町大多田1496-5	0823-82-0119	0823-82-0119
北分署	724-0301	〃 豊栄町乃美1118-3	082-432-2119	082-432-2119
東分署	729-1108	〃 河内町入野2076-1	082-437-0119	082-437-0119
安芸津分署	729-2402	東広島市安芸津町三津4711-1	0846-45-0119	0846-45-3993
竹原消防署	725-0026	竹原市中央4-13-1	0846-23-0119	0846-22-0957
忠海分署	729-2316	〃 忠海中町二丁目25-1	0846-26-0420	0846-26-0420
大崎上島消防署	725-0201	豊田郡大崎上島町東野4154-1	0846-65-2056	0846-65-3519
【廿日市市消防本部】	738-0033	廿日市市串戸1-9-33	0829-32-8111	0829-32-4119
廿日市市消防署	738-0033	〃	0829-32-8111	0829-32-4119
西分署	738-0053	廿日市市阿品台4-1-21	0829-38-4131	0829-38-4130
佐伯分署	738-0222	〃 津田1147-10	0829-72-1312	0829-72-1280
大野消防署	739-0434	〃 大野1-1-6	0829-55-1119	0829-55-1120
宮島消防署	739-0588	〃 宮島381-2	0829-44-2800	0829-44-0460
【安芸高田市消防本部】	731-0501	安芸高田市吉田町吉田751-1	0826-42-0931	0826-47-1191
安芸高田消防署	731-0501	〃	0826-42-0931	0826-47-1191
【江田島市消防本部】	737-2133	江田島市江田島町鷺部2-17-5	0823-40-0119	0823-42-1965
江田島消防署	737-2133	〃	0823-40-0119	0823-42-3164
能美出張所	737-2302	江田島市能美町鹿川1275-3	0823-45-4739	0823-45-5463
【府中町消防本部】	735-0022	安芸郡府中町大通3-5-9	082-286-3119	082-288-6337
府中町消防署	735-0022	〃	082-286-3119	082-288-6337
【北広島町消防本部】	731-1531	山県郡北広島町春木516	0826-72-0119	0826-72-5145
北広島町消防署	731-1531	〃	0826-72-0119	0826-72-5145
豊平出張所	731-1711	山県郡北広島町戸谷1088-1	0826-83-0119	0826-83-0119
大朝出張所	731-2103	〃 新庄921-3	0826-82-1119	0826-82-1119
芸北出張所	731-2323	〃 川小田75	0826-36-3119	0826-36-3121

■ 消防機関の名称及び所在地（その4）

名称	〒	所在地	電話番号	FAX番号
<b>【備北地区消防組合消防本部】</b>	728-0012	三次市十日市中3-1-21	0824-63-1191	0824-63-3446
三次消防署	728-0012	〃	0824-63-1192	0824-63-1196
甲奴出張所	729-4102	三次市甲奴町西野591-1	0847-67-2282	0847-67-2282
作木出張所	728-0124	〃 作木町下作木1068-1	0824-55-3109	0824-55-3109
吉舎出張所	729-4207	〃 吉舎町敷地795	0824-43-3119	0824-43-3119
三和出張所	729-6615	〃 三和町上板木45-1	0824-52-3119	0824-52-3119
口和出張所	728-0503	庄原市口和町大月576-14	0824-87-2455	0824-87-2455
庄原消防署	727-0004	〃 新庄町396-1	0824-72-9911	0824-72-2200
西城出張所	729-5744	〃 西城町大屋1956-20	0824-82-2193	0824-82-2193
高野出張所	727-0412	〃 高野町下湯川356-4	0824-86-2955	0824-86-2955
東城消防署	729-5121	〃 東城町川東1175	0847-72-4005	0847-72-4037
<b>【福山地区消防組合消防局】</b>	720-0825	福山市沖野上町5-13-8	084-928-1190	084-921-9357
南消防署	720-0825	〃	084-928-1200	084-921-9360
鞆出張所	720-0202	福山市鞆町鞆3458-1	084-983-5119	084-983-5104
瀬戸出張所	720-0836	〃 瀬戸町大字長和246	084-952-0738	084-952-1042
北消防署	720-0022	〃 奈良津町2-1-1	084-923-3993	084-922-6167
駅家分署	720-1131	〃 駅家町大字万能倉567-4	084-976-5119	084-976-7175
東消防署	721-0941	〃 引野町北4-23-9	084-941-3868	084-941-6380
西消防署	729-0104	〃 松永町3-21-77	084-934-1355	084-934-3297
沼隈内海出張所	720-0313	〃 沼隈町大字常石1857-2	084-987-4119	084-987-4188
今津出張所	729-0111	〃 今津町2153-2	084-934-6119	084-934-2886
水上消防署	721-0956	〃 箕沖町135	084-954-0821	084-954-6482
芦品消防署	729-3101	〃 新市町大字戸手780-10	0847-52-4400	0847-52-6879
深安消防署	720-2123	〃 神辺町大字川北1402-1	084-962-1234	084-962-3112
安田出張所	720-1811	神石郡神石高原町安田160-6	0847-82-0119	0847-82-0199
府中消防署	726-0005	府中市府中町堤外119-1	0847-43-7183	0847-43-6661
小塚出張所	729-3401	〃 上下町小塚543-9	0847-62-2119	0847-62-2606